

---

## 第5章 要介護(郵送)調査

---



# 章目次

## 第5章 要介護（郵送）調査

1	回答者の属性 .....	219
	性別 .....	219
	圏域 .....	219
2	あなたご自身、家族や暮らしについて .....	220
F 1	調査票記入者 .....	220
F 1-1	記入者は主な介護者か .....	220
F 2	年齢（令和元年10月1日現在） .....	221
F 3	一緒に住んでいる人 .....	222
F 4	【一人暮らし以外の方】同居の方は全員が65歳以上か .....	224
F 5	要介護度 .....	225
3	住まいについて .....	226
問1	住まいの形態 .....	226
問2	現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる 住まいか .....	227
問3	住まいについて不便や不安を感じていること .....	228
4	介護等について .....	230
問4	介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるため 必要なこと .....	230
問5	今後希望する暮らし方 .....	233
問6	終末期を迎える場所の希望 .....	235
問7	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと .....	236
	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと 「その他」自由記述 .....	239
問8	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度 .....	241
問9	施設等への入所・入居の検討状況 .....	243
問10	介護保険サービスの利用状況 .....	244
問11	【サービス利用者】 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）利用状況 （令和元年10月の1か月間） .....	245
問12	【サービス利用者】介護保険サービスごとの利用頻度（最近1か月間） .....	246
問13	【サービス未利用者】介護保険サービスを利用していない （しなくなった）理由 .....	252
問14	介護保険サービスの認知度 .....	255
問15	今後、利用したい介護保険サービス .....	258

問 16	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス	261
問 17	今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス	263
<b>5</b>	<b>認知症について</b>	<b>265</b>
問 18	認知症について知っていること	265
問 19	認知症相談で利用すると思われる相談窓口	267
問 20	認知症に関する区の事業の認知度	269
問 21	認知症についての情報収集の方法	273
問 22	認知症の本人や家族への必要と感じる支援	275
<b>6</b>	<b>健康・介護予防について</b>	<b>277</b>
問 23	現在の健康状態	277
問 24	健康の維持・増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、現在取り組んでいることの有無	278
問 25	【健康維持・増進に取り組んでいない方】取り組んでいない理由	279
問 26	健康の維持増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、今後取り組んでみたいこと	281
<b>7</b>	<b>医療について</b>	<b>283</b>
問 27	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	283
問 28	病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等で受けた訪問治療（往診）科目（過去 1 年間）	285
問 29	訪問診療の利用の有無	288
問 30	在宅医療認知の経緯	289
<b>8</b>	<b>介護者について</b>	<b>291</b>
問 31	家族や親族から介護を受けているか	291
問 32	【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の属性	292
問 33	【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の性別	293
問 34	【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の年齢	294
問 35	【家族や親族から介護を受けている方】主介護者から受ける介護の頻度	295
問 36	【家族や親族から介護を受けている方】主介護者が行っている介護等	296
問 37	【家族や親族から介護を受けている方】 家族や親族の中で介護のために過去に離職・転職した人の有無	299
問 38	【家族や親族から介護を受けている方】 主介護者は本人以外に他の人の介護や子育て等をしているか	302
問 39	【他の人の介護や子育て等をしている方】 介護される人及び子ども等全員とその人数	304
問 40	主介護者の就労状況	306
問 41	【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】 働き方の調整等をしているか	308
問 42	【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援	311
問 43	【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】	

今後も働きながら介護を続けられるか .....	314
問 44 【「働いていない」と回答した方】ふだんの外出状況.....	316
問 45 【働いておらず、ふだんから外出すると回答した方】 人付き合いもなく、ほとんど外出しない状態になった経験の有無（6か月以上） .....	318
問 46 【人付き合いもなく、ほとんど外出しないと回答した方】人付き合いがなく、 ほとんど外出しない状態になったきっかけやそうした状態から脱するうえで役立っ たこと.....	319
問 47 【人付き合いもなく、ほとんど外出しないと回答】 家族以外の人と会話をしたか（最近6ヶ月間） .....	320
問 48 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安に感じる介護等.....	322
問 49 主介護者の相談相手・相談機関 .....	326



## 1 回答者の属性

### 性別

性別は、「男性」は34.7%、「女性」は65.3%と女性の割合が高くなっています。

図 5.1 性別



### 圏域

圏域は、「富坂地区」が30.9%、「大塚地区」が19.7%、「本富士地区」が22.0%、「駒込地区」が27.4%となっています。

性別では、男性は「大塚地区」、女性は「駒込地区」でわずかに高くなっています。

図 5.2 圏域/性別



## 2 あなたご自身、家族や暮らしについて

### F 1 調査票記入者

調査票の記入者は、「あて名のご本人」が 36.5%で、次いで「子ども」が 35.8%、「配偶者」が 19.2%となっています。

性別では、男女ともに「あて名のご本人」は約 36%で、男性は「配偶者」が記入している割合が 41.5%と最も高く、女性は「子ども」が 46.7%と最も高くなっています。

図 5.3 調査票の記入者/性別

		あて名のご本人	配偶者 (夫、妻)	子ども (息子・娘、 息子・娘の 配偶者)	兄弟姉妹	孫	その他	無回答
合計 (n=1,555)		36.5	19.2	35.8	1.6	0.2	2.0	
性別	男性 (n=540)	36.3	41.5	15.4	1.3	0.0	1.7	
	女性 (n=1,015)	36.6	7.4	46.7	1.8	0.3	2.2	

※ その他【抜粋】甥（3件）、ケアマネジャー（6件）

### F 1-1 記入者は主な介護者か

調査票記入者があて名の本人でない場合、記入者が「主に介護をしている」割合は 81.0%となっています。

性別では、男性で「主に介護をしている」割合がやや高くなっています。

図 5.4 主な介護者か/性別

		主に介護をしている	(主に介護を) していない (他の者が主な 介護者)	無回答
合計 (n=915)		81.0	15.1	3.9
性別	男性 (n=323)	83.6	13.9	2.5
	女性 (n=592)	79.6	15.7	4.7

F 2 年齢（令和元年10月1日現在）

年齢は、平均 83.4 歳で、後期高齢者の割合は 76.8%となっています。「90 歳以上」が 23.7%と最も高く、次いで「85-89 歳」が 23.0%、「80-84 歳」が 19.6%となっています。

性別では、男性は平均 80.5 歳に対し、女性は 85.1 歳と女性の平均年齢が高くなっています。後期高齢者の割合は、男性では 72.4%、女性は 79.1%です。

圏域別にみると、大塚地区での後期高齢者の割合は 73.3%で最も低く、本富士地区と駒込地区は約 78%と相対的に高くなっています。

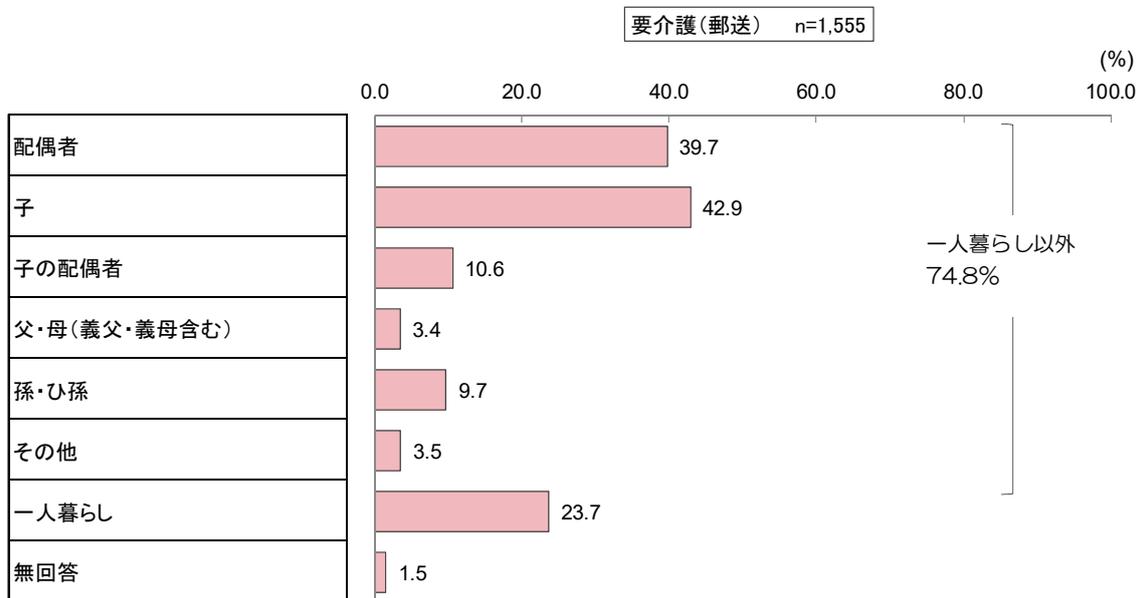
図 5.5 年齢/性別/圏域別



F3 一緒に住んでいる人

一緒に住んでいる人は、「子」が42.9%と最も高く、次いで「配偶者」が39.7%となっています。また、「一人暮らし」は23.7%となっています。

図 5.6 一緒に住んでいる人



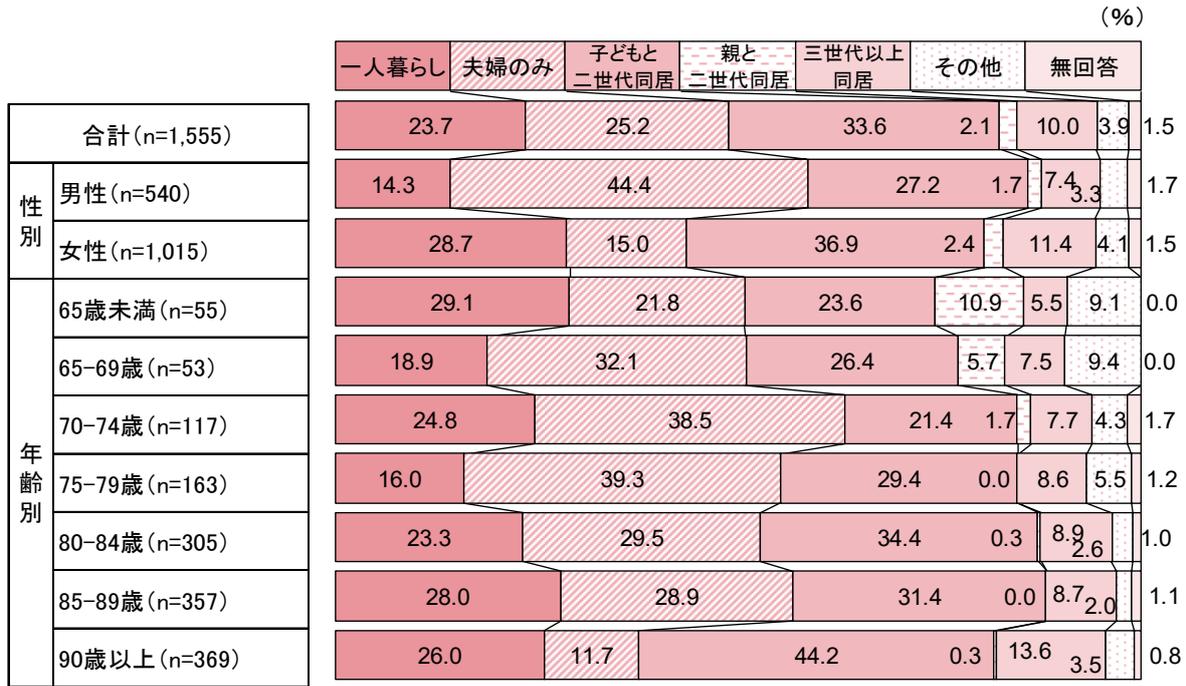
※ その他【抜粋】 兄弟姉妹、義兄弟姉妹  
 ※ 「一人暮らし以外」=100%－「一人暮らし」－「無回答」

家族構成は、「子どもと二世世代同居」が33.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.2%、「一人暮らし」が23.7%となっています。

性別では、男性は「夫婦のみ」が44.4%と最も高く、女性は「子どもと二世世代同居」が36.9%と最も高くなっていますが、「一人暮らし」も28.7%となっています。

年齢別にみると、75～79歳から85～89歳にかけて、「一人暮らし」の割合が増加しています。「夫婦のみ」は70～74歳、75～79歳で38～39%前後と高くなっています。「子どもと二世世代同居」は90歳以上で44.2%と最も高くなっています。

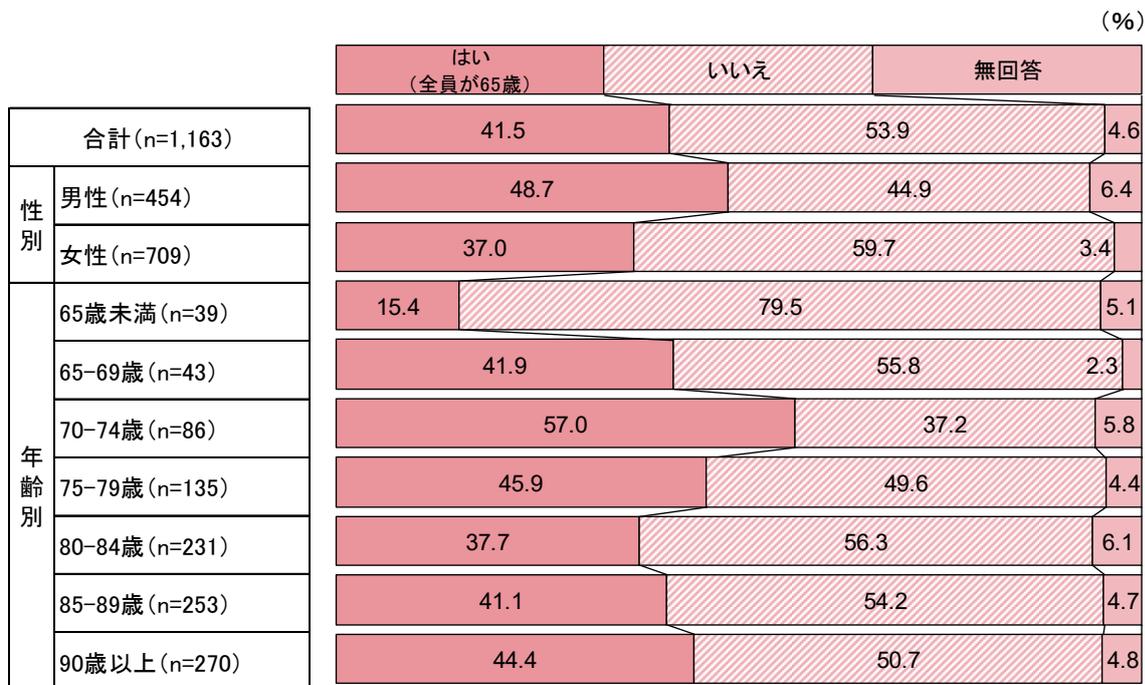
図 5.7 家族構成/性別/年齢別



F 4 【一人暮らし以外の方】同居の方は全員が65歳以上か

65歳以上のみで暮らしている世帯は、41.5%となっています。  
 性別では、男性は48.7%と女性と比べて12ポイントほど高くなっています。  
 年齢別にみると、65歳未満から70～74歳にかけて「はい」の割合が増加し、70-74歳では57.0%となっています。

図 5.8 同居の方は全員が65歳以上か/性別/年齢別



F 5 要介護度

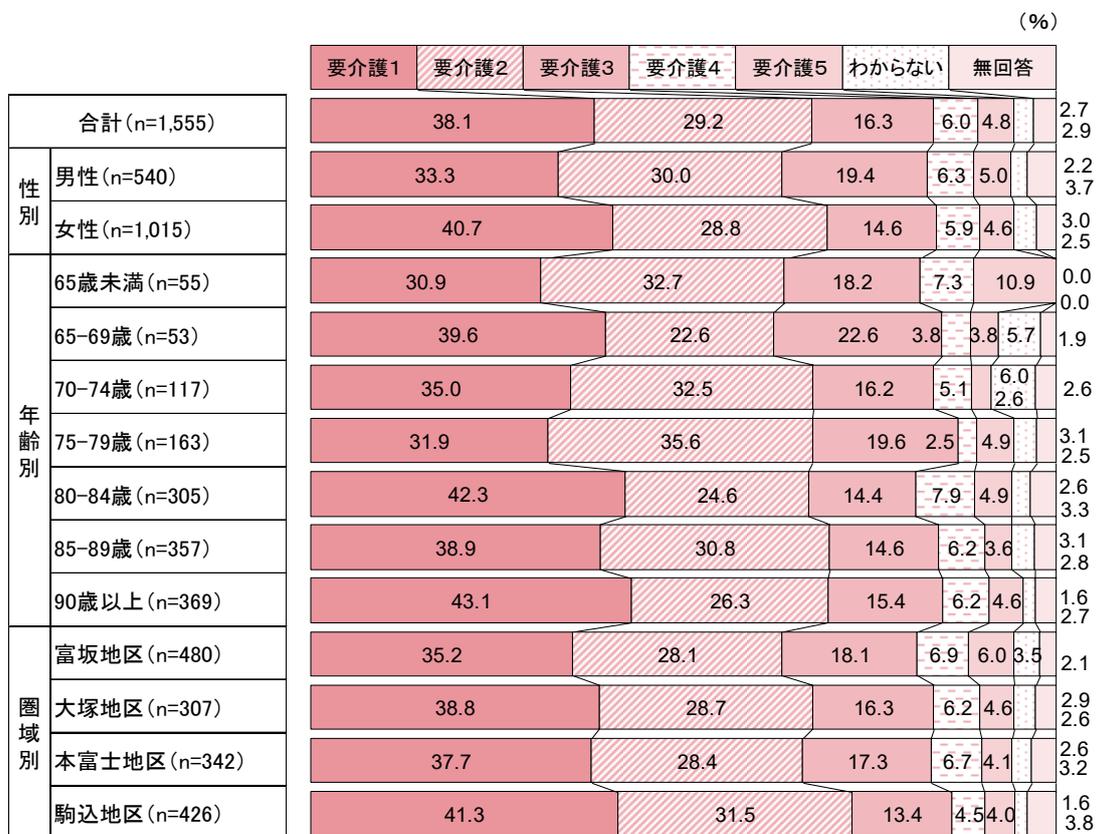
要介護度は、「要介護1」が38.1%と最も高く、次いで「要介護2」が29.2%、「要介護3」が16.3%となっています。「要介護3以上」は27.1%となっています。

性別では、女性は「要介護1」が40.7%と、男性の33.3%と比べて7ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、80歳以上では70~79歳と比べて「要介護1」の割合が高くなっています。65歳未満では「要介護5」が10.9%と、他の年齢と比べて最も高くなっています。

圏域別にみると、駒込地区は「要介護1」、「要介護2」が高く、相対的に要介護度が低い人の割合が多くなっています。富坂地区は「要介護3」以上が31.0%と要介護度が高い人の割合が高くなっています。

図 5.9 要介護度/性別/年齢別/圏域別



### 3 住まいについて

#### 問1 住まいの形態

住居形態は、「持家（一戸建て）」が 57.4%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 25.4%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 8.6%となっています。

性別では、女性の方が男性と比べて「持家（一戸建て）」の割合が 59.1%とやや高くなっています。年齢別にみると、65 歳未満は「持家（集合住宅）」が 36.4%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 18.2%と、他の年齢と比べて集合住宅に住んでいる割合が高くなっています。「持家（一戸建て）」は、70～74 歳から年齢が上がるにつれて割合が増加しています。

圏域別にみると、駒込地区で「持ち家（一戸建て）」が 67.6%と高く、家族構成別では「三世以上同居」で「持家（一戸建て）」が 78.8%と高くなっています。

図 5.10 住居形態/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/家族構成別

		持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答	(%)
合計 (n=1,555)		57.4	25.4	3.8	8.6	1.9	0.2	1.4	1.4	
性別	男性 (n=540)	54.3	27.8	4.3	9.4	1.1	0.4	1.5	1.3	
	女性 (n=1,015)	59.1	24.1	3.5	8.1	2.3	0.1	1.3	1.5	
年齢別	65歳未満 (n=55)	36.4	36.4	5.5	18.2	1.8	0.0	0.0	1.8	
	65-69歳 (n=53)	50.9	26.4	3.8	13.2	1.9	0.0	1.9	1.9	
	70-74歳 (n=117)	48.7	30.8	0.9	15.4	2.6	0.9	0.0	0.9	
	75-79歳 (n=163)	54.6	27.6	6.7	9.2	0.0	0.0	0.6	1.2	
	80-84歳 (n=305)	55.4	26.6	3.9	8.5	3.0	0.0	1.6	1.0	
	85-89歳 (n=357)	56.9	25.2	4.2	8.1	2.2	0.3	1.7	1.4	
	90歳以上 (n=369)	65.0	22.0	3.0	6.5	0.5	0.3	1.4	1.4	
要介護度別	要介護1 (n=593)	56.8	27.7	3.4	8.4	1.9	0.2	0.8	0.8	
	要介護2 (n=454)	57.3	25.3	3.7	9.5	1.1	0.2	1.3	1.5	
	要介護3 (n=253)	64.4	22.5	3.2	4.7	1.6	0.4	2.0	1.2	
	要介護4 (n=94)	54.3	25.5	4.3	11.7	1.1	0.0	2.1	1.1	
	要介護5 (n=74)	55.4	23.0	2.7	6.8	4.1	0.0	1.7	1.7	
圏域別	富坂地区 (n=480)	52.7	29.0	4.4	8.3	2.1	0.4	1.5	1.7	
	大塚地区 (n=307)	56.4	27.4	2.6	9.4	1.3	0.3	1.0	1.6	
	本富士地区 (n=342)	52.3	30.1	5.0	7.3	1.5	0.0	2.3	1.5	
	駒込地区 (n=426)	67.6	16.2	3.1	9.2	2.3	0.0	0.7	0.9	
家族構成別	一人暮らし (n=368)	38.6	28.8	8.2	17.1	3.8	0.0	1.9	1.6	
	夫婦のみ (n=392)	48.5	34.9	4.3	9.2	0.8	0.5	0.8	1.0	
	子どもと二世帯同居 (n=522)	68.2	21.5	1.9	4.6	1.5	0.0	1.0	1.3	
	親と二世帯同居 (n=33)	72.7	21.2	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	三世以上同居 (n=156)	78.8	14.7	0.0	3.2	0.0	0.0	1.3	1.3	
	その他 (n=60)	73.3	10.0	0.0	8.3	6.7	0.0	1.7	1.7	

※ その他【抜粋】 有料老人ホーム（3件）、サービス付き高齢者住宅（3件）

問2 現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいか

現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられるかについては、「はい」が65.6%、「いいえ」が28.6%となっています。

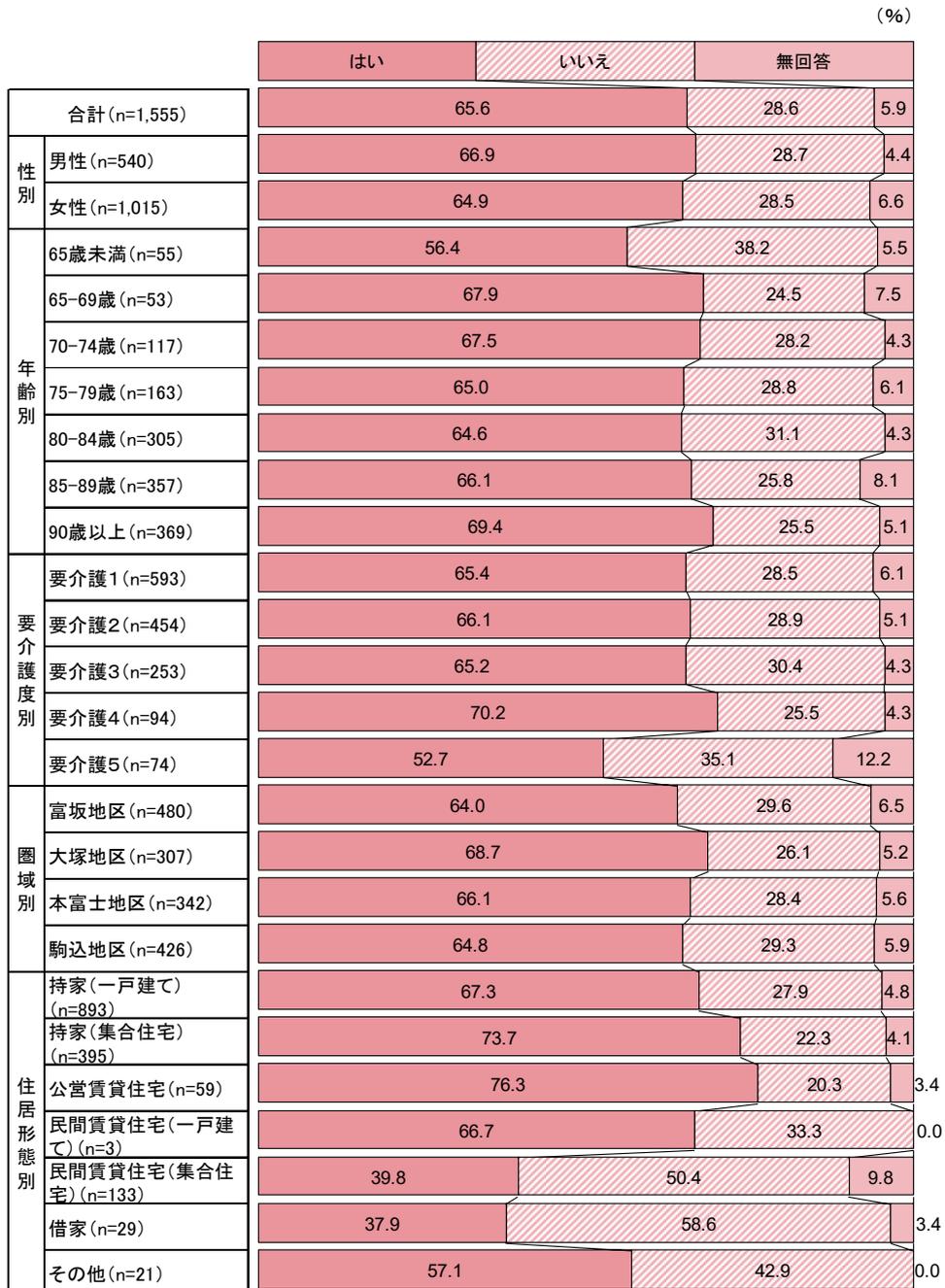
性別と圏域別では、特に目立った違いはみられません。

年齢別にみると、65歳未満において「いいえ」が38.2%と高くなっています。

要介護度別にみると、要介護5で35.1%が「いいえ」と回答しています。

住居形態別にみると、民間賃貸住宅（集合住宅）で「いいえ」が50.4%、借家でも「いいえ」が58.6%と高くなっています。

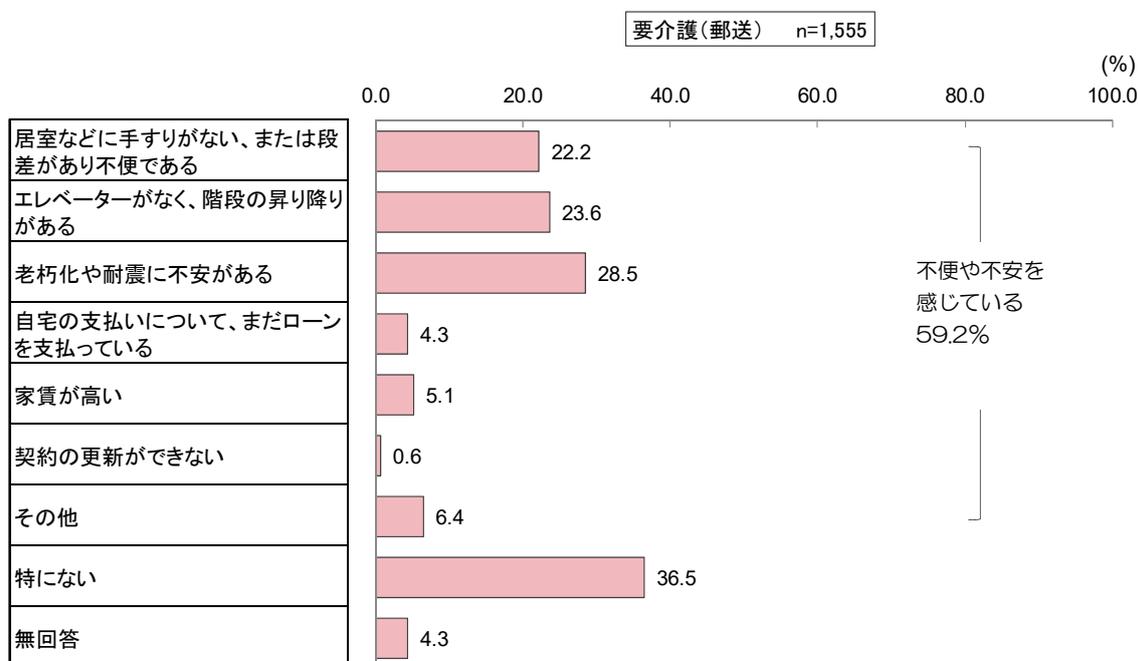
図 5.11 今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいか / 性別/年齢別/要介護度別/圏域別/住居形態別



問3 住まいについて不便や不安を感じていること

現在の住まいに何らかの不便や不安を感じている人の割合は 59.2%で、「老朽化や耐震に不安がある」が 28.5%と最も高く、次いで「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が 23.6%、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が 22.2%、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が 22.2%となっています。

図 5.12 住まいについて不便や不安を感じていること（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 狭い、借地・借家のため立ち退きを迫られている、トイレが遠い  
 ※ 「不便や不安を感じている」=100%−「特になし」−「無回答」

性別では、特に目立った違いはみられません。

年齢別にみると、65歳未満は「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が 29.1%と他の年齢と比べて高く、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」は 65-69歳で 30.2%と高くなっています。

要介護度別にみると、要介護4で「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が 36.2%と最も高くなっています。

圏域別にみると、駒込地区は「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が 26.5%と4圏域の中で最も高くなっています。

住居形態別にみると、民間賃貸住宅（集合住宅）居住者で「家賃が高い」をあげる割合が 40.6%と高くなっています。

健康感別にみると、あまりよくない、よくないと回答している人は「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」を不便、不安に感じている割合が高くなっています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居をしている人は「老朽化や耐震に不安がある」が 42.4%と高くなっています。

図 5.13 住まいについて不便や不安を感じていること（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/住居形態別/健康感別/家族構成別

単位：%

項目		回答者数（人）	便である	エレベーターがなく、階段の昇り降りがある	老朽化や耐震に不安がある	自宅の支払いについて、まだローンを支払っている	家賃が高い	契約の更新ができない	その他	特にない	無回答
全体		1,555	22.2	23.6	28.5	4.3	5.1	0.6	6.4	36.5	4.3
性別	男性	540	21.7	24.3	28.5	4.8	5.7	1.1	5.6	37.4	5.4
	女性	1,015	22.5	23.3	28.5	4.0	4.7	0.3	6.9	36.1	3.7
年齢別	65歳未満	55	29.1	20.0	32.7	7.3	9.1	0.0	7.3	29.1	5.5
	65-69歳	53	15.1	30.2	20.8	13.2	7.5	1.9	13.2	30.2	3.8
	70-74歳	117	20.5	12.8	22.2	7.7	8.5	1.7	8.5	32.5	4.3
	75-79歳	163	23.3	26.4	29.4	4.3	2.5	0.6	3.7	37.4	6.1
	80-84歳	305	24.3	26.6	29.8	3.6	6.6	1.0	10.2	37.4	3.9
	85-89歳	357	23.5	22.1	24.1	2.5	4.5	0.3	3.1	41.5	3.9
	90歳以上	369	17.1	22.2	27.6	2.7	4.1	0.0	5.7	38.8	4.3
要介護度別	要介護1	593	20.7	23.9	27.8	3.9	5.1	0.5	6.4	38.1	2.7
	要介護2	454	21.4	24.9	28.9	5.1	5.3	0.4	6.6	37.9	4.6
	要介護3	253	22.9	24.1	26.9	5.1	3.6	0.0	7.5	31.2	6.3
	要介護4	94	36.2	19.1	31.9	4.3	7.4	2.1	8.5	29.8	1.1
	要介護5	74	25.7	25.7	35.1	2.7	2.7	0.0	5.4	32.4	10.8
圏域別	富坂地区	480	21.0	20.0	28.3	5.0	5.4	0.6	5.6	38.8	5.0
	大塚地区	307	25.4	23.5	30.0	3.9	5.2	0.0	7.2	39.1	2.9
	本富士地区	342	18.7	25.1	27.5	5.3	4.4	0.6	7.6	33.9	3.8
	駒込地区	426	23.9	26.5	28.4	3.1	5.2	0.9	5.9	34.3	4.9
住居形態別	持家（一戸建て）	893	21.7	32.4	33.3	3.6	0.2	0.2	5.8	34.2	3.0
	持家（集合住宅）	395	21.3	9.1	18.5	7.8	1.5	0.0	8.4	47.1	4.8
	公営賃貸住宅	59	15.3	6.8	18.6	0.0	11.9	1.7	5.1	52.5	3.4
	民間賃貸住宅（一戸建て）	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	民間賃貸住宅（集合住宅）	133	33.8	20.3	31.6	2.3	40.6	3.8	3.8	18.0	3.0
	借家	29	20.7	20.7	48.3	3.4	24.1	3.4	6.9	24.1	0.0
	その他	21	28.6	19.0	14.3	0.0	9.5	0.0	23.8	47.6	0.0
健康感別	とてもよい	76	13.2	14.5	19.7	6.6	2.6	0.0	5.3	46.1	7.9
	まあよい	783	18.1	20.9	28.6	4.1	4.3	0.6	6.3	41.8	2.3
	あまりよくない	471	26.1	29.1	28.9	5.3	5.7	0.4	6.6	30.1	4.5
	よくない	141	38.3	29.8	33.3	0.0	9.2	0.0	8.5	24.1	6.4
家族構成別	一人暮らし	368	18.8	17.1	31.5	1.6	7.6	0.5	4.9	39.1	4.1
	夫婦のみ	392	20.4	23.7	25.0	4.1	4.3	1.0	8.4	40.6	5.1
	子どもと二世帯同居	522	26.4	28.0	29.7	4.4	4.4	0.2	5.4	32.6	4.4
	親と二世帯同居	33	33.3	27.3	42.4	6.1	3.0	0.0	9.1	27.3	0.0
	三世帯以上同居	156	17.9	25.0	20.5	9.0	2.6	0.0	7.1	40.4	1.9
	その他	60	21.7	21.7	31.7	6.7	8.3	3.3	11.7	28.3	6.7

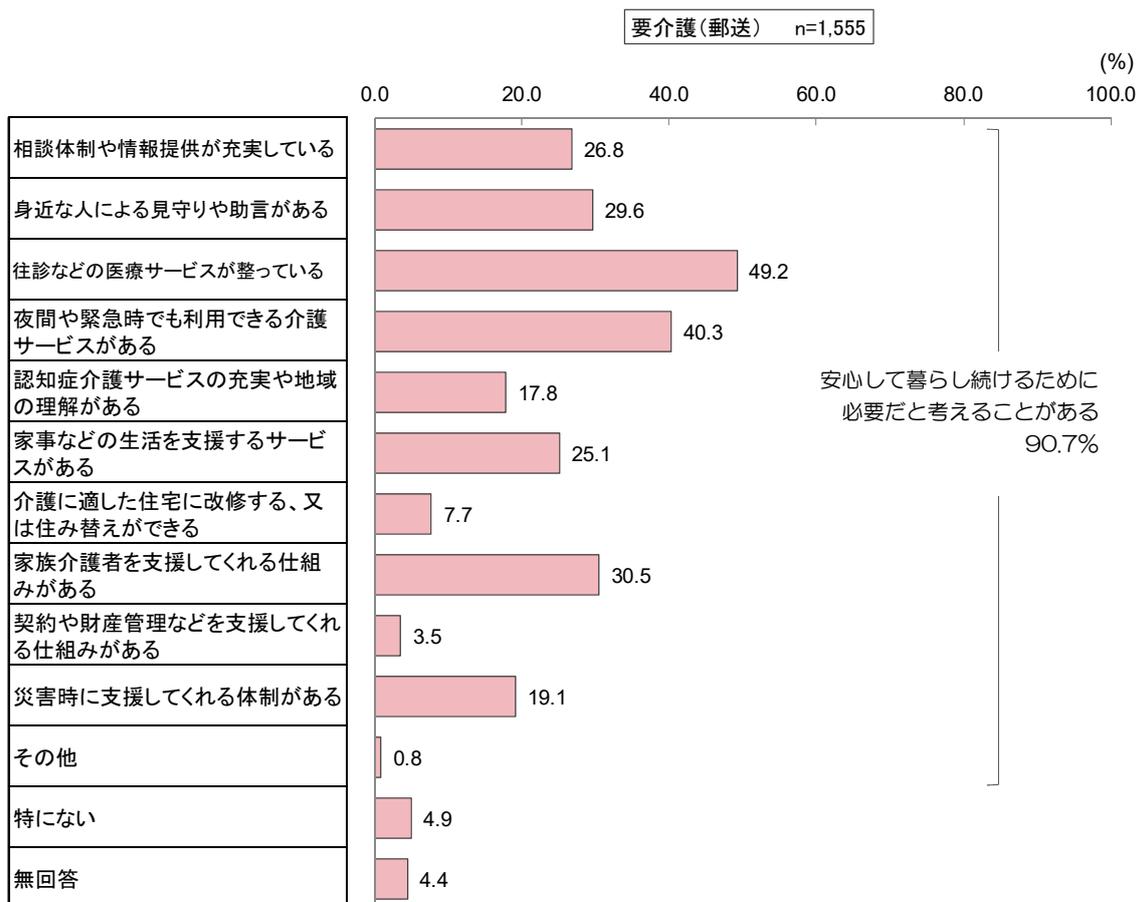
※ 「健康感」は「問 23 現在の健康状態」の回答結果です。

## 4 介護等について

### 問4 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要なこと

介護になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要と考えることは、「往診などの医療サービスが整っている」が49.2%と最も高く、次いで「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が40.3%、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」が30.5%となっています。

図 5.14 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要なこと（3つまで可）



※ その他【抜粋】話し相手、経済的支援

※ 「安心して暮らし続けるために必要だと考えることがある」=100%－「特にない」－「無回答」

性別では、男性は女性と比べて「相談体制や情報提供が充実している」を必要とする割合が、女性は男性と比べて「身近な人による見守りや助言がある」が4ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上は「往診などの医療サービスが整っている」が40%以上となっており、特に90歳以上では57.5%にのぼっています。

図 5.15 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要なこと（3つまで可）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、又は住み替えができる
全体		1,555	26.8	29.6	49.2	40.3	17.8	25.1	7.7
性別	男性	540	30.0	26.7	50.2	40.7	14.8	22.6	8.3
	女性	1,015	25.1	31.1	48.7	40.0	19.4	26.5	7.4
年齢別	65歳未満	55	29.1	20.0	30.9	40.0	12.7	38.2	21.8
	65-69歳	53	47.2	17.0	32.1	37.7	9.4	20.8	15.1
	70-74歳	117	17.9	24.8	44.4	30.8	14.5	33.3	4.3
	75-79歳	163	34.4	25.2	50.9	36.8	17.2	21.5	11.7
	80-84歳	305	23.9	32.1	45.6	40.3	20.0	26.9	8.2
	85-89歳	357	23.2	29.4	47.6	38.9	21.6	26.3	5.6
	90歳以上	369	27.1	33.3	57.5	43.6	12.7	21.4	4.6

項目		回答者数（人）	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	特にない	無回答
全体		1,555	30.5	3.5	19.1	0.8	4.9	4.4
性別	男性	540	31.7	3.9	19.3	1.5	5.4	4.3
	女性	1,015	29.9	3.3	19.0	0.5	4.6	4.5
年齢別	65歳未満	55	34.5	7.3	29.1	3.6	3.6	1.8
	65-69歳	53	34.0	3.8	22.6	0.0	3.8	3.8
	70-74歳	117	29.1	5.1	22.2	1.7	6.8	6.0
	75-79歳	163	27.0	3.7	19.6	0.6	4.3	3.1
	80-84歳	305	32.1	3.6	21.0	1.0	5.6	3.6
	85-89歳	357	27.2	2.5	17.1	0.0	6.2	6.7
	90歳以上	369	31.4	3.0	17.9	1.1	3.8	3.8

要介護度別にみると、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」は要介護3と要介護5で高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしでは他の世帯構成に比べ「家事などの生活を支援するサービスがある（37.0%）」が高く、子どもと二世帯同居、親と二世帯同居、三世帯以上同居、その他では「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」の割合が高くなっています。

図 5.16 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるため必要なこと（3つまで可）要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

単位：%

項目	回答者数（人）	供相 談が 充実 して いる	身 守り や 助 言 が あ る	往 診 な ど の 医 療 サ ー ビ ス が 整 っ て い る	夜 間 や 緊 急 時 で も 利 用 で き る サ ー ビ ス が あ る	認 知 症 や 地 域 の サ ー ビ ス の 充 実 が あ る	家 事 な ど の 生 活 を 支 援 す る サ ー ビ ス が あ る	住 み 替 え が で き る	介 護 に 適 し た 住 宅 に 改 修 す る 、 又 は
全 体	1,555	26.8	29.6	49.2	40.3	17.8	25.1	7.7	
要介護度別	要介護1	593	25.0	31.5	46.7	37.6	19.2	25.5	5.7
	要介護2	454	28.2	27.5	51.3	42.7	17.0	27.1	9.9
	要介護3	253	28.5	30.4	49.8	43.9	21.7	21.3	8.3
	要介護4	94	27.7	22.3	52.1	42.6	14.9	24.5	10.6
	要介護5	74	31.1	25.7	52.7	43.2	17.6	23.0	9.5
家族構成別	一人暮らし	368	22.8	34.5	44.8	40.8	11.1	37.0	5.2
	夫婦のみ	392	29.6	26.0	51.8	40.3	17.9	24.5	7.7
	子どもと二世帯同居	522	28.2	28.2	50.0	39.8	20.3	20.9	8.8
	親と二世帯同居	33	27.3	30.3	45.5	36.4	33.3	27.3	21.2
	三世帯以上同居	156	22.4	30.1	57.1	42.3	22.4	12.8	9.0
	その他	60	31.7	23.3	35.0	43.3	20.0	26.7	1.7
大サービス利用	利用している	1,295	26.9	29.3	50.8	41.5	17.6	25.9	7.7
	利用していない	194	28.4	32.5	42.3	36.1	21.1	20.6	8.8

項目	回答者数（人）	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	特にない	無回答	
全 体	1,555	30.5	3.5	19.1	0.8	4.9	4.4	
要介護度別	要介護1	593	26.5	3.9	19.7	1.0	5.7	4.7
	要介護2	454	33.0	2.6	19.8	0.0	4.0	4.0
	要介護3	253	37.9	4.3	17.8	0.8	4.0	2.0
	要介護4	94	33.0	3.2	16.0	1.1	2.1	6.4
	要介護5	74	36.5	4.1	21.6	4.1	4.1	6.8
家族構成別	一人暮らし	368	15.8	6.8	22.3	0.8	6.8	4.3
	夫婦のみ	392	30.1	2.3	19.1	1.0	5.1	3.1
	子どもと二世帯同居	522	37.0	1.3	17.2	0.2	3.8	5.4
	親と二世帯同居	33	39.4	12.1	15.2	6.1	3.0	0.0
	三世帯以上同居	156	40.4	2.6	19.2	1.9	5.1	2.6
	その他	60	41.7	8.3	15.0	0.0	3.3	10.0
大サービス利用	利用している	1,295	32.0	3.3	19.6	0.8	4.5	3.4
	利用していない	194	26.3	4.6	17.0	1.5	6.7	6.7

## 問5 今後希望する暮らし方

今後の希望する暮らし方は、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が75.8%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」が11.9%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住み替えたい」が5.9%となっています。

性別では、女性は「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」の割合が男性と比べてやや高くなっています。

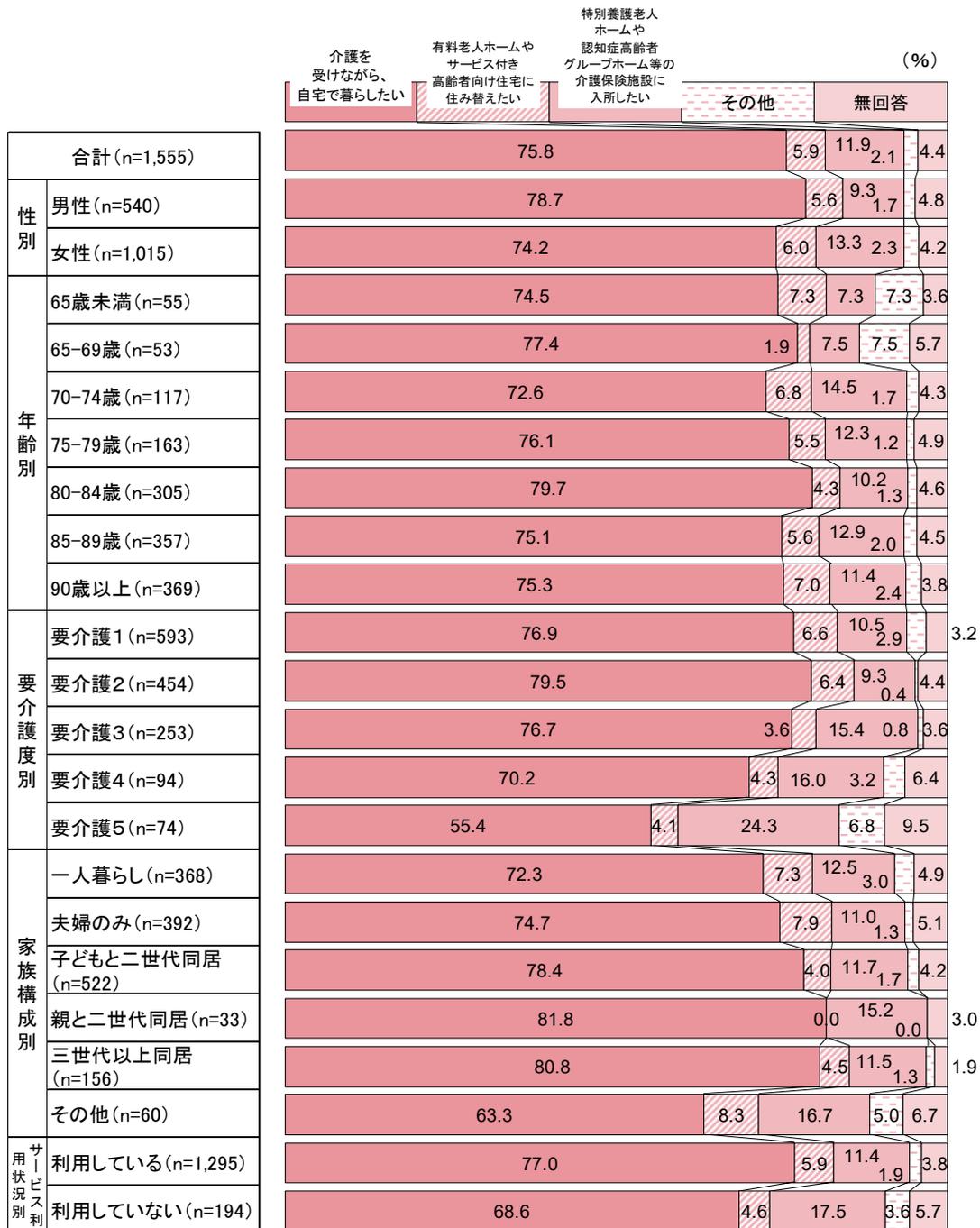
年齢別にみると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」はいずれの年齢においても70%台となっています。また、70～74歳は「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」が14.5%と他の年齢と比べてやや高くなっています。

要介護度別にみると、要介護3から5にかけて、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が減少し、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」の割合が増え、要介護5では24.3%となっています。

家族構成別にみると、一人暮らし、夫婦のみ、その他世帯は「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が低く、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住み替えたい」が高くなっています。

サービス利用状況別にみると、サービス利用者は「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が77.0%と高くなっています。

図 5.17 今後希望する暮らし方/性別/年齢別/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別



※ その他【抜粋】 自宅と施設の使い分け

(注) サービス付き高齢者向け住宅…高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅

問6 終末期を迎える場所の希望

終末期を迎える場所の希望は、「自宅」が55.1%と最も高く、次いで「病院」が18.3%となっています。「わからない」は15.2%です。

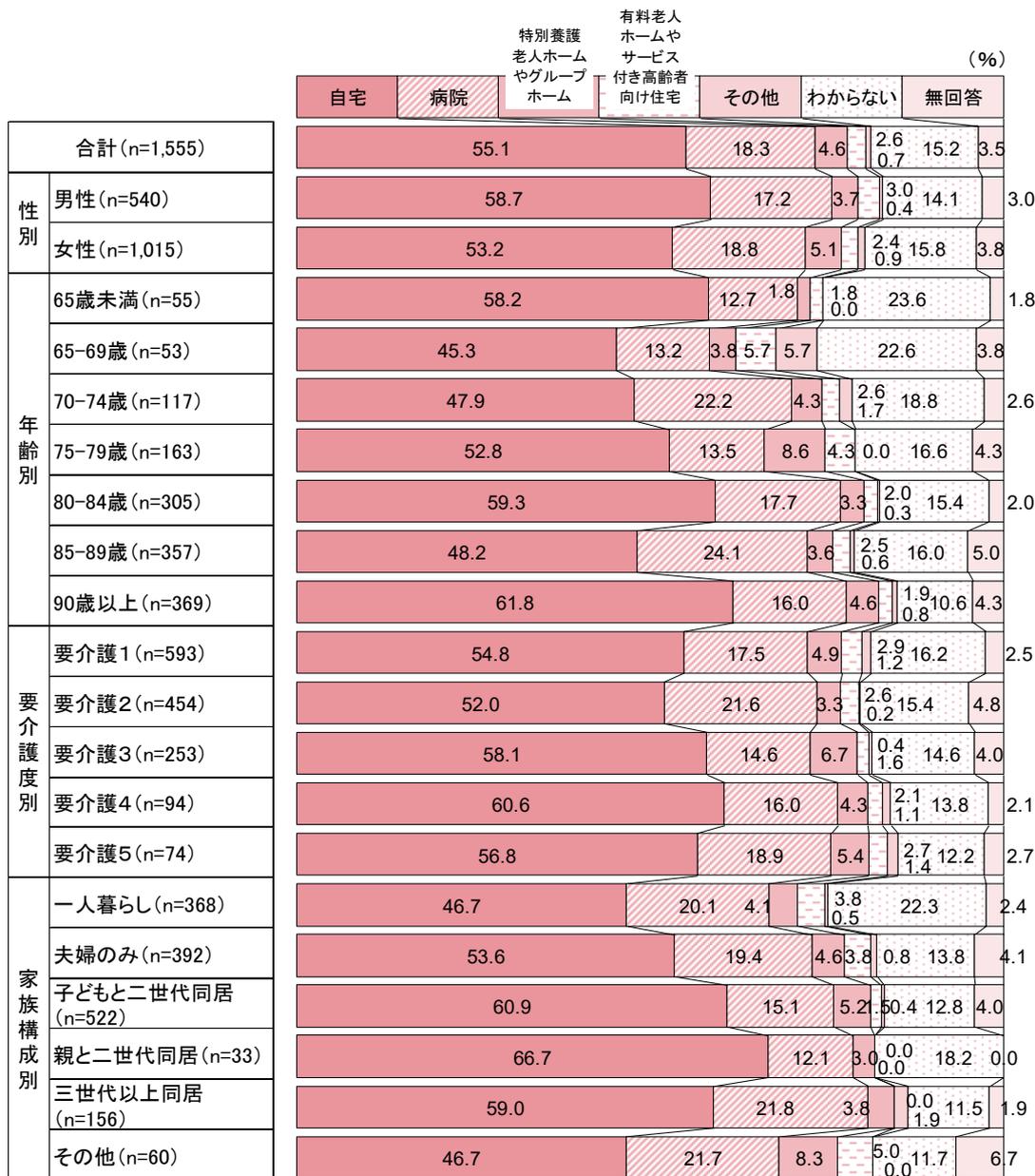
性別では、男性は「自宅」を希望する割合が女性と比べて高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満は「わからない」が23.6%と他の年齢と比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1~2の人と比べて要介護3~4の人の方が「自宅」を希望する割合が高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「わからない」が22.3%と高くなっています。また、子どもと二世世代同居の人は「自宅」が60.9%と高くなっています。

図 5.18 終末期を迎える場所の希望/性別/年齢別/要介護度別/家族構成別



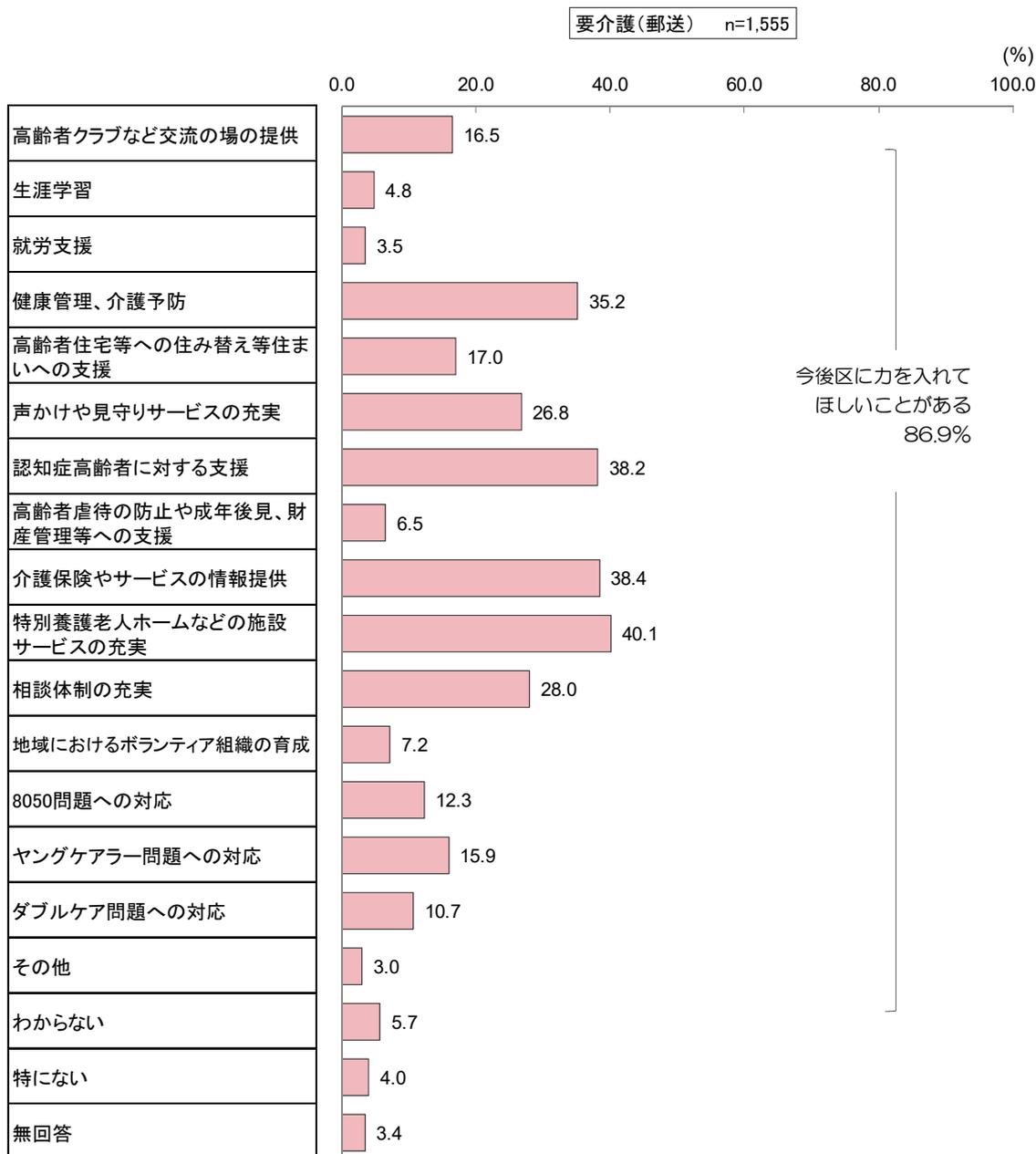
※ その他【抜粋】 ホスピス、娘の世話になる

(注) 終末期…治療で回復の見込みがなく、数週間~数か月のうちに死亡するだろうと予期される状態になった時期

問7 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことは、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が40.1%と最も高く、次いで「介護保険やサービスの情報提供」が38.4%、「認知症高齢者に対する支援」が38.2%となっています。

図 5.19 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（5つまで可）



※ その他【抜粋】 障害課との連携、介護者の負担軽減、老老介護対策の充実、若年性認知症のデイサービス

※ 「今後区に力を入れてほしいことがある」=100%－「わからない」－「特にない」－「無回答」

(注) 8050問題とは………80代の親と50代の子の親子関係を例えとして、親の高齢化や子どもの引きこもりの長期化に伴い、収入や介護などに関する問題が生じ、生活が困難な状態になること。

ヤングケアラー問題とは…子どもが家族の介護を行うことで重い負担を負い、子ども自身に影響を及ぼす問題。

ダブルケア問題とは………高齢化、核家族化等により、子育て等と同時に介護を行うことで負担が増す問題。

性別では、男性は「介護保険やサービスの情報提供」が40.2%と最も高く、女性は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が42.2%と最も高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満では「相談体制の充実」を期待する割合が最も高く、90歳以上では「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が最も高いなど、年齢によって期待が異なっています。

要介護度別にみると、要介護1では「認知症高齢者に対する支援」が38.4%と最も高くなっています。要介護2～5では「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が最も高く、要介護5は55.4%と特に高くなっています。

図 5.20 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（5つまで可）  
/性別/年齢別/要介護度別

単位：%

項目		回答者数 (人)	高齢者交流の場の提 供	生涯学習	就労支援	防健康管理、介護予 まいへの支援	高齢者住宅等へ の住み替え等住 まいへの支援	声かけや見守り サービスの充実	認知症高齢者 に対する支援	高齢者虐待の防止 や成年後見、財産管 理等への支援	介護保険やサ ービスの情報提供	特別養護老人ホ ームなどの施設 サービスの充実
全体		1,555	16.5	4.8	3.5	35.2	17.0	26.8	38.2	6.5	38.4	40.1
性別	男性	540	14.6	4.4	4.3	34.1	18.3	24.6	35.2	6.1	40.2	36.3
	女性	1,015	17.4	4.9	3.1	35.9	16.3	28.0	39.8	6.7	37.4	42.2
年齢別	65歳未満	55	10.9	7.3	21.8	30.9	32.7	29.1	27.3	10.9	36.4	23.6
	65-69歳	53	13.2	9.4	13.2	34.0	22.6	24.5	37.7	13.2	37.7	30.2
	70-74歳	117	16.2	6.8	1.7	40.2	17.1	24.8	34.2	8.5	38.5	39.3
	75-79歳	163	16.6	5.5	2.5	32.5	16.6	17.8	35.6	6.7	37.4	42.3
	80-84歳	305	15.4	5.6	2.0	36.4	15.4	29.2	39.3	6.9	40.7	35.7
	85-89歳	357	15.4	1.7	0.8	36.7	13.2	29.7	42.9	5.3	36.7	38.9
	90歳以上	369	18.7	4.1	2.7	35.0	15.7	27.4	36.6	5.4	39.8	45.5
要介護度別	要介護1	593	20.6	5.4	3.7	37.3	15.7	29.0	38.4	5.9	37.3	36.9
	要介護2	454	14.5	3.7	2.9	35.5	19.4	25.6	36.3	7.5	38.1	38.8
	要介護3	253	12.3	6.7	3.6	31.2	16.2	28.1	46.2	6.7	41.1	49.4
	要介護4	94	13.8	3.2	3.2	33.0	14.9	26.6	35.1	5.3	40.4	44.7
	要介護5	74	8.1	2.7	5.4	31.1	17.6	14.9	39.2	8.1	41.9	55.4

項目		回答者数 (人)	相談体制の充実	地域におけるポ ランティア組織 の育成	8050 問題への対応	ヤングケアラ ー問題への対応	ダブルケア問 題への対応	その他	わからない	特にな い	無回 答
全体		1,555	28.0	7.2	12.3	15.9	10.7	3.0	5.7	4.0	3.4
性別	男性	540	32.0	8.5	10.4	14.6	11.1	3.5	4.8	4.6	4.3
	女性	1,015	25.8	6.5	13.4	16.6	10.4	2.8	6.2	3.6	3.0
年齢別	65歳未満	55	45.5	16.4	12.7	16.4	20.0	7.3	0.0	3.6	1.8
	65-69歳	53	30.2	7.5	11.3	17.0	13.2	3.8	1.9	5.7	0.0
	70-74歳	117	32.5	11.1	7.7	13.7	12.0	2.6	1.7	5.1	2.6
	75-79歳	163	27.6	9.8	15.3	16.0	9.2	1.8	6.1	4.9	3.7
	80-84歳	305	25.6	6.6	10.2	13.1	9.8	4.6	6.2	4.6	3.6
	85-89歳	357	28.0	6.7	12.0	13.7	8.7	2.2	7.8	2.8	5.0
	90歳以上	369	25.7	5.1	11.1	17.3	8.1	2.4	6.0	4.1	3.0
要介護度別	要介護1	593	27.0	6.7	10.8	15.7	9.6	2.2	6.6	3.5	3.0
	要介護2	454	28.6	9.0	14.5	17.4	11.5	3.7	5.5	5.1	3.5
	要介護3	253	30.8	4.3	14.2	17.0	12.6	2.8	4.7	2.4	2.4
	要介護4	94	25.5	5.3	10.6	16.0	9.6	3.2	4.3	4.3	5.3
	要介護5	74	27.0	13.5	17.6	13.5	16.2	5.4	4.1	5.4	2.7

圏域別にみると、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が期待する圏域が多い中、大塚地区は「認知症高齢者に対する支援」が最も高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「健康管理、介護予防」を、夫婦のみ、三世代以上同居世帯では「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」、子どもと二世代同居、親と二世代同居では「認知症高齢者に対する支援」の割合が最も高くなっています。

図 5.21 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（5つまで可）/圏域別/家族構成別

単位：%

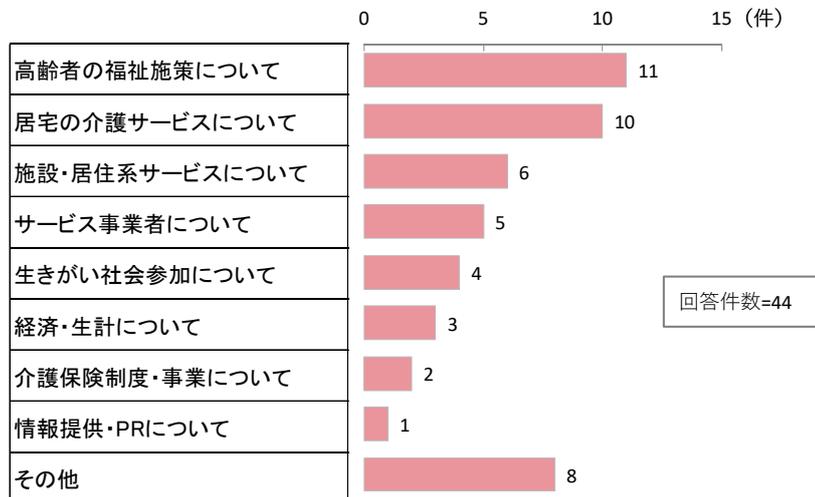
項目	回答者数（人）	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	防 健康管理、介護予	への支援 住み替え等住まい	高齢者住宅等への	声かけや見守りサービス	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
全 体	1,555	16.5	4.8	3.5	35.2	17.0	26.8	38.2	6.5	38.4	40.1	
圏域別	富坂地区	480	13.3	4.0	2.9	33.8	17.1	25.8	35.8	6.0	39.0	39.0
	大塚地区	307	16.0	5.2	4.2	36.5	20.5	24.8	44.3	6.2	40.1	43.0
	本富士地区	342	16.7	4.7	2.9	36.5	14.9	26.3	38.9	4.7	38.3	39.8
	駒込地区	426	20.2	5.4	4.0	35.0	16.0	29.8	35.9	8.7	36.6	39.7
家族構成別	一人暮らし	368	14.7	3.8	3.5	37.8	19.0	37.5	26.9	7.9	33.4	33.7
	夫婦のみ	392	16.1	4.8	2.6	35.5	20.2	25.5	40.8	6.4	42.1	43.9
	子どもと二世代同居	522	16.9	4.4	3.4	34.3	13.6	23.4	42.0	4.6	41.6	40.8
	親と二世代同居	33	15.2	6.1	15.2	36.4	30.3	24.2	57.6	6.1	27.3	42.4
	三世代以上同居	156	23.1	7.7	2.6	34.6	11.5	17.3	39.1	7.7	35.3	44.9
	その他	60	11.7	6.7	3.3	30.0	23.3	26.7	48.3	13.3	35.0	38.3

項目	回答者数（人）	相談体制の充実	地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	その他	わからない	特にな	無回答
全 体	1,555	28.0	7.2	12.3	15.9	10.7	3.0	5.7	4.0	3.4
圏域別	富坂地区	480	26.0	5.6	15.0	17.3	11.0	2.7	5.8	4.2
	大塚地区	307	32.2	8.8	12.4	15.6	10.4	2.9	5.9	1.6
	本富士地区	342	26.6	7.3	8.8	15.8	9.4	5.0	5.8	1.5
	駒込地区	426	28.2	7.7	12.2	14.6	11.5	1.9	5.4	5.4
家族構成別	一人暮らし	368	29.1	7.9	5.2	11.4	7.6	3.0	7.1	3.0
	夫婦のみ	392	31.4	7.7	7.1	9.7	10.2	3.8	3.3	3.1
	子どもと二世代同居	522	27.8	6.9	18.6	20.5	10.0	2.3	7.5	4.2
	親と二世代同居	33	42.4	3.0	27.3	21.2	12.1	9.1	3.0	3.0
	三世代以上同居	156	16.7	4.5	19.2	28.2	20.5	2.6	3.8	2.6
	その他	60	23.3	10.0	10.0	13.3	15.0	1.7	5.0	3.3

## 高年齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと「その他」自由記述

高年齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことの自由記述の意見では、「高年齢者の福祉施策について」が11件、「居宅の介護サービスについて」が10件、「施設・居住系サービス」が6件と続いています。

図 5.22 高年齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（自由記述）  
（複数回答）



## 主な記述

## 1. 高齢者の福祉施策について 11件

- ◇高齢者だけでなく、病気で心身が不自由になった人が、利用できるサービスの充実してほしいです。リハビリや交流の場があると良いです。
- ◇孤独にならない様に、家族以外の人と話をしたり、食事を共に出来る様な環境の確保をお願いしたいです。必ずしもデイサービスの様な立派なサービスでなくても、気軽に他の人と話やお付き合いが出来ると嬉しいです。
- ◇歩くことが不自由になった高齢者が自由に出入り出来る図書館みたいな場所が、小さくても本は沢山なくてもいいから、近くに沢山有ったらいいと思います。介護施設を使わない高齢者は引きこもりがちになりやすいから。

## 2. 居宅の介護サービスについて 10件

- ◇デイサービスやデイケア施設の質の向上してほしいです。
- ◇2世帯住宅でも同居という事でヘルパーさんにサービスに入ってもらえない。夫婦など働き出たりしている場合があるので考えていただけますか。
- ◇若年性認知症のデイサービスをつくってほしいです。
- ◇病気の為、ショートステイが、利用できません。

## 3. 施設・居住系サービスについて 6件

- ◇特別養護老人ホームに入り易くしてほしいです。
- ◇特別養護老人ホームの施設を増加、低年金受給者でも入所可能な施設を増加して頂きたいです。

4. サービス事業者について 5件

◇職員の方の待遇をもっと良くしてあげてほしいです。あの肉体労働や、どんな罵声にも笑って対応する精神的疲労の対価はそうとうな額だと思います。

◇相談支援センターなどで実際に困った。現場にいる人の対応が役所的であり親身でない、通り一辺。相談窓口で対応する人間をきちんと教育し、しっかりした知識を持つよう勉強させるべきです。

5. 生きがい・社会参加について 4件

◇病状に合ったりハビリ。何もかも年寄り扱いせず指一本でも動けば何か出来るはずです。元気な年寄りも多いのでボランティアで手伝うなど。手伝う事により自分の為にもなると思います。

6. 経済・生計について 3件

◇吸引があるため入居できません。50年以上文京区に住んでいるのに特養に入れず区外の病院に入院していて、高齢の父は面会のために毎日病院に行っています。施設数不足で無理ならば金銭的にでも（補助的等）サポートするべきだと思います。

7. 介護保険制度・事業について 2件

◇これらについては、自分の家庭で対応していますから、問題ありません。私は、現在の介護保険制度に、当初から反対でした。これまでの家政婦、派出婦会が地域にあれば、それで十分。強制加入制度をうまく実行するには問題が多すぎます。

◇自分が障害者になって初めてわかったことは「小さいことほど大変だ」ということです。たとえば役所に提出する書類に住民票・健康保険のコピー等をその都度入れなければなりません。行政の効率化で一回で済むような方法はないのでしょうか。

8. 情報提供・PRについて 1件

◇今後厚労省が要介護1・2の高齢者に対する介護保険を自治体の総合事業に移すということがメディアでも言われており、不安です。

9. その他 8件

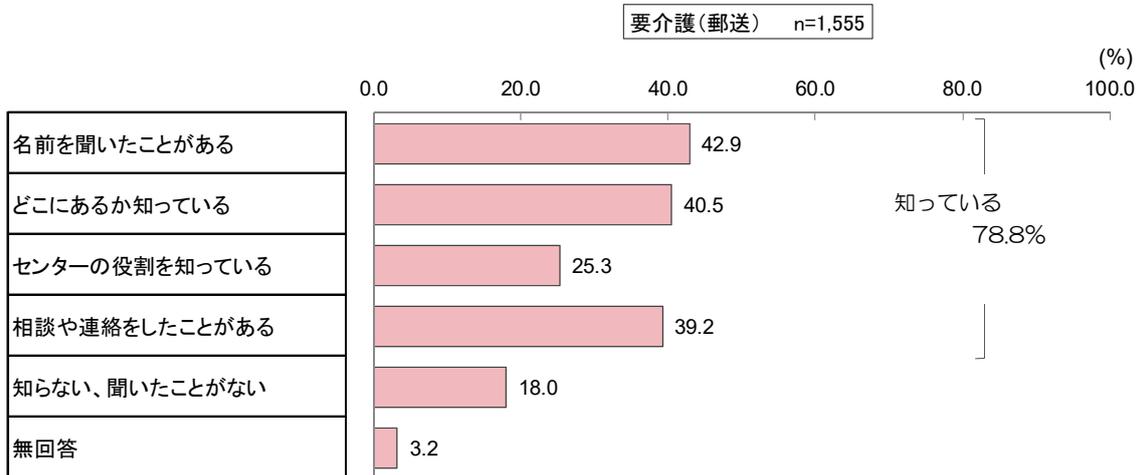
◇介護をする子供が60才代になっているので体力的に不安があります。

◇子供は子育てで1人親のため働かなくては親の面倒のゆとりがなく相談も出来ない状態です。

問8 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センターの認知度は78.8%で、「名前を聞いたことがある」は42.9%、「どこにあるか知っている」は40.5%、「相談や連絡をしたことがある」は39.2%となっています。

図 5.23 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度（いくつでも可）



性別では、男性の方が女性と比べて「名前を聞いたことがある」から「相談や連絡をしたことがある」まで、わずかですが割合が高くなっています。

年齢別にみると、69歳未満は「相談や連絡をしたことがある」は20%台であるのに対し、70歳以上では40%前後に増加しています。

要介護度別にみると、「相談や連絡をしたことがある」は要介護3で43.1%と最も高くなっています。また、介護度が高くても「知らない、聞いたことはない」と回答する人が一定割合存在し、要介護5では23.0%が「知らない、聞いたことはない」と回答しています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居の人で「相談や連絡をしたことがある」が45.5%と高くなっています。

図 5.24 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/家族構成別

単位：%

項目		回答者数（人）	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	ある相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		1,555	42.9	40.5	25.3	39.2	18.0	3.2
性別	男性	540	44.1	43.0	27.6	40.0	16.7	3.7
	女性	1,015	42.3	39.1	24.0	38.7	18.7	2.9
年齢別	65歳未満	55	45.5	32.7	21.8	29.1	23.6	1.8
	65-69歳	53	35.8	24.5	18.9	24.5	32.1	3.8
	70-74歳	117	41.0	40.2	22.2	38.5	19.7	1.7
	75-79歳	163	42.9	46.6	27.0	38.7	17.2	4.3
	80-84歳	305	46.6	41.3	27.9	39.3	15.7	4.3
	85-89歳	357	40.9	41.2	22.1	38.4	19.6	3.6
	90歳以上	369	47.4	41.7	30.6	40.7	16.5	1.6
要介護度別	要介護1	593	45.7	43.0	25.1	39.8	15.9	3.2
	要介護2	454	42.3	40.7	27.3	36.6	19.4	4.4
	要介護3	253	36.8	35.6	24.9	43.1	19.8	2.0
	要介護4	94	47.9	40.4	27.7	42.6	13.8	3.2
	要介護5	74	36.5	35.1	20.3	40.5	23.0	0.0
圏域別	富坂地区	480	47.1	35.8	22.3	32.1	21.3	2.5
	大塚地区	307	41.4	47.6	27.4	46.9	16.9	0.7
	本富士地区	342	45.3	36.3	25.7	39.2	15.2	4.4
	駒込地区	426	37.3	43.9	26.8	41.5	17.4	4.7
家族構成別	一人暮らし	368	42.9	37.8	26.4	36.1	19.3	3.3
	夫婦のみ	392	44.6	48.0	30.6	42.9	15.1	2.8
	子どもと二世帯同居	522	41.2	37.5	23.0	38.5	18.8	3.8
	親と二世帯同居	33	27.3	27.3	12.1	45.5	24.2	0.0
	三世帯以上同居	156	41.7	44.9	24.4	38.5	20.5	2.6
	その他	60	51.7	28.3	15.0	35.0	15.0	1.7

問9 施設等への入所・入居の検討状況

施設等へは、「入所・入居は検討していない」が65.2%ですが、「入所・入居を検討している」は17.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は7.6%となっています。

性別では、特に目立った違いはみられません。

年齢別にみると、「入所・入居を検討している」は65歳未満と90歳以上で20%前後と高くなっています。

要介護度別にみると、介護度が上がるにつれて「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が増加し、要介護5で39.2%となっています。

家族構成別にみると、一人暮らしと夫婦のみ世帯において、「入所・入居を検討している」割合が20%弱と高くなっています。

図 5.25 施設等への入所・入居の検討状況/性別/年齢別/要介護度別/家族構成別

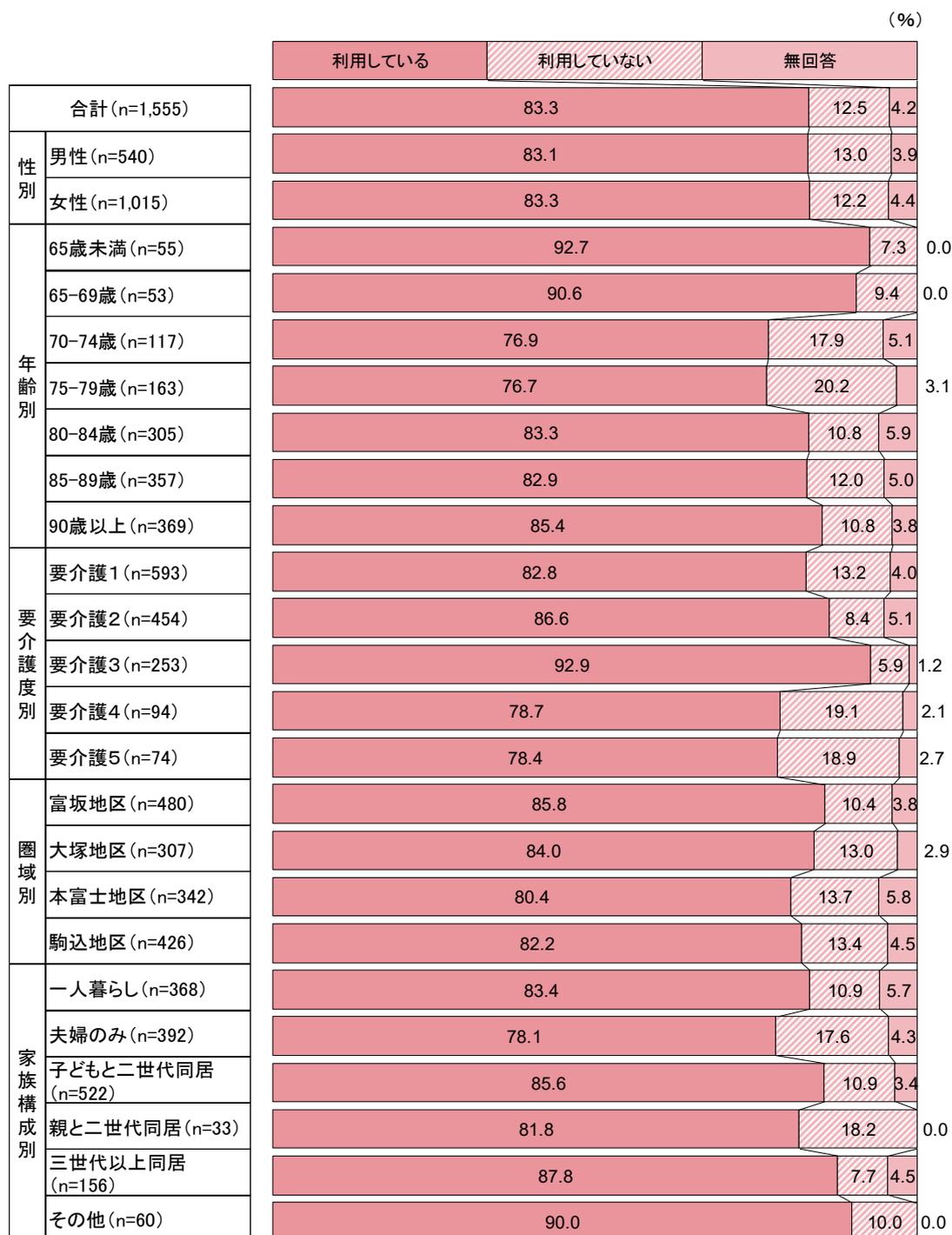
		入所・入居は 検討していない	入所・入居を 検討している	すでに入所・入居 申し込みをする	無回答
合計 (n=1,555)		65.2	17.0	7.6	10.2
性別	男性 (n=540)	66.9	16.5	5.9	10.7
	女性 (n=1,015)	64.3	17.2	8.5	10.0
年齢別	65歳未満 (n=55)	67.3	20.0	7.3	5.5
	65-69歳 (n=53)	88.7		5.7	0.0
	70-74歳 (n=117)	68.4	18.8	0.0	12.8
	75-79歳 (n=163)	73.0	12.3	4.3	10.4
	80-84歳 (n=305)	64.9	17.4	6.6	11.1
	85-89歳 (n=357)	63.3	16.2	8.1	12.3
	90歳以上 (n=369)	61.5	19.5	11.1	7.9
要介護度別	要介護1 (n=593)	71.2	16.4	2.7	9.8
	要介護2 (n=454)	68.9	17.0	2.9	11.2
	要介護3 (n=253)	58.5	20.2	15.0	6.3
	要介護4 (n=94)	56.4	17.0	19.1	7.4
	要介護5 (n=74)	35.1	17.6	39.2	8.1
家族構成別	一人暮らし (n=368)	59.2	18.8	9.0	13.0
	夫婦のみ (n=392)	62.8	19.9	5.1	12.2
	子どもと二世帯同居 (n=522)	70.9	14.9	6.5	7.7
	親と二世帯同居 (n=33)	66.7	15.2	15.2	3.0
	三世帯以上同居 (n=156)	68.6	16.7	7.7	7.1
	その他 (n=60)	58.3	11.7	18.3	11.7

※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 10 介護保険サービスの利用状況

介護保険サービスについては、「利用している」は83.3%です。  
 性別では、目立った違いはみられません。  
 年齢別にみると、69歳未満で「利用している」割合が90%台と高くなっています。  
 要介護度別にみると、要介護3で92.9%と最も高く、要介護4～5で78%前後と低くなっています。圏域別では、富坂地区は「利用している」が85.8%と若干高くなっています。  
 家族構成別にみると、子どもと二世帯同居、三世帯以上同居、その他で「利用している」割合が高く、夫婦のみ世帯で低くなっています。

図 5.26 介護保険サービスの利用状況/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/家族構成別



問 11 【サービス利用者】介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）利用状況（令和元年10月の1か月間）

前問で「利用している」と回答した人に関し、令和元年10月に介護保険サービスを「利用した」割合は86.2%となっています。

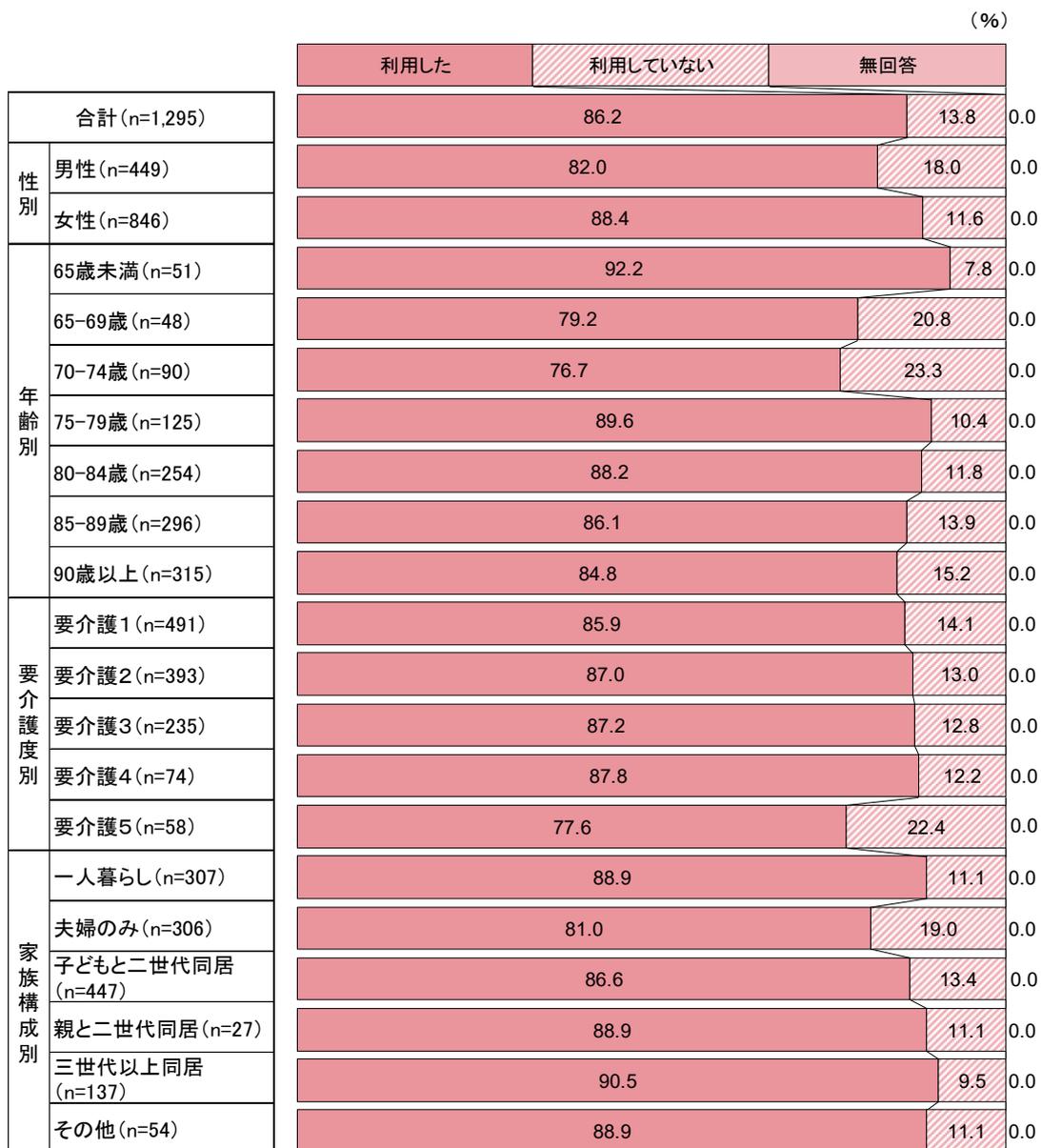
性別では、男性より女性で「利用した」割合が高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満と75～79歳で「利用した」が90%前後と高く、65～74歳では70%台と低くなっています。

要介護度別にみると、要介護5では「利用した」が77.6%と低くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らし、親と二世帯同居、三世帯以上同居、その他で90%前後と高く、夫婦のみでは81.0%と低くなっています。

図 5.27 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）利用状況 /性別/年齢別/要介護度別/家族構成別



問 12 【サービス利用者】介護保険サービスごとの利用頻度（最近1か月間）

A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

訪問介護の週1回以上利用率は31.0%です。「週1回程度」は8.8%、次いで「週2回程度」が7.9%となっています。

要介護度別にみると、要介護4～5で「週5回以上」が大きく増加し20%台となっています。

図 5.28 訪問介護（ホームヘルプサービス）の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数(人)	利用していない(0回)	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	1,116	22.6	8.8	7.9	4.6	2.9	6.9	46.4
要介護度別	要介護1	422	24.9	10.7	7.8	4.5	1.9	47.4
	要介護2	342	18.1	8.5	8.2	4.4	3.2	52.3
	要介護3	205	25.9	6.3	6.3	4.4	3.9	43.4
	要介護4	65	23.1	6.2	9.2	7.7	3.1	23.1
	要介護5	45	20.0	2.2	11.1	4.4	4.4	22.2

B. 訪問入浴介護

訪問入浴介護の週1回以上利用率は15.5%です。「週2回程度」が7.3%で、次いで「週1回程度」が6.3%となっています。

要介護度別にみると、要介護度4では「週1回程度」より「週2回程度」の割合が高くなっていますが、要介護5では「週1回程度」の方が高くなっています。

図 5.29 訪問入浴介護の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数(人)	利用していない(0回)	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	1,116	31.5	6.3	7.3	1.3	0.4	0.2	53.0
要介護度別	要介護1	422	35.3	3.3	5.0	0.7	0.0	55.5
	要介護2	342	25.4	6.1	7.3	1.2	0.9	58.8
	要介護3	205	34.1	7.8	8.8	3.4	0.0	45.9
	要介護4	65	35.4	12.3	16.9	1.5	1.5	0.0
	要介護5	45	22.2	22.2	13.3	0.0	2.2	0.0

## C. 訪問看護

訪問看護の週1回以上利用率は24.6%です。「週1回程度」が14.4%で、次いで「週2回程度」が6.2%となっています。

要介護度別にみると、要介護4以上での利用率は5割以上となっています。

図 5.30 訪問看護の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数 (人)	(0回) 利用していない	週1 回程度	週2 回程度	週3 回程度	週4 回程度	週5 回以上	無回答	
全体	1,116	25.7	14.4	6.2	2.1	0.5	1.3	49.7	
要介護度別	要介護1	422	31.0	13.3	3.8	0.2	0.0	0.5	51.2
	要介護2	342	20.2	13.5	5.8	2.6	0.6	0.9	56.4
	要介護3	205	29.8	14.1	4.4	3.4	1.5	2.0	44.9
	要介護4	65	18.5	26.2	24.6	6.2	0.0	1.5	23.1
	要介護5	45	13.3	24.4	15.6	4.4	0.0	11.1	31.1

## D. 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションの週1回以上利用率は22.9%です。「週1回程度」の割合は12.8%となっています。

要介護度別にみると、介護度が上がるにつれて利用率が増加し、要介護4～5では30%以上となっています。

図 5.31 訪問リハビリテーションの利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数 (人)	(0回) 利用していない	週1 回程度	週2 回程度	週3 回程度	週4 回程度	週5 回以上	無回答	
全体	1,116	28.2	12.8	7.4	1.1	0.6	0.9	48.9	
要介護度別	要介護1	422	31.3	10.7	4.5	0.7	0.2	0.2	52.4
	要介護2	342	23.4	12.6	7.9	0.9	0.9	1.2	53.2
	要介護3	205	31.2	13.7	10.7	1.0	0.5	1.5	41.5
	要介護4	65	32.3	21.5	9.2	0.0	1.5	3.1	32.3
	要介護5	45	22.2	20.0	15.6	6.7	0.0	0.0	35.6

E. 通所介護（デイサービス）

通所介護（デイサービス）の週 1 回以上利用率は 56.1%です。「週 2 回程度」の利用が 19.4%を占めています。

要介護度別にみると、要介護 2 は「週 2 回程度」が 21.6%と最も高くなっています。

図 5.32 通所介護（デイサービス）の利用頻度（最近 1 か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数（人）	利用していない（0回）	週 1 回程度	週 2 回程度	週 3 回程度	週 4 回程度	週 5 回以上	無回答	
全体	1,116	14.9	10.0	19.4	13.0	6.0	7.7	29.0	
要介護度別	要介護 1	422	14.5	13.7	20.9	12.1	5.2	6.2	27.5
	要介護 2	342	12.3	7.3	21.6	12.3	6.7	7.0	32.7
	要介護 3	205	15.6	7.8	15.6	17.1	8.3	11.2	24.4
	要介護 4	65	23.1	10.8	16.9	15.4	6.2	6.2	21.5
	要介護 5	45	20.0	8.9	11.1	8.9	2.2	8.9	40.0

F. 通所リハビリテーション（デイケア）

通所リハビリテーション（デイケア）の週 1 回以上利用率は 19.4%で、「週 2 回程度」が 8.8%、「週 1 回程度」が 6.2%となっています。

要介護度別にみると、要介護 1～3 で利用率は 19～20%となっており、以降は要介護 4、5と要介護度が上がるにつれて利用率が低下しています。

図 5.33 通所リハビリテーション（デイケア）の利用頻度（最近 1 か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数（人）	利用していない（0回）	週 1 回程度	週 2 回程度	週 3 回程度	週 4 回程度	週 5 回以上	無回答	
全体	1,116	30.2	6.2	8.8	2.6	0.5	1.3	50.4	
要介護度別	要介護 1	422	30.6	7.3	8.5	1.9	0.5	0.9	50.2
	要介護 2	342	25.1	5.3	9.4	2.3	1.2	0.9	55.8
	要介護 3	205	33.7	6.3	9.3	3.9	0.0	1.0	45.9
	要介護 4	65	46.2	1.5	7.7	1.5	0.0	4.6	38.5
	要介護 5	45	33.3	4.4	0.0	6.7	0.0	0.0	55.6

G. 夜間対応型訪問介護（※訪問回数）

夜間対応型訪問介護の週 1 回以上利用率は 1.1%です。  
要介護度別にみると、要介護 5 で利用率が 4.5%と高くなっています。

図 5.34 夜間対応型訪問介護の利用頻度（最近 1 か月間）/要介護度別

単位：%

項目		回答者数 (人)	(0回) 利用していない	週 1 回程度	週 2 回程度	週 3 回程度	週 4 回程度	週 5 回以上	無回答
全体		1,116	38.8	0.4	0.3	0.1	0.1	0.2	60.1
要介護度別	要介護 1	422	39.1	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	60.2
	要介護 2	342	32.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	要介護 3	205	42.4	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	56.1
	要介護 4	65	56.9	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	41.5
	要介護 5	45	44.4	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	51.1

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用率は 8.5%です。  
要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて「利用した」が増加し、要介護 5 では 20.0%となっています。

図 5.35 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用頻度（最近 1 か月間）/要介護度別

単位：%

項目		回答者数 (人)	(0回) 利用していない	利用した	無回答
全体		1,116	46.7	8.5	44.8
要介護度別	要介護 1	422	48.6	5.7	45.7
	要介護 2	342	42.4	8.5	49.1
	要介護 3	205	48.8	10.7	40.5
	要介護 4	65	56.9	13.8	29.2
	要介護 5	45	37.8	20.0	42.2

I. 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の利用率は2.3%です。  
要介護度別にみると、特に目立った違いはみられません。

図 5.36 小規模多機能型居宅介護の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項 目		回答者数 (人)	利用していない (0回)	利用した	無回答
全 体		1,116	48.7	2.3	48.9
要介護度別	要介護1	422	49.3	2.1	48.6
	要介護2	342	45.0	2.3	52.6
	要介護3	205	50.7	3.4	45.9
	要介護4	65	66.2	0.0	33.8
	要介護5	45	42.2	2.2	55.6

J. 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護の利用率は1.1%です。  
要介護度別にみると、要介護5で利用率が4.4%と最も高くなっています。

図 5.37 看護小規模多機能型居宅介護の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項 目		回答者数 (人)	利用していない (0回)	利用した	無回答
全 体		1,116	48.7	1.1	50.2
要介護度別	要介護1	422	49.8	0.5	49.8
	要介護2	342	45.3	1.2	53.5
	要介護3	205	50.7	0.5	48.8
	要介護4	65	63.1	3.1	33.8
	要介護5	45	40.0	4.4	55.6

## K. ショートステイ（1か月あたりの利用日数）

ショートステイの月1回以上利用率は15.6%です。「週1～7日程度」が10.5%と最も高くなっています。

要介護度別にみると、月1回以上利用率は要介護1で9.0%、要介護2で13.1%、要介護3以上で26～28%となっています。

図 5.38 ショートステイの利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

単位：%

項目	回答者数（人）	利用していない（0回）	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答	
全体	1,116	59.2	10.5	4.1	0.8	0.2	25.2	
要介護度別	要介護1	422	64.2	6.6	1.7	0.5	0.2	26.8
	要介護2	342	58.5	7.9	3.8	1.2	0.3	28.4
	要介護3	205	53.2	18.5	8.8	0.5	0.0	19.0
	要介護4	65	61.5	21.5	6.2	0.0	0.0	10.8
	要介護5	45	48.9	15.6	6.7	4.4	0.0	24.4

## L. 居宅療養管理指導（1か月あたりの利用回数）

居宅療養管理指導の月1回以上利用率は13.8%です。「月1回程度」が6.6%、「月2回程度」が5.1%となっています。

要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて利用率が高くなり、要介護5では31.1%で「月1回程度」の利用が15.6%、「月2回程度」、「月4回程度」がともに6.7%となっています。

図 5.39 居宅療養管理指導の利用頻度（最近1か月間）/要介護度別

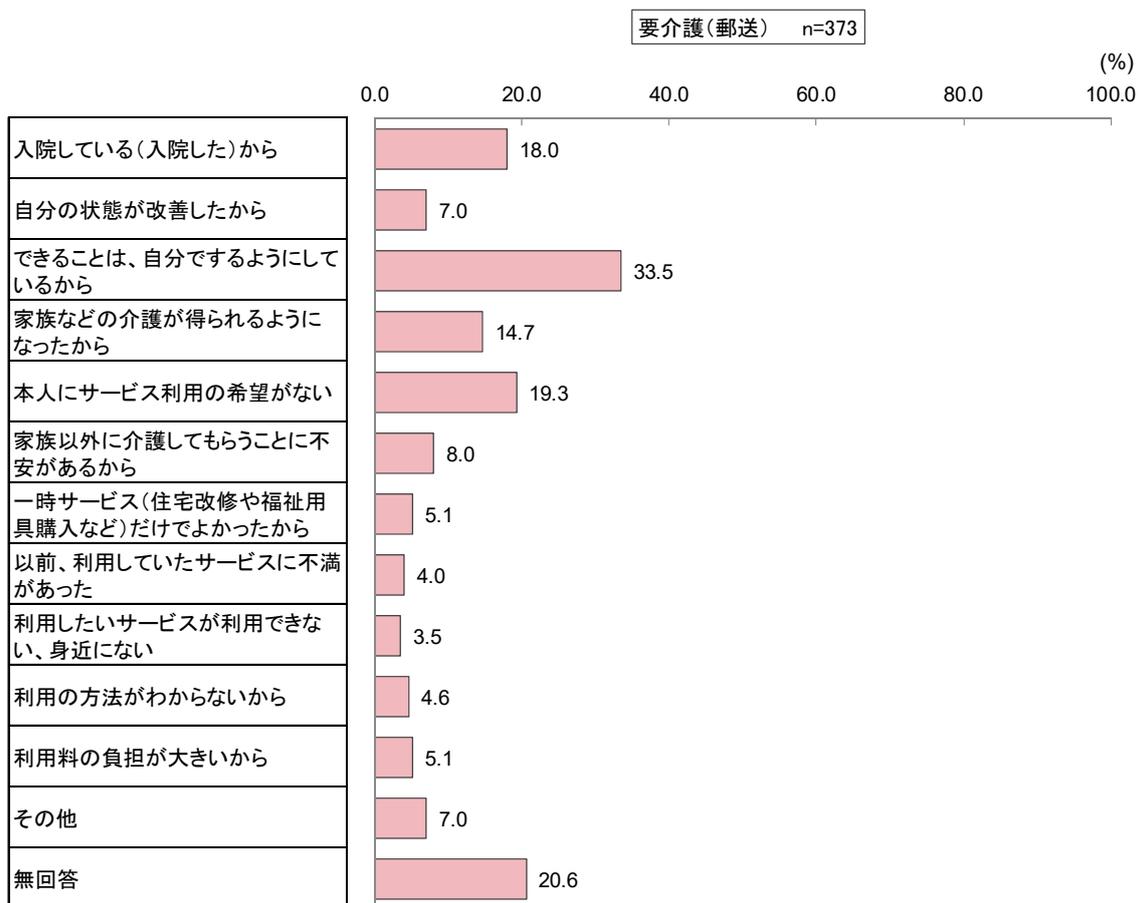
単位：%

項目	回答者数（人）	利用していない（0回）	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答	
全体	1,116	55.7	6.6	5.1	0.5	1.5	30.5	
要介護度別	要介護1	422	59.5	4.3	2.8	0.7	0.5	32.2
	要介護2	342	53.5	6.4	6.7	0.0	2.0	31.3
	要介護3	205	54.6	8.3	7.3	0.5	2.0	27.3
	要介護4	65	64.6	12.3	6.2	0.0	0.0	16.9
	要介護5	45	37.8	15.6	6.7	2.2	6.7	31.1

問 13 【サービス未利用者】 介護保険サービスを利用していない（しなくなった）理由

介護保険サービスを利用していない人（以下「サービス未利用者」）の利用していない理由は、「できることは、自分でするようにしているから」が33.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が19.3%、「入院している（入院した）から」が18.0%となっています。

図 5.40 介護保険サービスを利用していない（しなくなった）理由（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 仕事をしている家族がセンターに相談できる時間とあわない、自宅に居たいから

利用していない理由を性別にみると、女性は男性と比べて「できることは、自分でするようにしているから」、「本人にサービス利用の希望がないから」が高くなっています。

年齢別にみると、75～79歳は「自分の状態が改善したから」が17.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が28.3%と他の年齢と比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1～2では「できることは、自分でするようにしているから」が最も高く、要介護3以上では「入院しているから」が高くなっています。

図 5.41 介護保険サービスを利用していない（しなくなった）理由（いくつでも可）/性別/年齢別/要介護度別

単位：%

項目		回答者数（人）	入院している（入院から）	自分の状態が改善したから	できることは、自分でするようにしているから	家族などの介護が得られないように介護がなされたから	本人にサービス利用の希望がない	家族以外に介護しないことがあるから	一時サービス（住宅改修や福祉用具購入など）だけでよいため
全体		373	18.0	7.0	33.5	14.7	19.3	8.0	5.1
性別	男性	151	19.2	6.6	29.8	11.9	16.6	6.0	3.3
	女性	222	17.1	7.2	36.0	16.7	21.2	9.5	6.3
年齢別	65歳未満	8	62.5	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	65-69歳	15	33.3	6.7	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0
	70-74歳	42	14.3	4.8	31.0	14.3	9.5	7.1	7.1
	75-79歳	46	10.9	17.4	34.8	17.4	28.3	6.5	2.2
	80-84歳	63	14.3	4.8	33.3	9.5	14.3	7.9	4.8
	85-89歳	84	15.5	3.6	36.9	15.5	20.2	8.3	1.2
	90歳以上	88	19.3	8.0	35.2	18.2	22.7	10.2	11.4
要介護度別	要介護1	147	6.8	4.1	38.8	15.6	28.6	8.8	4.8
	要介護2	89	14.6	10.1	30.3	18.0	18.0	10.1	9.0
	要介護3	45	26.7	2.2	20.0	15.6	4.4	2.2	2.2
	要介護4	27	33.3	14.8	29.6	11.1	18.5	7.4	3.7
	要介護5	27	74.1	3.7	7.4	3.7	0.0	11.1	0.0

項目		回答者数（人）	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	利用の方法がわからないから	利用料の負担が大きいため	その他	無回答
全体		373	4.0	3.5	4.6	5.1	7.0	20.6
性別	男性	151	6.0	5.3	5.3	7.3	7.3	23.2
	女性	222	2.7	2.3	4.1	3.6	6.8	18.9
年齢別	65歳未満	8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
	65-69歳	15	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	20.0
	70-74歳	42	2.4	4.8	4.8	2.4	16.7	19.0
	75-79歳	46	10.9	0.0	4.3	6.5	15.2	10.9
	80-84歳	63	0.0	6.3	9.5	7.9	4.8	27.0
	85-89歳	84	3.6	1.2	2.4	4.8	1.2	23.8
	90歳以上	88	3.4	1.1	3.4	3.4	5.7	19.3
要介護度別	要介護1	147	4.8	4.1	8.2	6.8	4.8	21.8
	要介護2	89	2.2	3.4	4.5	6.7	9.0	23.6
	要介護3	45	8.9	4.4	0.0	0.0	6.7	28.9
	要介護4	27	3.7	3.7	0.0	3.7	18.5	7.4
	要介護5	27	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	11.1

利用していない理由を圏域別にみると、4 圏域とも「できることは、自分でするようにしているから」が最も高くなっており、特に大塚地区では 38.5%、駒込地区では 38.0%となっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「できることは、自分でするようにしているから」が 40.5%と、夫婦のみ世帯と比べて5 ポイント以上高くなっています。

図 5.42 介護保険サービスを利用していない（しなくなった）理由（いくつでも可）  
/圏域別/家族構成別

単位：%

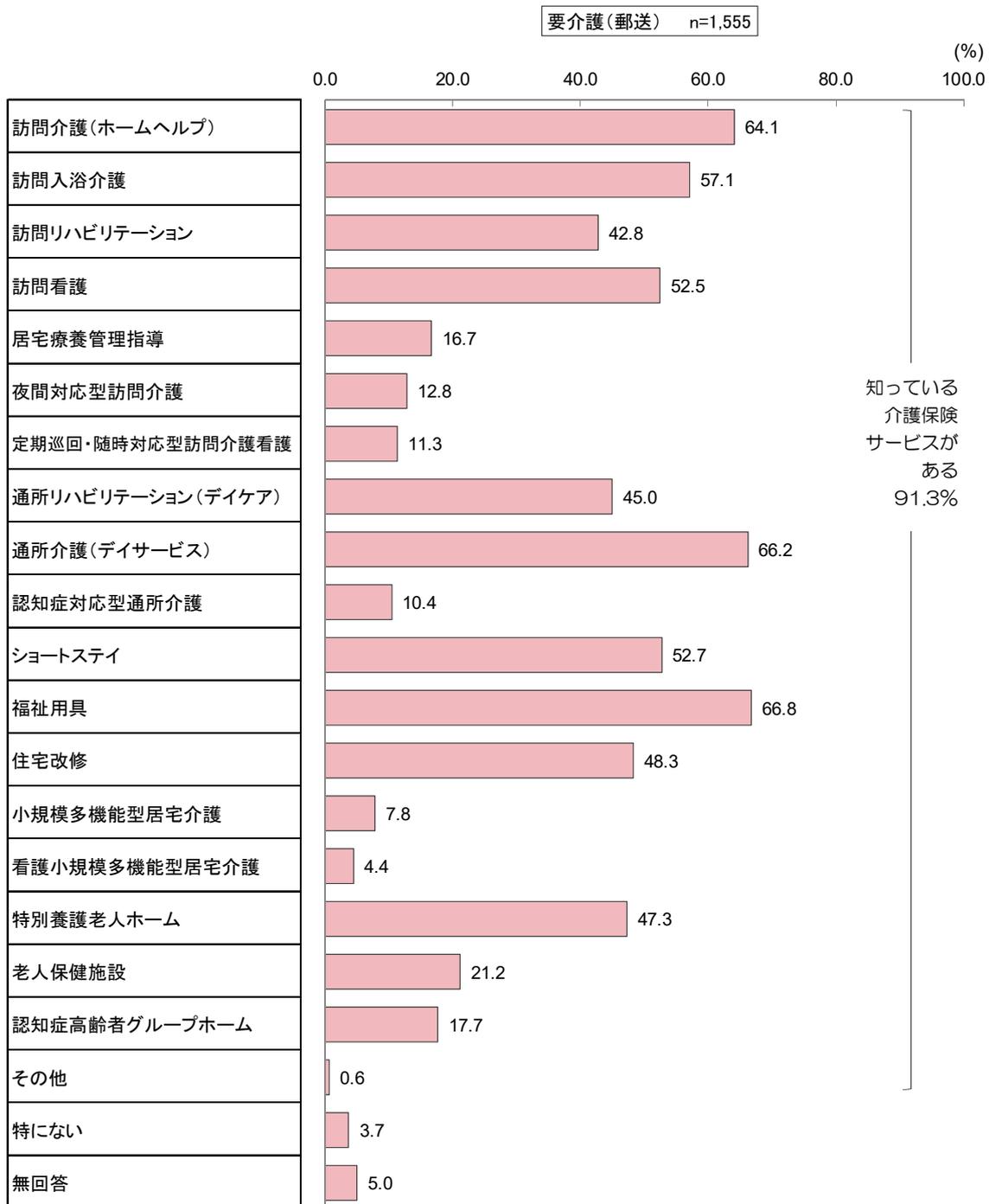
項目	回答者数（人）	入院している（入院した）から	自分の状態が改善したから	できることは、自分でするようにしているから	家族などの介護が得られるようになったから	本人にサービス利用の希望がない	家族以外に介護してもらおうことに不安があるから	一時サービス（住宅改修や福祉用具購入など）だけでよかったから
全体	373	18.0	7.0	33.5	14.7	19.3	8.0	5.1
圏域別	富坂地区	111	21.6	8.1	28.8	15.3	11.7	6.3
	大塚地区	65	16.9	7.7	38.5	12.3	18.5	6.2
	本富士地区	89	15.7	3.4	30.3	12.4	28.1	12.4
	駒込地区	108	16.7	8.3	38.0	17.6	20.4	7.4
家族構成別	一人暮らし	74	18.9	6.8	40.5	10.8	17.6	10.8
	夫婦のみ	127	15.0	7.1	34.6	17.3	15.0	7.1
	子どもと二世帯同居	117	17.9	6.8	28.2	12.8	19.7	6.8
	親と二世帯同居	9	22.2	0.0	33.3	22.2	55.6	11.1
	三世帯以上同居	25	12.0	12.0	40.0	20.0	32.0	16.0
	その他	12	41.7	0.0	25.0	16.7	25.0	0.0

項目	回答者数（人）	以前、利用していたサービスに不満があった	利用したいサービスが利用できない、身近にない	利用する方法がわからないから	利用料の負担が大きいため	その他	無回答	
全体	373	4.0	3.5	4.6	5.1	7.0	20.6	
圏域別	富坂地区	111	1.8	1.8	2.7	6.3	8.1	27.0
	大塚地区	65	7.7	6.2	4.6	7.7	4.6	21.5
	本富士地区	89	6.7	3.4	6.7	5.6	7.9	15.7
	駒込地区	108	1.9	3.7	4.6	1.9	6.5	17.6
家族構成別	一人暮らし	74	1.4	4.1	4.1	1.4	6.8	24.3
	夫婦のみ	127	5.5	4.7	5.5	8.7	4.7	21.3
	子どもと二世帯同居	117	5.1	2.6	6.0	5.1	6.8	23.9
	親と二世帯同居	9	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	三世帯以上同居	25	0.0	0.0	0.0	4.0	12.0	12.0
	その他	12	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

問 14 介護保険サービスの認知度

何らかの介護保険サービスを知っている人は91.3%で、「福祉用具」が66.8%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が66.2%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が64.1%となっています。

図 5.43 介護保険サービスの認知度（いくつでも可）



※ 「知っている介護保険サービスがある」=100%−「特にない」−「無回答」

介護保険サービスの認知状況を性別にみると、女性は男性と比べて「通所介護」、「ショートステイ」、「特別養護老人ホーム」の認知度が高くなっています。

年齢別にみると、74歳未満では「訪問介護」が、70～79歳では「福祉用具」、80歳以上では「通所介護」の認知が最も高くなっています。

図 5.44 介護保険サービスの認知度（いくつでも可）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	通所リハビリテーション（デイケア）	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	ショートステイ
全体		1,555	64.1	57.1	42.8	52.5	16.7	12.8	11.3	45.0	66.2	10.4	52.7
性別	男性	540	63.1	56.1	44.4	54.1	18.3	13.0	10.9	46.3	62.0	10.0	49.1
	女性	1,015	64.6	57.6	41.9	51.6	15.8	12.7	11.4	44.3	68.4	10.5	54.7
年齢別	65歳未満	55	78.2	74.5	72.7	69.1	20.0	21.8	18.2	72.7	76.4	14.5	74.5
	65-69歳	53	83.0	64.2	41.5	64.2	18.9	17.0	15.1	49.1	60.4	9.4	54.7
	70-74歳	117	70.1	60.7	47.0	52.1	18.8	14.5	12.8	47.0	62.4	8.5	45.3
	75-79歳	163	60.1	58.9	39.3	50.3	15.3	11.7	8.6	40.5	57.1	8.0	49.7
	80-84歳	305	58.4	50.5	44.3	51.8	19.3	13.1	11.5	43.6	65.6	11.1	48.9
	85-89歳	357	60.2	51.5	36.7	47.1	14.3	11.8	8.7	41.7	65.3	10.1	47.9
	90歳以上	369	67.2	60.4	42.3	53.9	16.3	11.4	12.2	45.8	71.3	10.3	58.3

項目		回答者数（人）	福祉用具	住宅改修	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	認知症高齢者グループホーム	その他	特にない	無回答
全体		1,555	66.8	48.3	7.8	4.4	47.3	21.2	17.7	0.6	3.7	5.0
性別	男性	540	66.7	45.6	7.4	4.3	42.6	18.5	16.1	0.4	3.5	5.4
	女性	1,015	66.8	49.8	8.0	4.4	49.8	22.7	18.6	0.8	3.8	4.7
年齢別	65歳未満	55	74.5	70.9	16.4	9.1	60.0	40.0	32.7	0.0	3.6	0.0
	65-69歳	53	71.7	56.6	3.8	3.8	45.3	20.8	18.9	0.0	1.9	1.9
	70-74歳	117	70.1	46.2	7.7	6.0	36.8	15.4	13.7	0.0	1.7	4.3
	75-79歳	163	65.6	49.7	3.1	3.1	46.6	21.5	16.6	0.6	3.7	6.1
	80-84歳	305	62.3	42.6	12.5	6.6	43.9	17.4	16.1	0.7	4.6	5.6
	85-89歳	357	63.6	42.6	4.5	3.1	42.0	20.2	14.3	0.3	3.6	5.6
	90歳以上	369	69.4	52.8	8.7	4.1	55.0	23.3	20.6	1.6	4.6	4.1

介護保険サービスの認知状況を要介護度別にみると、介護度が高いほど、認知度の高い項目が多くなっています。  
 家族構成別にみると、親と二世帯同居している人で認知度の高い項目が多くなっています。

図 5.45 介護保険サービスの認知度（いくつでも可）/要介護度別/家族構成別

単位：%

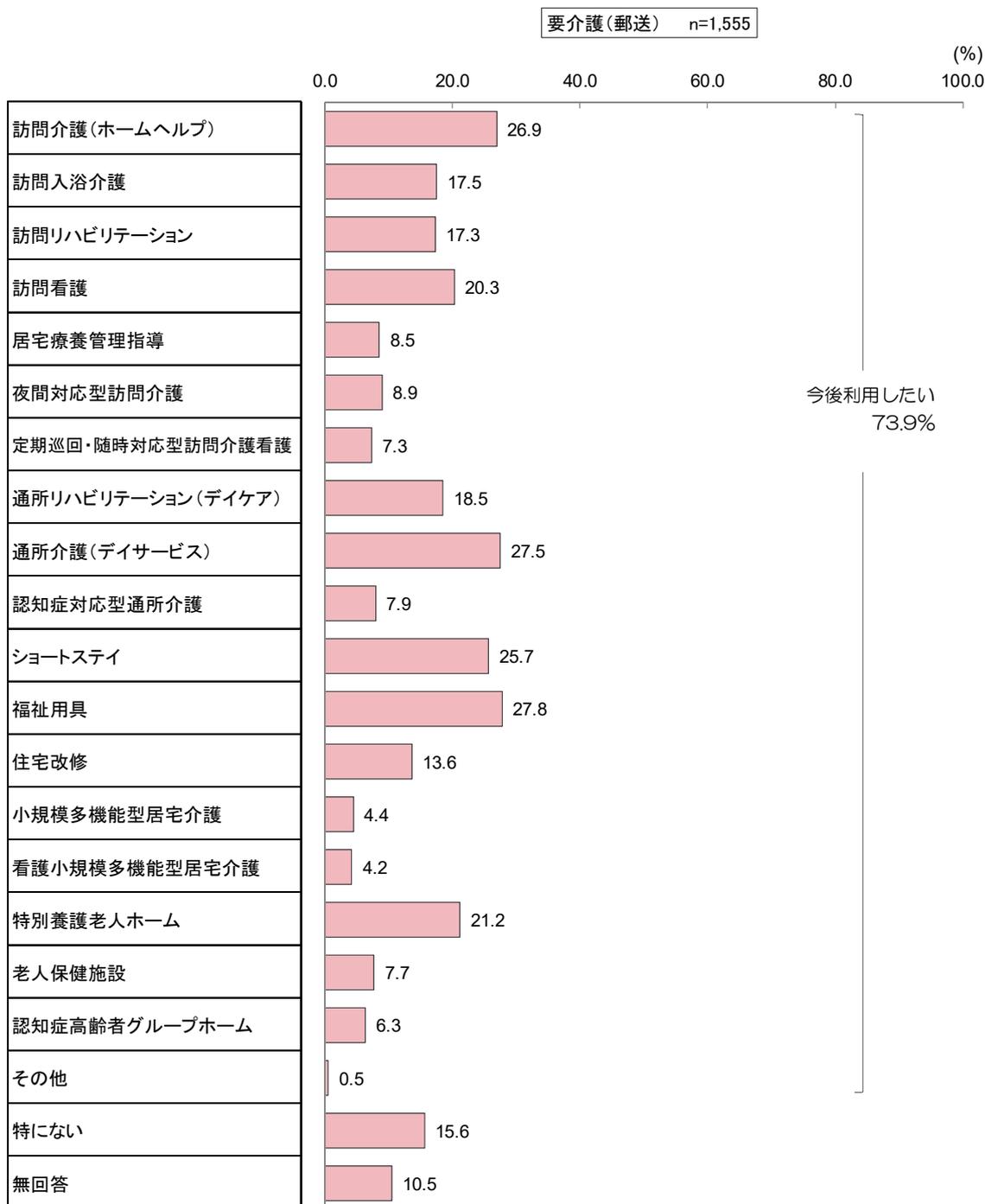
項目	回答者数（人）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	（デイケア） 通所リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	ショートステイ	
全体	1,555	64.1	57.1	42.8	52.5	16.7	12.8	11.3	45.0	66.2	10.4	52.7	
要介護度別	要介護1	593	59.7	52.8	38.1	49.1	13.2	10.6	10.3	43.3	65.3	8.4	47.7
	要介護2	454	65.6	58.1	44.5	54.6	18.7	13.7	9.7	47.4	65.6	13.2	54.4
	要介護3	253	70.0	64.4	49.4	54.9	18.2	15.0	14.2	49.0	74.7	11.5	63.2
	要介護4	94	71.3	67.0	53.2	62.8	22.3	17.0	12.8	41.5	71.3	9.6	60.6
	要介護5	74	74.3	63.5	58.1	63.5	29.7	17.6	17.6	47.3	63.5	13.5	64.9
家族構成別	一人暮らし	368	72.0	55.2	39.1	52.4	15.8	13.6	11.4	40.5	61.7	7.3	46.2
	夫婦のみ	392	58.9	55.4	43.1	51.0	14.3	11.7	9.4	44.6	61.0	9.9	47.7
	子どもと二世帯同居	522	61.9	55.6	41.8	51.7	19.7	12.3	11.3	48.7	71.8	12.5	56.9
	親と二世帯同居	33	75.8	78.8	60.6	63.6	12.1	15.2	6.1	57.6	69.7	6.1	78.8
	三世帯以上同居	156	63.5	60.9	44.9	55.1	16.7	13.5	14.1	47.4	72.4	12.2	61.5
	その他	60	66.7	71.7	58.3	61.7	16.7	15.0	16.7	38.3	68.3	11.7	58.3

項目	回答者数（人）	福祉用具	住宅改修	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	グループホーム	認知症高齢者グループホーム	その他	特にない	無回答
全体	1,555	66.8	48.3	7.8	4.4	47.3	21.2	17.7	0.6	3.7	5.0	
要介護度別	要介護1	593	62.7	46.2	7.9	4.0	43.8	20.4	16.2	0.5	4.6	5.2
	要介護2	454	70.9	51.3	7.7	4.2	46.3	20.3	18.9	0.2	2.6	4.8
	要介護3	253	74.7	56.1	9.5	6.7	56.1	22.5	22.9	1.2	0.8	4.0
	要介護4	94	64.9	45.7	7.4	3.2	54.3	26.6	17.0	0.0	3.2	3.2
	要介護5	74	74.3	52.7	6.8	4.1	58.1	31.1	16.2	2.7	2.7	4.1
家族構成別	一人暮らし	368	65.8	44.8	5.4	3.3	44.6	22.0	14.9	1.1	3.8	4.6
	夫婦のみ	392	64.8	46.2	7.7	5.1	43.9	17.1	14.5	0.5	4.6	5.4
	子どもと二世帯同居	522	68.0	50.6	9.4	5.0	50.6	23.2	19.5	0.6	4.2	4.6
	親と二世帯同居	33	75.8	66.7	6.1	0.0	57.6	24.2	24.2	0.0	0.0	6.1
	三世帯以上同居	156	70.5	51.9	8.3	5.8	50.0	25.0	22.4	0.0	1.9	5.1
	その他	60	70.0	50.0	6.7	0.0	46.7	16.7	23.3	0.0	0.0	3.3

問 15 今後、利用したい介護保険サービス

今後、何らからの介護保険サービスの利用意向を持つ人は73.9%で、「福祉用具」が27.8%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が27.5%、「訪問介護（ホームヘルプ）」が26.9%となっています。

図 5.46 今後、利用したい介護保険サービス（いくつでも可）



※ その他【抜粋】利用できることはすべてしたい  
 ※ 「今後利用したい」=100%−「特にない」−「無回答」

今後利用したい介護保険サービスを性別にみると、男性は「福祉用具」が26.3%と最も高くなっています。女性も「福祉用具」は28.7%と高くなっていますが、「通所介護」も28.9%と同等に高くなっています。また、女性は「特別養護老人ホーム」が23.5%と、男性を7ポイントほど上回っています。

年齢別にみると、65歳未満では「訪問介護（ホームヘルプ）」、65～79歳では「福祉用具」、80歳以上では「通所介護（デイサービス）」の利用意向が高くなっています。

図 5.47 今後、利用したい介護保険サービス（いくつでも可）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	通所リハビリテーション（デイケア）	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	ショートステイ
全体		1,555	26.9	17.5	17.3	20.3	8.5	8.9	7.3	18.5	27.5	7.9	25.7
性別	男性	540	25.0	17.6	20.4	19.4	9.3	7.6	6.3	20.2	24.8	7.2	24.3
	女性	1,015	27.9	17.4	15.7	20.7	8.1	9.7	7.9	17.5	28.9	8.3	26.5
年齢別	65歳未満	55	43.6	16.4	36.4	29.1	14.5	14.5	9.1	20.0	23.6	9.1	21.8
	65-69歳	53	24.5	13.2	18.9	17.0	9.4	13.2	7.5	26.4	17.0	3.8	20.8
	70-74歳	117	23.1	19.7	22.2	23.9	9.4	11.1	6.0	16.2	21.4	8.5	17.1
	75-79歳	163	20.9	14.7	14.1	11.7	7.4	3.1	3.1	16.6	19.6	8.0	22.7
	80-84歳	305	27.5	14.1	17.0	21.3	8.9	9.5	7.9	18.4	31.5	9.2	28.2
	85-89歳	357	26.3	18.2	15.7	20.4	9.2	9.0	8.7	21.3	31.1	8.7	24.1
	90歳以上	369	29.3	19.8	15.2	21.7	7.6	8.7	6.0	16.5	30.9	6.2	29.0

項目		回答者数（人）	福祉用具	住宅改修	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	認知症高齢者グループホーム	その他	特にない	無回答
全体		1,555	27.8	13.6	4.4	4.2	21.2	7.7	6.3	0.5	15.6	10.5
性別	男性	540	26.3	11.5	2.4	3.3	16.7	6.7	4.6	0.4	15.9	11.3
	女性	1,015	28.7	14.7	5.5	4.7	23.5	8.3	7.2	0.6	15.4	10.0
年齢別	65歳未満	55	36.4	27.3	7.3	9.1	10.9	9.1	7.3	1.8	12.7	1.8
	65-69歳	53	34.0	18.9	3.8	3.8	15.1	3.8	1.9	1.9	20.8	7.5
	70-74歳	117	23.9	9.4	2.6	5.1	14.5	8.5	5.1	0.0	17.1	12.0
	75-79歳	163	26.4	11.7	3.1	3.7	19.0	8.6	6.1	0.6	18.4	11.7
	80-84歳	305	26.2	12.8	4.3	4.3	20.3	6.6	7.2	0.3	15.1	10.5
	85-89歳	357	29.1	14.3	5.6	4.8	20.7	7.3	5.3	0.6	16.0	12.3
	90歳以上	369	28.5	12.2	4.3	2.7	23.8	8.1	6.5	0.5	16.0	9.2

今後利用したい介護保険サービスを要介護度別にみると、「通所介護」は要介護度が低い人で利用意向が高く、要介護1では30.4%となっています。要介護5では「特別養護老人ホーム」が36.5%と高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らし、夫婦のみ、親と二世帯同居世帯で「訪問介護」の利用意向が高くなっています。また、親と二世帯同居世帯では、利用したいサービスが他の家族構成と比べておおむね多くなっています。

図 5.48 今後利用したい介護保険サービス（いくつでも可）/要介護度別/家族構成別

単位：%

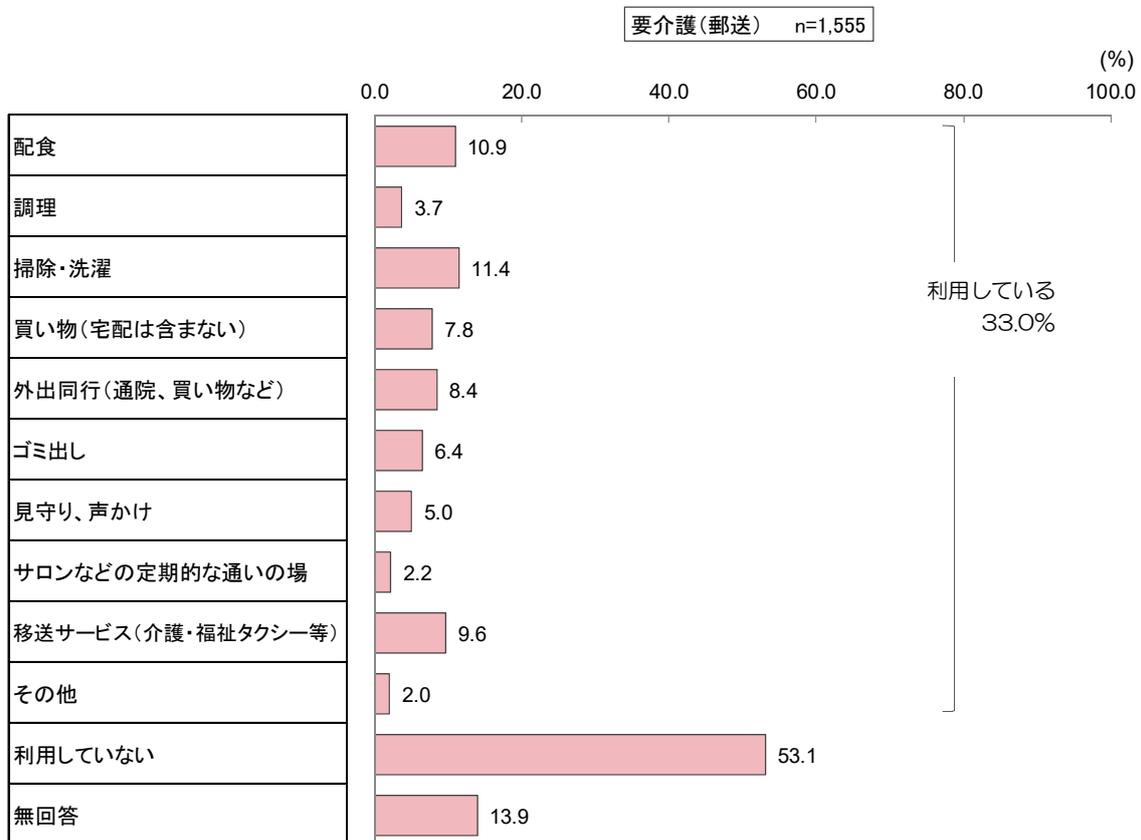
項目	回答者数（人）	訪問介護（ホームヘルプ）	訪問入浴介護	訪問リハビリテーション	訪問看護	居宅療養管理指導	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	通所リハビリテーション（デイケア）	通所介護（デイサービス）	認知症対応型通所介護	ショートステイ	
全体	1,555	26.9	17.5	17.3	20.3	8.5	8.9	7.3	18.5	27.5	7.9	25.7	
要介護度別	要介護1	593	27.5	13.8	16.0	19.2	8.1	8.4	6.9	20.2	30.4	8.3	24.5
	要介護2	454	25.8	18.9	18.7	21.8	8.6	8.6	8.4	20.5	28.0	8.1	26.0
	要介護3	253	26.5	21.3	19.8	18.6	8.7	10.3	7.9	17.0	29.2	9.1	34.4
	要介護4	94	27.7	19.1	17.0	26.6	8.5	9.6	4.3	13.8	21.3	6.4	26.6
	要介護5	74	27.0	28.4	18.9	25.7	16.2	13.5	8.1	6.8	12.2	6.8	20.3
家族構成別	一人暮らし	368	37.5	15.5	15.2	19.6	9.0	10.9	6.8	17.4	24.2	6.0	17.9
	夫婦のみ	392	25.3	15.3	17.6	21.7	7.1	6.9	6.4	21.7	25.0	8.2	25.0
	子どもと二世帯同居	522	23.4	18.6	18.0	19.9	9.8	8.2	8.4	18.0	31.6	8.6	29.5
	親と二世帯同居	33	39.4	39.4	27.3	30.3	9.1	15.2	21.2	24.2	18.2	12.1	30.3
	三世帯以上同居	156	20.5	16.7	16.7	16.7	6.4	9.0	5.8	15.4	31.4	10.3	32.7
	その他	60	15.0	23.3	20.0	23.3	8.3	10.0	3.3	11.7	23.3	6.7	20.0

項目	回答者数（人）	福祉用具	住宅改修	介護小規模多機能型居宅	看護小規模多機能型居宅介護	特別養護老人ホーム	老人保健施設	プルーム 認知症高齢者グループホーム	その他	特にない	無回答	
全体	1,555	27.8	13.6	4.4	4.2	21.2	7.7	6.3	0.5	15.6	10.5	
要介護度別	要介護1	593	25.8	13.3	3.0	3.7	16.9	8.3	6.7	0.8	17.4	9.9
	要介護2	454	30.0	13.4	5.7	4.2	19.6	7.9	5.3	0.4	13.4	11.0
	要介護3	253	31.6	15.0	4.7	3.6	30.4	6.3	7.5	0.0	10.7	10.3
	要介護4	94	26.6	17.0	5.3	5.3	24.5	5.3	6.4	0.0	16.0	12.8
	要介護5	74	27.0	12.2	8.1	10.8	36.5	18.9	6.8	1.4	16.2	8.1
家族構成別	一人暮らし	368	27.2	9.5	4.1	4.1	19.8	9.2	3.3	0.5	14.4	12.2
	夫婦のみ	392	23.2	13.3	3.8	3.8	19.6	6.6	7.7	0.5	12.8	13.0
	子どもと二世帯同居	522	31.0	16.1	5.4	4.8	23.6	7.3	7.1	0.4	18.2	7.9
	親と二世帯同居	33	36.4	21.2	6.1	12.1	24.2	15.2	6.1	0.0	6.1	9.1
	三世帯以上同居	156	33.3	13.5	2.6	1.9	17.9	9.0	6.4	0.6	17.9	7.7
	その他	60	20.0	13.3	8.3	6.7	26.7	3.3	6.7	1.7	16.7	15.0

問 16 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（いくつでも可）

介護保険サービス以外の支援・サービスを利用している割合は 33.0%で、「掃除・洗濯」が 11.4%と最も高く、次いで「配食」が 10.9%、「移送サービス」が 9.6%となっています。

図 5.49 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（いくつでも可）



- ※ その他【抜粋】 紙おむつ、金銭管理、車いすの貸し出し（社会福祉協議会）、宅配
- ※ 「利用している」=100%－「利用していない」－「無回答」
- ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含みます。

介護保険サービス以外で利用している支援・サービスを性別にみると、男性では「移送サービス」が、女性は「掃除・洗濯」が最も高くなっています。

年齢別にみると、74歳以下は「掃除・洗濯」、75～84歳は「移送サービス」が高くなっています。

要介護度別にみると、要介護1～2は「掃除・洗濯」、要介護4～5は「移送サービス」の割合が最も高く、要介護5は「移送サービス」が20.3%にのぼっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「掃除・洗濯」が24.7%と高くなっています。

図 5.50 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

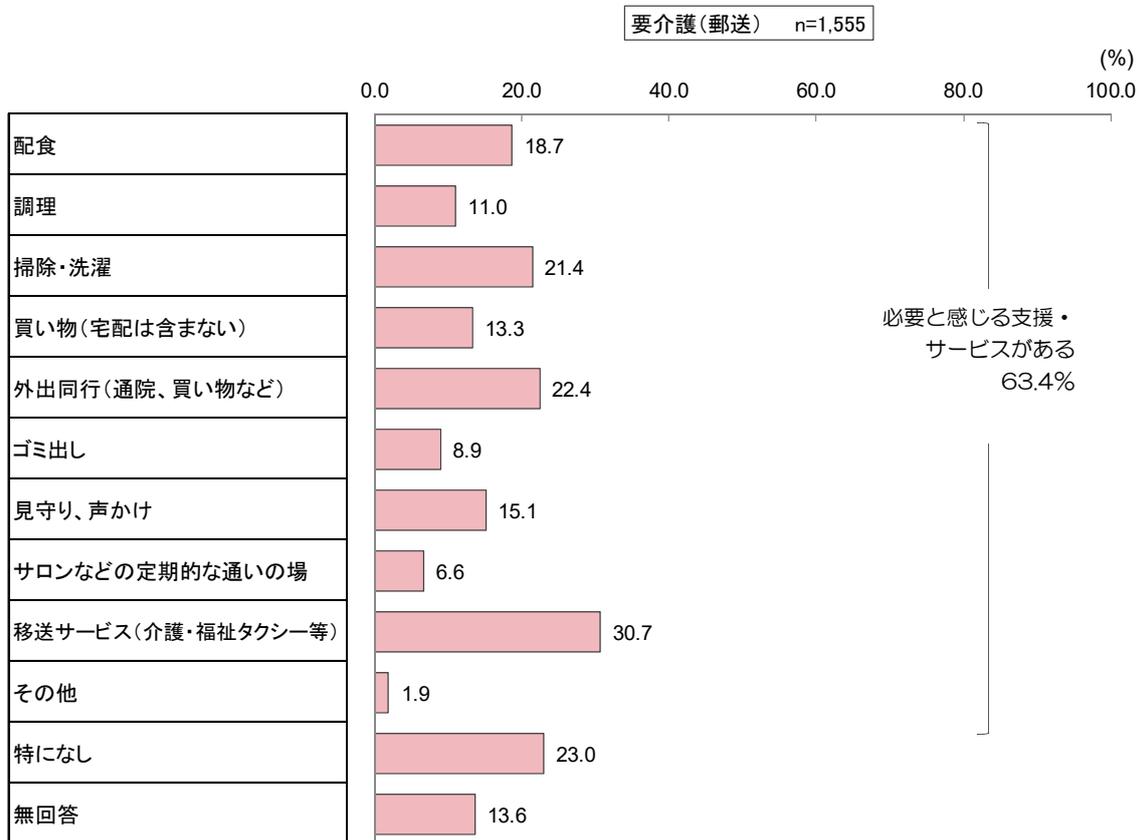
単位：%

項目		回答者数（人）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	外出同行（通院、買い物など）	ゴミ出し	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	福祉タクシー等	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	その他	利用していない	無回答
全体		1,555	10.9	3.7	11.4	7.8	8.4	6.4	5.0	2.2	9.6	2.0	53.1	13.9	
性別	男性	540	7.8	4.3	8.9	7.0	7.8	4.6	3.9	1.9	12.8	2.0	53.5	16.1	
	女性	1,015	12.5	3.3	12.7	8.2	8.8	7.4	5.6	2.4	8.0	2.0	52.8	12.7	
年齢別	65歳未満	55	5.5	0.0	10.9	5.5	10.9	5.5	1.8	0.0	9.1	0.0	61.8	12.7	
	65-69歳	53	5.7	7.5	15.1	5.7	13.2	3.8	9.4	3.8	15.1	3.8	50.9	11.3	
	70-74歳	117	12.0	8.5	16.2	10.3	6.8	6.8	6.0	0.9	12.8	3.4	51.3	12.0	
	75-79歳	163	9.8	2.5	8.0	6.7	7.4	3.7	4.3	1.2	10.4	0.6	50.9	20.9	
	80-84歳	305	8.5	3.3	9.5	8.9	11.1	8.5	4.3	3.6	12.5	2.3	51.8	12.8	
	85-89歳	357	9.5	3.6	14.0	9.0	8.7	5.9	4.2	0.8	8.4	1.4	52.4	13.7	
	90歳以上	369	13.6	3.0	10.8	7.0	6.8	7.3	5.4	3.3	7.9	2.2	54.2	13.0	
要介護度別	要介護1	593	10.8	3.0	12.8	7.8	8.8	6.1	3.9	2.2	7.9	1.9	54.6	12.1	
	要介護2	454	9.9	4.2	12.3	8.1	9.0	6.4	5.9	2.4	9.9	2.0	53.3	14.1	
	要介護3	253	13.0	5.1	9.1	6.7	6.7	4.7	4.3	2.0	9.9	2.0	52.6	16.2	
	要介護4	94	13.8	3.2	6.4	7.4	9.6	12.8	3.2	3.2	16.0	1.1	48.9	12.8	
	要介護5	74	12.2	2.7	8.1	8.1	6.8	4.1	9.5	0.0	20.3	4.1	41.9	18.9	
家族構成別	一人暮らし	368	19.3	6.0	24.7	20.7	16.8	17.9	7.3	2.2	8.2	4.3	34.2	12.2	
	夫婦のみ	392	7.4	4.8	10.2	5.4	7.1	3.6	4.3	1.3	12.2	1.5	52.3	16.6	
	子どもと二世帯同居	522	8.6	1.7	5.2	3.3	4.8	2.7	4.0	2.5	9.6	1.1	62.1	13.2	
	親と二世帯同居	33	12.1	0.0	3.0	0.0	6.1	0.0	0.0	3.0	9.1	0.0	69.7	9.1	
	三世帯以上同居	156	6.4	1.9	6.4	0.6	4.5	1.9	3.8	3.2	7.1	1.3	65.4	13.5	
	その他	60	13.3	6.7	10.0	6.7	8.3	3.3	11.7	3.3	8.3	1.7	55.0	13.3	
サービス利用状況別	利用している	1,295	12.3	4.1	12.5	8.5	9.4	6.7	5.3	2.2	10.9	2.2	50.6	12.9	
	利用していない	194	4.6	1.5	4.1	2.1	2.6	2.6	3.1	1.5	2.6	0.5	73.7	13.9	

問 17 今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスがある人は63.4%で、「移送サービス」が30.7%と最も高く、次いで「外出同行」が22.4%、「掃除・洗濯」が21.4%となっています。

図 5.51 今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（3つまで可）



- ※ その他【抜粋】 軽作業をしてくれる人、メガネ・補聴器・入れ歯の調整出張サービス、緊急時に SOS・相談ができる場所
- ※ 「必要と感じる支援・サービスがある」=100%－「特になし」－「無回答」

性別、年齢別、要介護度別、家族構成別いずれにおいても、「移送サービス」を必要と感じる割合がおおむね高くなっています。

要介護度別にみると、要介護2から要介護5へと介護度が上がるにつれて、「配食」を必要とする割合が増加しています。家族構成別にみると、一人暮らしにおいて「掃除・洗濯」の割合が29.2%と、他の家族構成と比べて高くなっています。

主介護者の就労状況別にみると、フルタイムで働いている人で「配食」、「買い物」、「外出同行」、「見守り、声かけ」などが高くなっています。

図 5.52 今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（3つまで可）/性別/年齢別/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別/介護者の就労状況別

単位：%

項目		回答者数（人）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	外出同行（通院、買い物など）	ゴミ出し	見守り、声かけ	サロンの場	社タクシー等）	移送サービス（介護・福祉）	その他	特になし	無回答
全体		1,115	19.9	11.7	20.5	11.8	22.3	8.9	16.1	7.4	34.2	1.9	22.5	11.5	
性別	男性	381	16.0	10.2	14.7	11.0	21.5	6.0	13.1	6.0	38.1	1.6	22.3	14.4	
	女性	734	21.9	12.4	23.6	12.3	22.8	10.4	17.6	8.0	32.2	2.0	22.6	9.9	
年齢別	65歳未満	26	11.5	11.5	19.2	11.5	19.2	11.5	15.4	3.8	30.8	3.8	15.4	23.1	
	65-69歳	32	9.4	18.8	25.0	12.5	18.8	3.1	25.0	3.1	31.3	3.1	12.5	9.4	
	70-74歳	72	16.7	9.7	18.1	11.1	16.7	4.2	18.1	8.3	36.1	0.0	22.2	12.5	
	75-79歳	106	12.3	10.4	13.2	9.4	17.0	3.8	9.4	4.7	32.1	0.9	28.3	15.1	
	80-84歳	217	20.7	10.1	20.3	9.7	23.5	7.4	19.4	9.7	39.2	1.4	22.6	11.5	
	85-89歳	245	20.8	11.4	20.8	11.8	25.7	9.4	18.0	6.5	28.6	2.0	22.4	10.6	
	90歳以上	297	21.5	12.1	22.2	13.8	19.5	12.1	14.1	6.1	34.7	2.4	23.2	10.4	
要介護度別	要介護1	422	20.1	9.7	18.5	9.7	20.9	7.6	15.6	9.0	33.9	1.4	24.4	10.2	
	要介護2	329	18.8	13.4	22.8	13.7	26.7	10.6	13.4	7.0	34.7	1.5	21.3	12.8	
	要介護3	207	18.4	11.6	17.9	14.0	21.7	7.7	21.3	5.8	35.7	2.9	19.8	12.1	
	要介護4	72	23.6	15.3	19.4	6.9	18.1	12.5	15.3	4.2	34.7	4.2	19.4	15.3	
	要介護5	47	27.7	17.0	23.4	12.8	14.9	8.5	19.1	4.3	27.7	2.1	27.7	12.8	
家族構成別	一人暮らし	185	27.6	10.8	29.2	21.6	25.4	21.1	24.9	7.6	29.2	2.2	14.6	7.0	
	夫婦のみ	285	20.4	14.0	19.3	9.5	19.3	7.4	10.9	6.0	35.8	1.4	21.1	14.7	
	子どもと二世帯同居	432	19.2	11.1	18.5	11.1	23.1	6.5	18.1	8.1	36.3	1.6	24.3	11.8	
	親と二世帯同居	29	13.8	17.2	24.1	6.9	17.2	6.9	24.1	6.9	24.1	3.4	17.2	13.8	
	三世帯以上同居	131	13.0	6.1	11.5	5.3	21.4	2.3	7.6	6.1	33.6	2.3	35.9	9.2	
	その他	41	19.5	19.5	31.7	14.6	19.5	9.8	12.2	7.3	26.8	4.9	14.6	12.2	
サービス利用別	利用している	974	20.7	11.6	20.4	12.1	23.6	8.6	16.3	7.3	35.4	2.2	21.3	10.7	
	利用していない	112	15.2	13.4	20.5	8.9	13.4	9.8	14.3	9.8	25.9	0.0	33.0	15.2	
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	251	25.1	12.7	25.9	16.3	31.5	11.2	22.7	8.8	35.1	2.8	18.3	10.0	
	パートタイムで働いている	216	19.9	11.1	18.1	9.7	25.0	7.4	21.3	7.9	38.9	1.9	21.8	7.4	
	働いていない	551	18.3	11.1	19.2	10.0	18.3	7.8	12.5	7.1	33.9	1.6	23.6	12.5	
	わからない	14	21.4	14.3	28.6	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1	28.6	0.0	42.9	7.1	

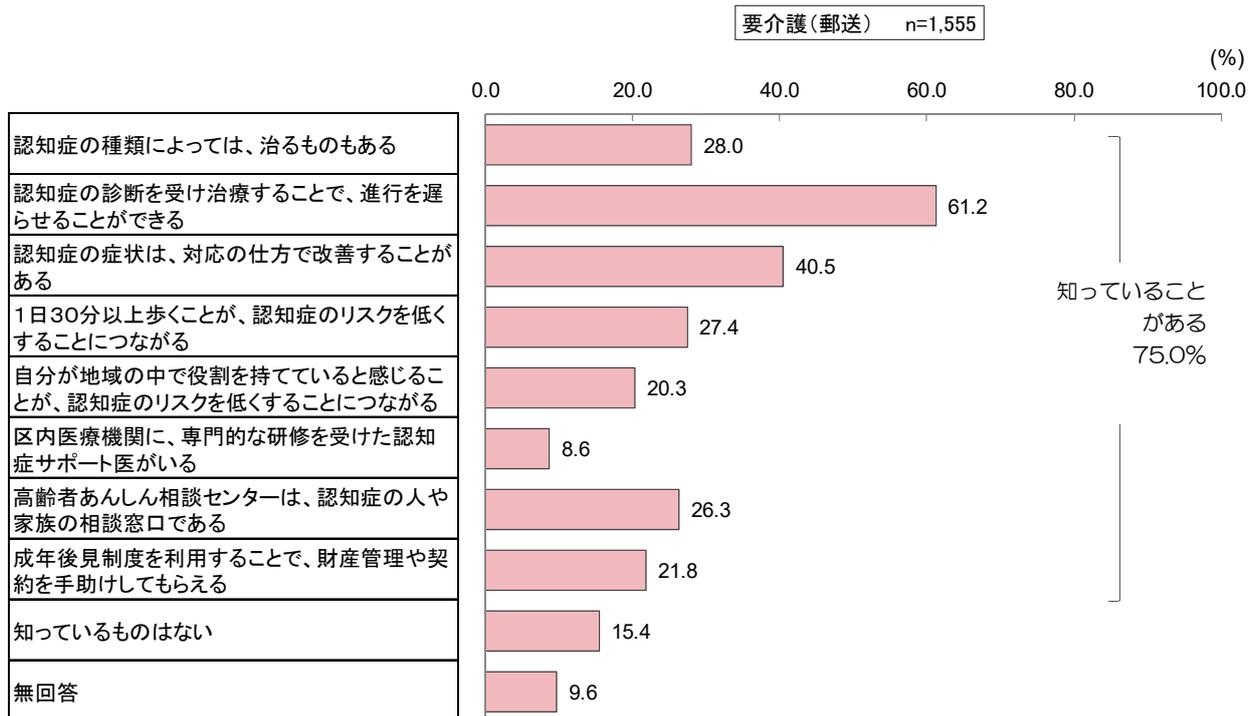
※ 「介護者の就労状況」は「問 40 主介護者の就労状況」の回答結果です。

## 5 認知症について

### 問 18 認知症について知っていること

認知症について知っていることがある割合は 75.0%となっており、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が 61.2%と最も高く、次いで「認知症の症状は、対応の仕方改善することがある」が 40.5%、「認知症の種類によっては、治るものもある」が 28.0%となっています。

図 5.53 認知症について知っていること（いくつでも可）



※ 「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

(注) 認知症サポート医…認知症サポート医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師

認知症について知っていることを性別にみると、男性の方が女性より「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」がやや高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満では、多くの項目で回答割合が高くなっています。

要介護度別にみると、要介護4は回答割合が低い項目がみられますが、要介護5では高い項目が多くなっています。

記入者別にみると、宛名の本人が回答している場合では、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が55.4%と最も高いものの、全体に比べ6ポイントほど低くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしでは「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」が他の家族構成と比べて低くなっています。

図 5.54 認知症について知っていること（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

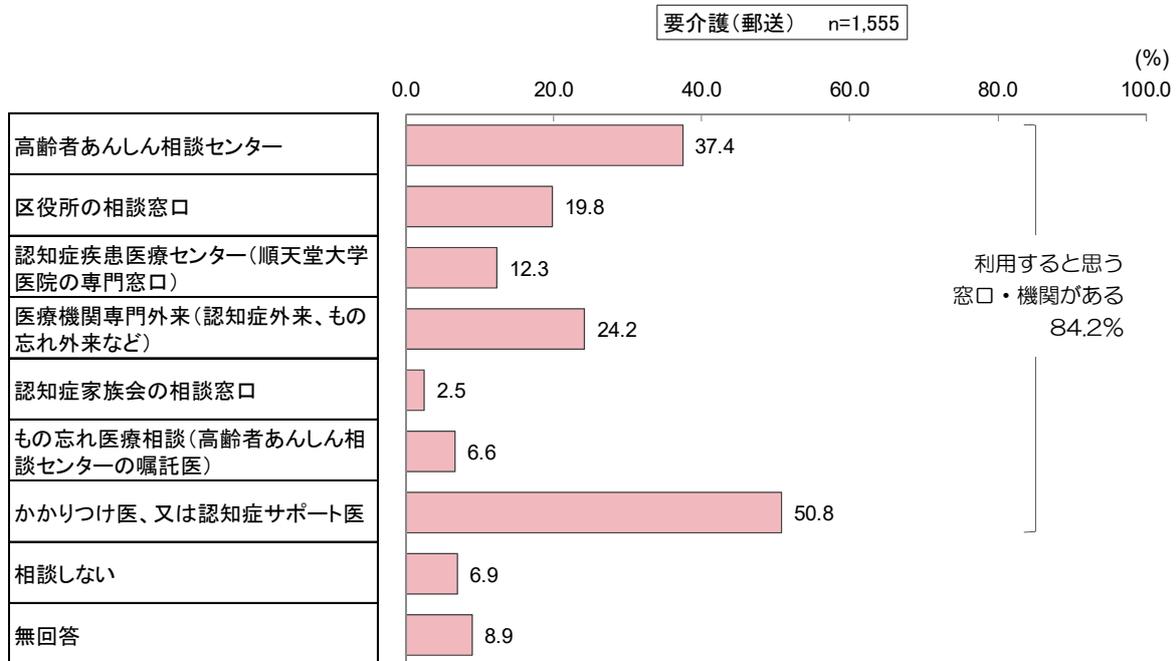
単位：%

項目	回答者数（人）	認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することができる	認知症の症状は、対応の仕方改善することができる	認知症のリスクを低くすることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる	知っているものはない	無回答
全体	1,555	28.0	61.2	40.5	27.4	20.3	8.6	26.3	21.8	15.4	9.6	
性別	男性	540	29.1	60.9	39.8	30.2	21.7	9.8	25.6	22.4	15.4	9.8
	女性	1,015	27.4	61.4	40.9	25.9	19.6	7.9	26.7	21.5	15.5	9.5
年齢別	65歳未満	55	38.2	72.7	54.5	27.3	30.9	14.5	27.3	40.0	7.3	3.6
	65-69歳	53	26.4	67.9	47.2	28.3	22.6	7.5	13.2	30.2	17.0	3.8
	70-74歳	117	27.4	65.0	45.3	28.2	24.8	9.4	23.9	26.5	12.8	12.0
	75-79歳	163	29.4	63.2	43.6	33.7	27.0	12.3	25.8	22.1	14.1	6.7
	80-84歳	305	29.5	60.0	37.7	31.8	20.3	7.2	27.9	18.7	17.4	9.2
	85-89歳	357	29.7	61.9	37.8	27.7	16.0	9.8	27.7	17.9	14.8	9.8
	90歳以上	369	24.4	55.0	38.5	21.7	18.7	6.8	24.9	20.9	17.1	11.7
要介護度別	要介護1	593	25.6	61.4	39.0	29.5	19.6	9.3	27.0	21.6	16.4	7.9
	要介護2	454	29.3	61.2	44.5	27.5	20.7	8.1	25.6	19.8	14.3	11.2
	要介護3	253	29.6	67.2	40.3	24.1	20.9	6.7	25.3	27.3	13.8	7.5
	要介護4	94	22.3	56.4	35.1	18.1	18.1	7.4	28.7	13.8	16.0	12.8
	要介護5	74	35.1	67.6	44.6	28.4	25.7	12.2	27.0	29.7	12.2	8.1
圏域別	富坂地区	480	27.1	58.8	38.5	23.3	17.7	7.5	22.1	19.2	19.2	10.6
	大塚地区	307	25.7	64.5	46.9	31.3	21.8	10.1	32.2	24.8	15.0	6.2
	本富士地区	342	33.6	63.5	38.6	30.1	20.2	8.2	25.1	21.9	12.6	9.6
	駒込地区	426	26.1	59.9	39.7	27.0	22.3	8.9	27.7	22.5	13.8	10.8
記入者別	あて名のご本人	567	31.0	55.4	39.3	29.1	19.8	9.5	23.6	20.3	15.2	11.8
	配偶者（夫、妻）	299	31.8	68.2	43.5	36.5	26.4	10.0	32.8	24.1	9.4	10.0
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	23.2	67.1	42.0	21.4	19.7	7.0	27.6	23.2	18.7	5.4
	兄弟姉妹	25	40.0	56.0	48.0	24.0	16.0	12.0	24.0	24.0	16.0	8.0
	孫	3	66.7	100.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	31	29.0	38.7	22.6	19.4	9.7	6.5	9.7	9.7	25.8	19.4
家族構成別	一人暮らし	368	24.7	53.5	35.9	22.8	17.1	7.9	21.2	23.4	18.5	10.9
	夫婦のみ	392	31.6	62.2	41.3	34.2	22.7	10.7	29.6	20.2	12.2	10.7
	子どもと二世帯同居	522	26.1	63.6	43.9	24.7	19.5	8.6	26.6	21.1	16.3	9.6
	親と二世帯同居	33	30.3	78.8	42.4	24.2	15.2	3.0	33.3	21.2	9.1	0.0
	三世帯以上同居	156	29.5	64.7	37.8	25.0	23.7	7.7	27.6	23.1	14.1	7.1
	その他	60	35.0	71.7	41.7	40.0	26.7	3.3	28.3	28.3	13.3	3.3

問 19 認知症相談で利用すると思われる相談窓口

認知症相談で利用すると思う相談窓口がある割合は84.2%で、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が50.8%と最も高く、次いで「高齢者あんしん相談センター」が37.4%、「医療機関専門外来」が24.2%となっています。

図 5.55 認知症相談で利用すると思われる相談窓口（いくつでも可）



※ 「利用すると思う窓口・機関がある」=100%－「相談しない」－「無回答」

認知症相談で利用すると思う相談窓口を性別にみると、特に目立った違いはみられません。

年齢別にみると、65歳未満は「医療機関専門外来」、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」がともに43.6%と最も高くなっていますが、「高齢者あんしん相談センター」は他の年齢と比べて低く29.1%となっています。

要介護度別にみると、要介護5で「区の相談窓口」、「認知症疾患医療センター」、「医療機関専門外来」をあげる割合が他の要介護度の人と比べて高くなっています。

圏域別にみると、「高齢者あんしん相談センター」は富坂地区で30.8%と低く、大塚地区で44.6%と高くなっています。

記入者別にみると、宛名の本人が回答している場合では、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が47.3%と最も高いものの、全体より若干低くなっています。「高齢者あんしん相談センター」は33.9%となっており、なお「相談しない」が7.6%となっています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居世帯は「高齢者あんしん相談センター」の割合が54.5%と、「かかりつけ医、又は認知症サポート医」（51.5%）より高くなっています。

図 5.56 認知症相談で利用すると思われる相談窓口（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

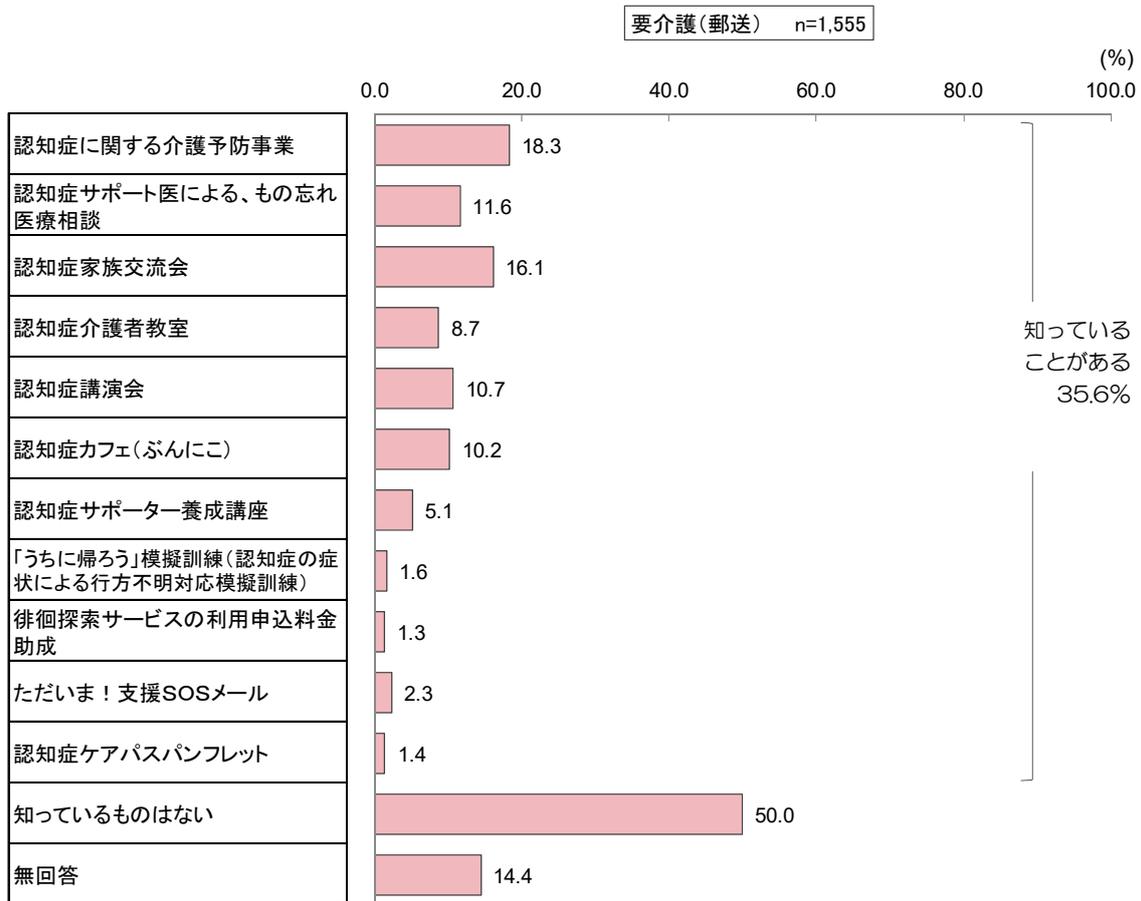
単位：%

項目		回答者数（人）	高齢者あんしん相談センター	区役所の相談窓口	認知症疾患医療センター（順天堂大学医院の専門窓口）	医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）	認知症家族会の相談窓口	もの忘れ医療相談（高齢者あんしん相談センターの嘱託医）	かかりつけ医、又は認知症サポート医	相談しない	無回答
全体		1,555	37.4	19.8	12.3	24.2	2.5	6.6	50.8	6.9	8.9
性別	男性	540	39.4	21.5	13.7	25.6	2.8	7.4	49.1	6.7	9.4
	女性	1,015	36.4	18.9	11.5	23.4	2.4	6.1	51.7	7.1	8.7
年齢別	65歳未満	55	29.1	38.2	27.3	43.6	9.1	12.7	43.6	3.6	3.6
	65-69歳	53	41.5	26.4	17.0	24.5	3.8	9.4	50.9	9.4	5.7
	70-74歳	117	33.3	18.8	17.9	27.4	1.7	4.3	43.6	8.5	10.3
	75-79歳	163	35.6	20.2	10.4	25.8	1.2	5.5	41.1	9.2	11.7
	80-84歳	305	38.7	22.3	13.1	23.9	3.3	8.2	55.4	5.6	7.5
	85-89歳	357	38.4	18.2	10.6	21.3	2.0	6.4	52.1	6.2	9.5
	90歳以上	369	35.8	15.7	10.3	23.0	1.9	5.7	53.1	7.6	9.8
要介護度別	要介護1	593	39.8	18.4	11.5	25.5	3.5	8.4	51.1	5.9	7.4
	要介護2	454	35.5	20.9	14.5	24.0	2.2	7.0	49.8	8.1	9.5
	要介護3	253	37.9	19.8	9.5	22.9	1.6	3.6	54.9	5.1	11.1
	要介護4	94	30.9	21.3	5.3	17.0	1.1	7.4	47.9	8.5	12.8
	要介護5	74	32.4	27.0	17.6	36.5	1.4	2.7	51.4	6.8	5.4
圏域別	富坂地区	480	30.8	20.8	11.7	21.3	1.5	4.6	50.4	8.1	9.0
	大塚地区	307	44.6	22.1	14.0	27.0	5.5	8.8	52.4	5.5	5.2
	本富士地区	342	37.4	19.6	14.3	21.1	1.8	7.0	48.2	5.3	10.2
	駒込地区	426	39.7	17.1	10.1	27.9	2.1	6.8	52.1	8.0	10.6
記入者別	あて名のご本人	567	33.9	19.9	15.5	23.5	2.8	8.5	47.3	7.6	10.2
	配偶者（夫、妻）	299	40.8	20.4	15.4	27.4	3.0	7.7	51.2	3.0	9.4
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	40.8	19.7	8.1	24.1	1.8	5.0	56.6	7.5	5.9
	兄弟姉妹	25	28.0	20.0	8.0	32.0	0.0	4.0	40.0	12.0	8.0
	孫	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	31	29.0	19.4	6.5	12.9	3.2	0.0	38.7	12.9	19.4
家族構成別	一人暮らし	368	34.0	19.3	10.3	20.9	3.0	6.5	48.1	9.0	10.9
	夫婦のみ	392	38.5	18.4	14.3	26.0	3.8	9.2	48.0	4.8	9.4
	子どもと二世帯同居	522	37.5	20.3	13.6	26.4	1.5	5.7	52.9	5.9	8.8
	親と二世帯同居	33	54.5	24.2	6.1	27.3	6.1	3.0	51.5	3.0	3.0
	三世帯以上同居	156	39.1	17.9	13.5	20.5	0.6	3.8	60.3	10.3	5.8
	その他	60	36.7	28.3	5.0	25.0	1.7	6.7	46.7	8.3	8.3

問 20 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業について知っていることがある割合は 35.6%で、「認知症に関する介護予防事業」が 18.3%と最も高く、次いで「認知症家族交流会」が 16.1%、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が 11.6%となっています。「知っているものはない」は 50.0%です。

図 5.57 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）



※ 「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

知っている認知症に関する区の事業を性別にみると、男女ともに「認知症に関する介護予防事業」が最も高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満は「認知症に関する介護予防事業」が他の年齢と比べて高いほか、「認知症サポート養成講座」（14.5%）、「ただいま！支援SOSメール」（9.1%）も他の年齢と比べて高くなっています。

図 5.58 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんにこ）	認知症サポーター養成講座
全体		1,555	18.3	11.6	16.1	8.7	10.7	10.2	5.1
性別	男性	540	20.2	13.7	16.3	8.5	12.6	6.5	10.4
	女性	1,015	17.2	10.5	16.1	8.9	9.8	4.4	10.1
年齢別	65歳未満	55	29.1	16.4	20.0	10.9	14.5	10.9	14.5
	65-69歳	53	18.9	11.3	15.1	9.4	15.1	3.8	13.2
	70-74歳	117	23.1	8.5	15.4	13.7	15.4	9.4	14.5
	75-79歳	163	18.4	11.7	19.6	8.0	11.7	6.1	11.7
	80-84歳	305	19.7	16.1	17.4	9.8	13.8	5.6	10.8
	85-89歳	357	14.8	10.6	12.9	8.1	8.7	3.9	8.4
	90歳以上	369	17.1	10.0	16.8	7.6	8.4	3.5	8.9

項目		回答者数（人）	「うち帰ろう」模範訓練（認知症対応状況不明）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答
全体		1,555	1.6	1.3	2.3	1.4	50.0	14.4
性別	男性	540	1.7	1.3	2.6	2.0	45.7	16.5
	女性	1,015	1.6	1.3	2.1	1.0	52.3	13.3
年齢別	65歳未満	55	3.6	5.5	9.1	3.6	45.5	3.6
	65-69歳	53	7.5	1.9	1.9	1.9	60.4	1.9
	70-74歳	117	3.4	3.4	3.4	2.6	49.6	15.4
	75-79歳	163	2.5	1.8	3.1	0.6	48.5	14.1
	80-84歳	305	1.0	0.3	1.3	2.0	46.6	15.1
	85-89歳	357	0.6	1.1	2.0	1.1	50.4	17.4
	90歳以上	369	1.4	1.1	1.1	1.1	49.6	16.3

知っている認知症に関する区の事業を要介護度別にみると、要介護 1 では「認知症家族交流会」（16.9%）と「認知症に関する介護予防事業」（16.2%）が同等となっています。要介護 2 から 5 ではいずれも「認知症に関する介護予防事業」が最も高くなっています。

圏域別にみると、「認知症に関する介護予防事業」は、大塚地区で 21.5%ですが、富坂、本富士、駒込地区は 16~18%ほどとなっています。

図 5.59 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）/要介護度別/圏域別

単位：%

項目	回答者数（人）	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんにこ）	認知症サポーター養成講座	
全体	1,555	18.3	11.6	16.1	8.7	10.7	10.2	5.1	
要介護度別	要介護 1	593	16.2	11.5	16.9	9.8	12.6	5.9	10.8
	要介護 2	454	20.7	14.1	16.3	9.3	9.9	5.1	10.1
	要介護 3	253	20.6	10.7	19.4	7.5	9.9	4.7	11.9
	要介護 4	94	14.9	10.6	9.6	2.1	8.5	3.2	2.1
	要介護 5	74	21.6	6.8	16.2	13.5	14.9	5.4	17.6
圏域別	富坂地区	480	17.9	11.0	15.4	7.5	8.8	4.8	10.4
	大塚地区	307	21.5	12.4	17.6	10.4	11.1	6.8	11.4
	本富士地区	342	16.4	9.1	17.0	7.9	12.6	3.8	12.6
	駒込地区	426	17.8	13.8	15.3	9.6	11.3	5.4	7.3

項目	回答者数（人）	「うち帰ろう」模範訓練（認知症対応）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援 SOS メール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答	
全体	1,555	1.6	1.3	2.3	1.4	50.0	14.4	
要介護度別	要介護 1	593	2.4	1.2	1.9	1.5	52.1	12.0
	要介護 2	454	1.5	1.8	2.9	1.8	45.4	17.2
	要介護 3	253	1.2	0.4	2.0	0.8	51.8	13.0
	要介護 4	94	1.1	1.1	0.0	2.1	56.4	14.9
	要介護 5	74	0.0	2.7	4.1	0.0	45.9	12.2
圏域別	富坂地区	480	1.3	1.7	2.9	0.8	55.6	12.7
	大塚地区	307	2.3	1.0	3.3	2.0	50.5	10.7
	本富士地区	342	1.8	1.8	1.8	1.5	45.6	18.4
	駒込地区	426	1.4	0.7	1.2	1.4	46.9	15.7

知っている認知症に関する区の事業を記入者別にみると、宛名の本人が回答している場合は、「認知症に関する介護予防事業」が15.7%と最も高いものの、全体より若干低くなっています。「認知症家族交流会」も全体より5ポイントほど低く、10.9%となっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「認知症に関する介護予防事業」が14.1%と他の家族構成と比べて低くなっています。

図 5.60 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）/記入者別/家族構成別

単位：%

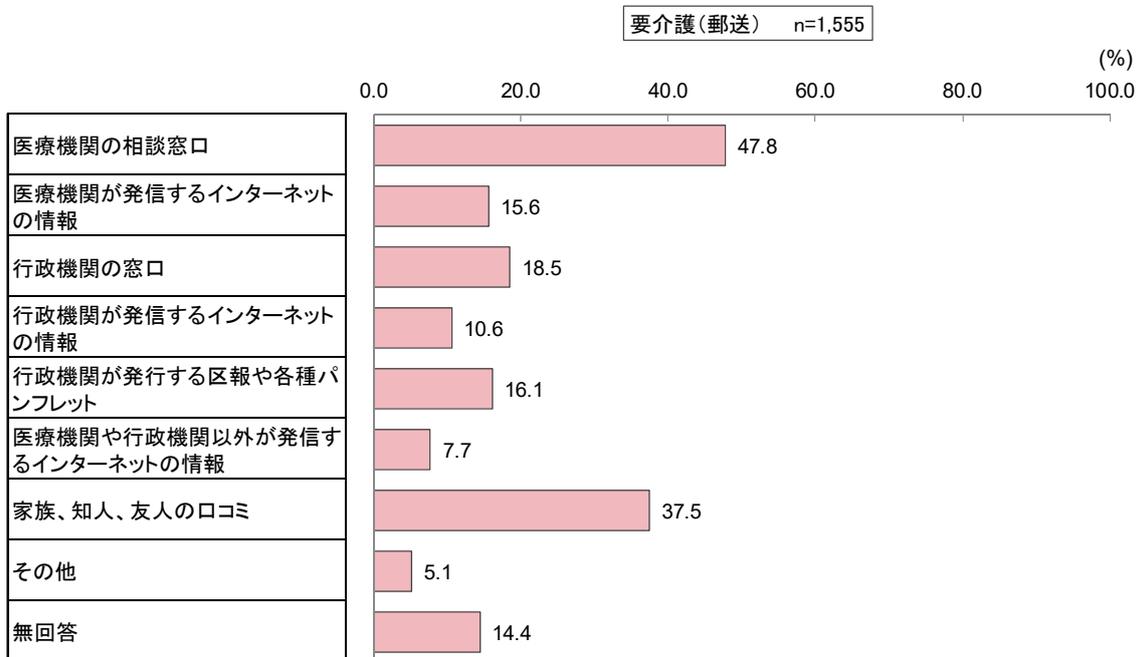
項目	回答者数（人）	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんにこ）	認知症サポーター養成講座	
全体	1,555	18.3	11.6	16.1	8.7	10.7	10.2	5.1	
記入者別	あて名のご本人	567	15.7	12.5	10.9	7.2	10.2	5.1	5.6
	配偶者（夫、妻）	299	22.1	11.7	24.1	13.0	15.4	6.7	15.1
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	20.5	11.5	19.0	8.4	10.1	5.0	12.7
	兄弟姉妹	25	16.0	20.0	8.0	16.0	12.0	4.0	16.0
	孫	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	31	9.7	3.2	16.1	6.5	3.2	3.2	9.7
家族構成別	一人暮らし	368	14.1	9.0	10.9	5.7	8.4	3.0	6.8
	夫婦のみ	392	21.7	14.0	19.9	11.7	16.1	7.9	11.7
	子どもと二世帯同居	522	19.2	11.7	16.3	8.8	9.0	4.4	11.5
	親と二世帯同居	33	15.2	6.1	9.1	3.0	0.0	3.0	6.1
	三世帯以上同居	156	19.2	14.1	21.2	10.3	12.2	7.1	10.9
	その他	60	16.7	10.0	13.3	8.3	11.7	3.3	6.7

項目	回答者数（人）	「うちで帰ろう」模倣訓練（認知症対応症模倣）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール	認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答	
全体	1,555	1.6	1.3	2.3	1.4	50.0	14.4	
記入者別	あて名のご本人	567	2.3	1.6	2.1	2.5	52.4	17.6
	配偶者（夫、妻）	299	2.0	1.0	2.7	1.3	40.8	16.1
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	0.9	0.9	2.0	0.2	52.2	8.4
	兄弟姉妹	25	0.0	8.0	0.0	0.0	40.0	24.0
	孫	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	その他	31	3.2	3.2	3.2	6.5	58.1	19.4
家族構成別	一人暮らし	368	1.4	1.1	1.6	0.8	56.0	16.0
	夫婦のみ	392	2.0	1.8	3.1	2.8	41.8	16.1
	子どもと二世帯同居	522	1.9	1.0	1.7	1.1	51.7	14.0
	親と二世帯同居	33	0.0	0.0	3.0	0.0	60.6	9.1
	三世帯以上同居	156	0.6	1.3	2.6	0.6	44.9	10.9
	その他	60	1.7	3.3	1.7	0.0	60.0	11.7

## 問 21 認知症についての情報収集の方法

認知症についての情報収集の方法は、「医療機関の相談窓口」が47.8%と最も高く、次いで「家族、知人、友人の口コミ」が37.5%、「行政機関の窓口」が18.5%となっています。

図 5.61 認知症についての情報収集の方法（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 ケアマネジャー（25件）、かかりつけ医・医師（10件）、

性別では、男性は女性と比べて「医療機関の相談窓口」（51.5%）が、女性は男性と比べて「家族、知人、友人の口コミ」（39.8%）が5ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、65歳未満はインターネットから情報を収集する割合が他の年齢と比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要介護5は他の要介護度と比べて割合が高い項目が多くなっています。

圏域別にみると、大塚地区は「医療機関が発信するインターネットの情報」（20.8%）、「行政機関の窓口」（23.8%）の割合が他の圏域と比べて高くなっています。

記入者別にみると、宛名の本人が回答している場合では、「医療機関の相談窓口」が52.2%と最も高く、次いで「家族、知人、友人の口コミ」が36.0%となっています。「医療機関が発信するインターネットの情報」は他の記入者の場合に比べ低く、9.5%となっています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居で、回答割合が高い項目が多くなっています。

図 5.62 認知症についての情報収集の方法（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

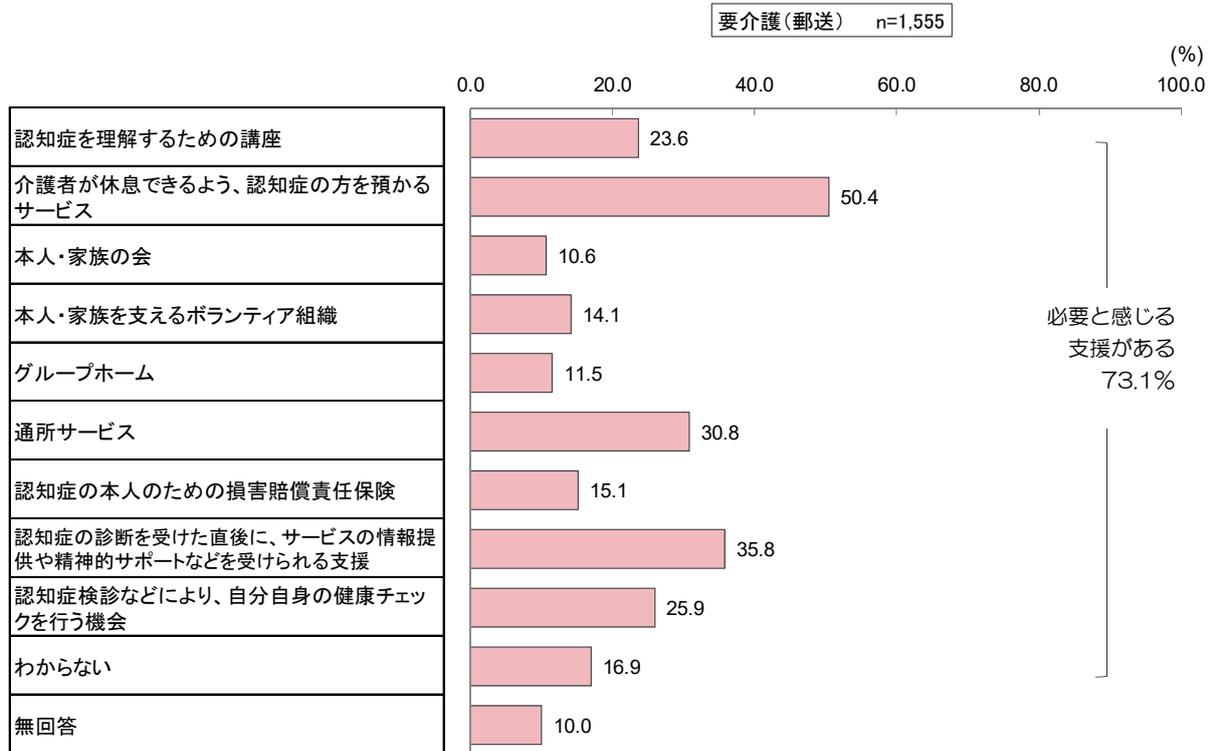
単位：%

項目		回答者数（人）	医療機関の相談窓口	医療機関が発信するインターネットの情報	行政機関の窓口	行政機関が発信するインターネットの情報	行政機関が発信する区報や各種パンフレット	行政機関が発信するインターネットの情報	医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報	家族、知人、友人の口コミ	その他	無回答
全体		1,555	47.8	15.6	18.5	10.6	16.1	7.7	37.5	5.1	14.4	
性別	男性	540	51.5	14.1	20.4	8.7	18.5	7.0	33.1	4.3	15.2	
	女性	1,015	45.9	16.4	17.4	11.6	14.8	8.0	39.8	5.6	14.0	
年齢別	65歳未満	55	47.3	43.6	23.6	29.1	12.7	27.3	25.5	1.8	3.6	
	65-69歳	53	52.8	24.5	17.0	20.8	26.4	7.5	37.7	7.5	1.9	
	70-74歳	117	50.4	17.9	23.1	6.0	17.9	6.8	29.9	9.4	17.9	
	75-79歳	163	50.3	11.7	21.5	6.7	17.2	6.1	30.7	4.9	16.0	
	80-84歳	305	51.1	11.8	21.0	9.5	16.4	5.6	39.7	7.5	15.1	
	85-89歳	357	51.0	11.2	16.0	7.8	14.6	5.0	38.7	3.6	14.3	
	90歳以上	369	40.7	14.4	16.5	10.3	16.8	7.6	41.2	2.4	17.3	
要介護度別	要介護1	593	47.2	13.3	17.9	10.3	18.2	5.9	41.3	5.7	10.8	
	要介護2	454	49.8	17.4	18.9	10.8	16.7	8.8	34.1	5.5	16.7	
	要介護3	253	45.5	15.8	20.2	10.3	11.1	9.1	36.0	5.5	16.6	
	要介護4	94	45.7	17.0	10.6	8.5	18.1	7.4	36.2	3.2	17.0	
	要介護5	74	51.4	24.3	28.4	16.2	16.2	14.9	40.5	1.4	8.1	
圏域別	富坂地区	480	50.0	13.1	18.1	9.2	13.8	7.9	38.1	4.6	13.3	
	大塚地区	307	48.9	20.8	23.8	14.0	19.2	9.1	40.1	7.5	7.5	
	本富士地区	342	45.3	17.8	17.3	11.1	14.6	8.2	33.6	4.7	19.9	
	駒込地区	426	46.7	12.7	16.0	9.4	17.6	5.9	38.0	4.5	16.2	
記入者別	あて名のご本人	567	52.2	9.5	19.2	7.4	16.9	5.6	36.0	4.6	16.2	
	配偶者（夫、妻）	299	51.5	14.0	21.1	7.0	20.4	5.0	33.8	3.7	15.4	
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	42.9	23.3	16.7	16.5	14.2	12.2	42.2	6.5	10.2	
	兄弟姉妹	25	44.0	20.0	20.0	8.0	8.0	4.0	40.0	0.0	16.0	
	孫	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	
	その他	31	38.7	9.7	9.7	9.7	12.9	3.2	25.8	16.1	22.6	
家族構成別	一人暮らし	368	44.0	12.8	15.8	9.0	11.4	5.7	34.5	7.3	16.0	
	夫婦のみ	392	51.8	13.3	20.7	8.7	20.2	7.7	34.2	4.3	15.8	
	子どもと二世帯同居	522	48.5	17.4	18.4	10.5	17.8	7.9	39.8	4.2	13.2	
	親と二世帯同居	33	54.5	33.3	27.3	27.3	3.0	24.2	33.3	12.1	0.0	
	三世帯以上同居	156	44.2	15.4	14.7	15.4	16.7	8.3	42.9	4.5	14.7	
	その他	60	51.7	20.0	26.7	10.0	11.7	6.7	45.0	3.3	11.7	

問 22 認知症の本人や家族への必要と感じる支援

認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものがある割合は 73.1%で、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が 50.4%と最も高く、次いで「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が 35.8%、「通所サービス」が 30.8%となっています。

図 5.63 認知症の本人や家族への必要と感じる支援（いくつでも可）



※ 「必要と感じる支援がある」=100%－「わからない」－「無回答」

認知症の本人や家族への支援として必要と感じるものを性別では、特に目立った違いはみられません。

年齢別にみると、65歳未満や65～69歳において、支援が必要と回答する割合が高い項目が多くなっています。

要介護度別にみると、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」は介護度が上がるにつれて高くなっており、要介護5では63.5%となっています。

圏域別にみると、いずれの圏域においても「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が最も高くなっていますが、大塚地区では57.7%と特に高くなっています。

記入者別にみると、記入者が配偶者や子どもの場合には「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が約6割、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」が約4割と高くなっています。また、記入者が子どもの場合は、「通所サービス」も41.8%と高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしは「わからない」と回答する割合が23.4%と他の家族構成と比べて高くなっています。また、親と二世帯同居世帯では「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が72.7%にのぼっており、「通所サービス」も48.5%と高くなっています。

図 5.64 認知症の本人や家族への必要と感じる支援（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

単位：%

項目		回答者数（人）	認知症を理解するための講座	介護者が休息できるように、認知症の方を預かるサービス	本人・家族の会	本人・家族を支えるボランティア組織	グループホーム	通所サービス	責任保険	認知症の本人のための損害賠償	認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援	認知症の診断を受けた直後に、自身の健康チェックを行う機会	わからない	無回答
全体		1,555	23.6	50.4	10.6	14.1	11.5	30.8	15.1	35.8	25.9	16.9	10.0	
性別	男性	540	22.2	51.1	8.9	13.0	9.8	28.9	15.2	35.9	23.7	18.0	12.4	
	女性	1,015	24.3	50.0	11.5	14.8	12.4	31.8	15.1	35.7	27.0	16.4	8.8	
年齢別	65歳未満	55	34.5	60.0	18.2	27.3	23.6	38.2	32.7	50.9	34.5	16.4	0.0	
	65-69歳	53	26.4	62.3	18.9	17.0	11.3	37.7	18.9	45.3	32.1	15.1	1.9	
	70-74歳	117	19.7	49.6	8.5	17.1	8.5	29.1	16.2	38.5	25.6	12.8	11.1	
	75-79歳	163	20.9	50.3	10.4	10.4	6.7	23.3	14.1	31.3	25.2	18.4	13.5	
	80-84歳	305	25.9	50.5	10.2	15.1	9.5	32.8	14.1	39.7	29.5	17.0	10.2	
	85-89歳	357	22.4	43.4	7.6	11.5	11.5	28.9	14.3	31.7	23.2	21.0	9.8	
	90歳以上	369	22.5	49.6	10.6	13.0	11.7	30.1	12.5	33.3	24.4	14.9	12.2	
要介護度別	要介護1	593	26.1	48.6	11.8	14.3	10.6	32.0	14.8	38.3	27.8	18.2	7.4	
	要介護2	454	21.1	52.4	10.6	15.4	10.6	31.3	17.4	35.2	25.6	16.3	11.7	
	要介護3	253	21.3	54.2	10.3	11.1	11.5	31.2	15.4	36.0	25.7	12.6	13.4	
	要介護4	94	26.6	55.3	5.3	14.9	19.1	27.7	5.3	25.5	21.3	13.8	10.6	
	要介護5	74	24.3	63.5	13.5	21.6	16.2	35.1	23.0	44.6	27.0	13.5	2.7	
圏域別	富坂地区	480	22.1	44.2	10.8	10.6	9.4	27.3	15.6	34.4	25.8	21.0	9.4	
	大塚地区	307	24.1	57.7	10.7	17.6	13.7	34.2	15.0	36.8	28.0	15.3	4.9	
	本富士地区	342	21.9	50.0	8.5	16.4	11.7	33.0	11.7	34.8	23.4	16.4	13.7	
	駒込地区	426	26.3	52.3	12.0	13.8	12.2	30.5	17.4	37.3	26.3	13.8	11.5	
記入者別	あて名のご本人	567	25.6	38.8	11.8	14.6	7.4	21.3	13.2	31.4	29.8	20.8	12.7	
	配偶者（夫、妻）	299	21.4	60.5	9.0	15.4	8.0	33.4	16.7	40.8	25.4	10.7	10.0	
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	24.8	61.2	10.8	14.4	18.5	41.8	17.2	40.8	24.2	14.2	5.2	
	兄弟姉妹	25	12.0	44.0	8.0	12.0	4.0	36.0	16.0	24.0	24.0	24.0	8.0	
	孫	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	
	その他	31	19.4	25.8	3.2	6.5	16.1	9.7	3.2	16.1	9.7	25.8	25.8	
家族構成別	一人暮らし	368	25.8	36.7	8.7	12.8	10.9	24.2	14.1	35.9	23.4	23.4	10.9	
	夫婦のみ	392	23.0	50.5	10.2	14.8	8.4	28.6	12.5	32.4	28.1	16.8	11.2	
	子どもと二世帯同居	522	22.8	55.2	11.7	14.2	10.9	34.1	16.3	38.7	26.2	14.2	9.8	
	親と二世帯同居	33	18.2	72.7	6.1	18.2	24.2	48.5	24.2	27.3	30.3	6.1	0.0	
	三世帯以上同居	156	26.3	59.6	12.8	15.4	16.7	34.6	20.5	37.8	24.4	14.1	8.3	
	その他	60	21.7	61.7	11.7	11.7	16.7	36.7	13.3	36.7	23.3	13.3	8.3	

## 6 健康・介護予防について

### 問 23 現在の健康状態

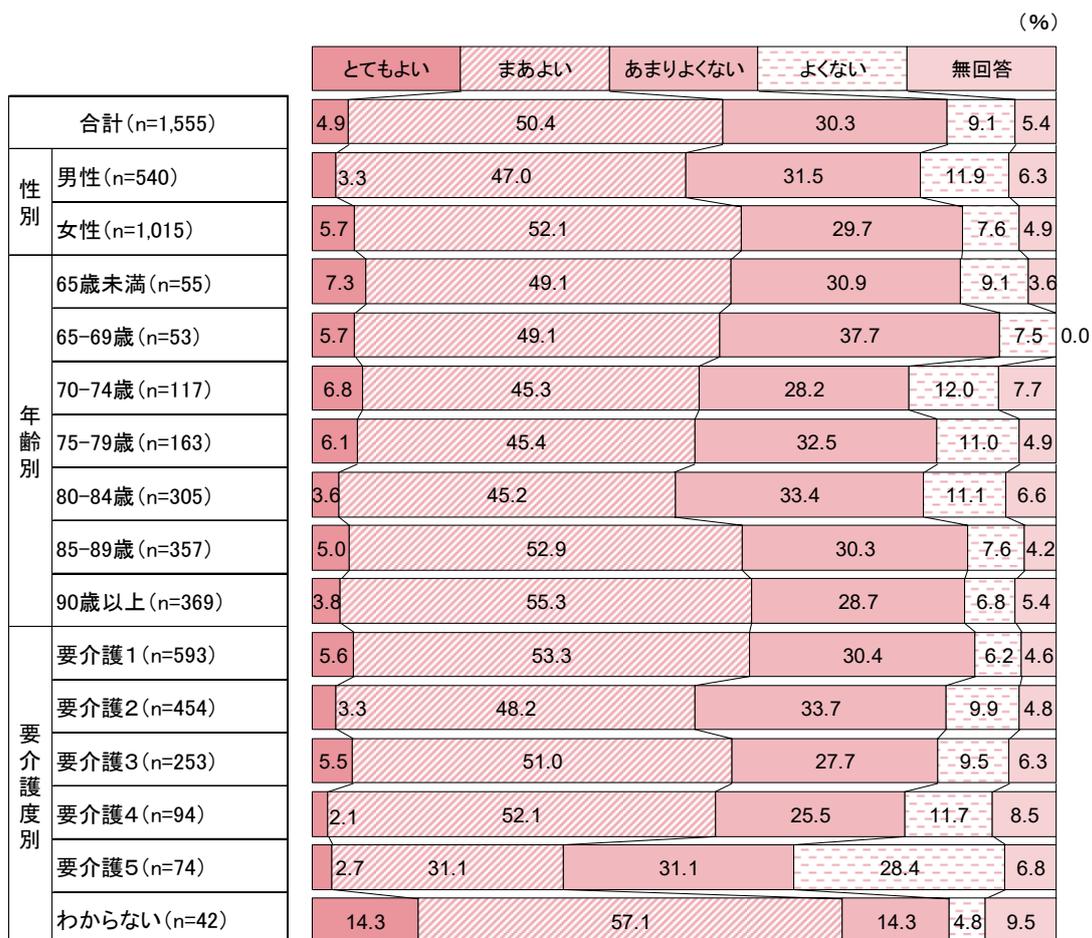
主観的な健康感は、「まあよい」が50.4%と最も高く、次いで「あまりよくない」が30.3%、「よくない」が9.1%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせると55.3%、「あまりよくない」「よくない」を合わせると39.4%となっており、前者が16ポイントほど高くなっています。

性別では、「よくない（「あまりよくない」と「よくない」の合計）」の割合は、男性の方が高くなっています（男性：43.4%、女性：37.3%）。

年齢別にみると、「よくない（「あまりよくない」と「よくない」の合計）」の割合は85歳未満は40%台であるのに対し、85歳以上は30%台と、85歳未満の方が悪い割合が高くなっています。

要介護度別にみると、要介護5では、「よくない（「あまりよくない」と「よくない」の合計）」と回答した割合が59.5%と高くなっています。

図 5.65 現在の健康状態/性別/年齢別/要介護度別



問 24 健康の維持・増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、現在取り組んでいることの有無

健康の維持・増進及び病気の予防や要介護状態の改善に向けて「取り組んでいることがある」割合は43.1%となっています。

年齢別にみると、65歳未満は「取り組んでいることがある」の割合が67.3%と最も高く、年齢が上がるにつれて減少し、75歳以上では40%前後となっています。

要介護度別にみると、要介護3で「取り組んでいることがある」の割合が47.8%と高く、以降は要介護度が上がるにつれて減少し、要介護5では29.7%となっています。

健康感別にみると、体調を良好に感じている人で「取り組んでいることがある」割合が高くなっています。介護サービス利用状況別では、利用している人は45.9%、利用していない人では31.4%となっています。

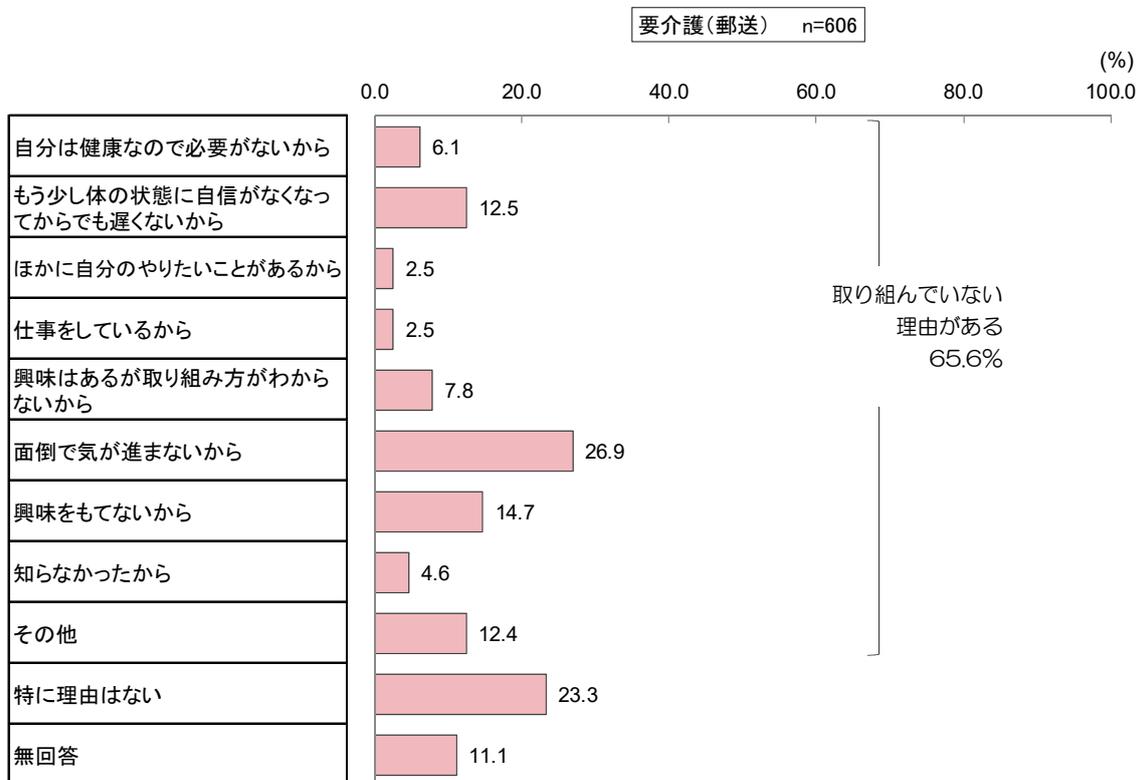
図 5.66 健康の維持・増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、現在取り組んでいること / 性別 / 年齢別 / 要介護度別 / 健康感別 / サービス利用状況別

		(%)		
		取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	無回答
合計 (n=1,555)		43.1	39.0	17.9
性別	男性 (n=540)	41.9	38.9	19.3
	女性 (n=1,015)	43.7	39.0	17.2
年齢別	65歳未満 (n=55)	67.3	25.5	7.3
	65-69歳 (n=53)	56.6	35.8	7.5
	70-74歳 (n=117)	45.3	37.6	17.1
	75-79歳 (n=163)	40.5	38.0	21.5
	80-84歳 (n=305)	43.0	37.4	19.7
	85-89歳 (n=357)	41.7	38.4	19.9
	90歳以上 (n=369)	38.8	43.6	17.6
要介護度別	要介護1 (n=593)	44.2	37.9	17.9
	要介護2 (n=454)	43.8	36.3	19.8
	要介護3 (n=253)	47.8	37.9	14.2
	要介護4 (n=94)	38.3	42.6	19.1
	要介護5 (n=74)	29.7	48.6	21.6
健康感別	とてもよい (n=76)	53.9	35.5	10.5
	まあよい (n=783)	46.5	39.0	14.6
	あまりよくない (n=471)	43.5	39.1	17.4
	よくない (n=141)	34.0	53.2	12.8
サービス利用状況別	利用している (n=1,295)	45.9	36.7	17.4
	利用していない (n=194)	31.4	54.6	13.9

問 25 【健康維持・増進に取り組んでいない方】取り組んでいない理由

取り組んでいない主な理由は、「面倒で気が進まないから」が26.9%と最も高く、次いで「興味をもてないから」が14.7%、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が12.5%となっています。なお、「特に理由はない」は23.3%となっています。

図 5.67 取り組んでいない理由（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 体の自由がきかない、認知症、病床のため  
 ※ 「取り組んでいない理由がある」=100%－「特に理由はない」－「無回答」

性別では、特に大きな差はみられません。

年齢別にみると、70～74歳以外は「面倒で気が進まないから」が最も高く（65歳未満は「興味をもてないから」も同率、65～69歳は「興味はあるが取り組み方がわからないから」も同率）、70～74歳は「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が20.5%と最も高くなっています。

要介護度別では、要介護1は「面倒で気が進まないから」が32.4%と特に高くなっています。

圏域別にみると、大塚地区は「興味はあるが取り組み方がわからないから」が11.9%と他の圏域と比べて高くなっています。

記入者別にみると、宛名の本人が回答している場合では、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が21.9%と高くなっています。

家族構成別にみると、三世代以上同居において「自分は健康なので必要がないから」が12.7%と他の家族構成と比べて高くなっています。

介護サービス利用状況別にみると、利用者に比べ未利用者で「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が20.8%と高くなっています。

図 5.68 取り組んでいない理由（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別/サービス利用状況別

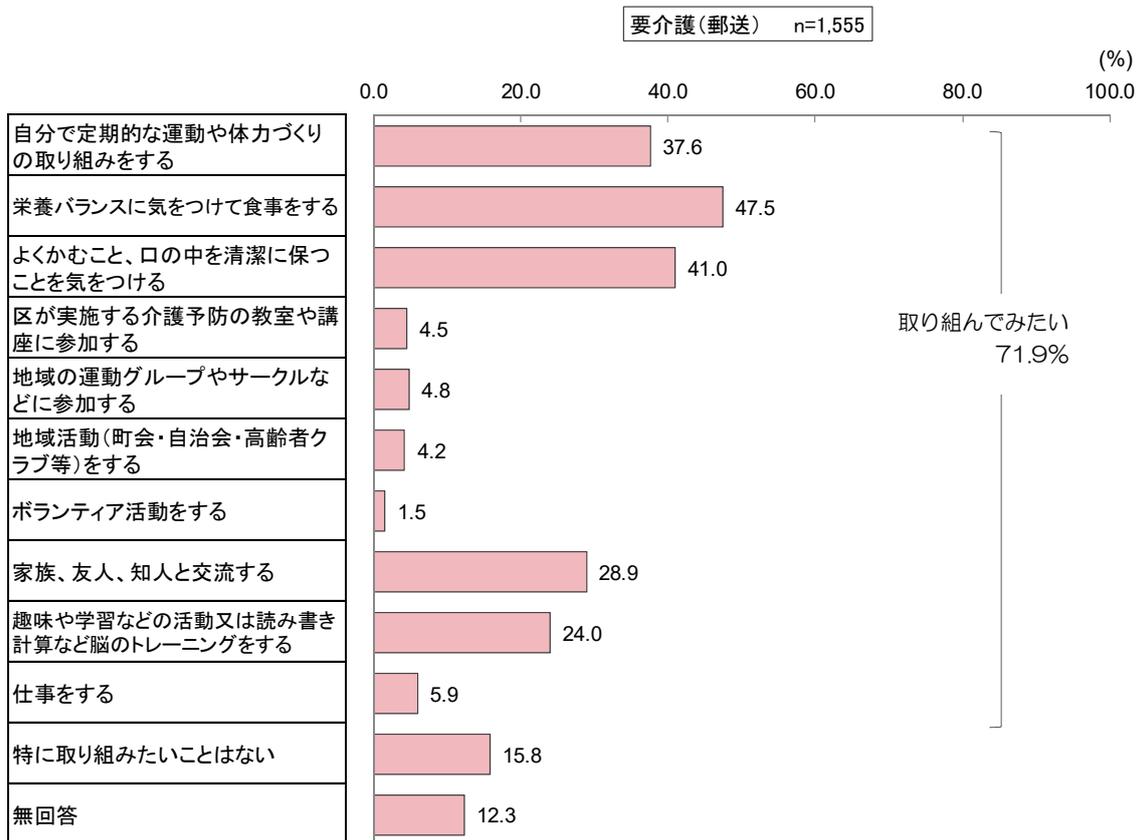
単位：%

項目		回答者数（人）	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなってきたからでも遅くないから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他	特に理由はない	無回答
全体		606	6.1	12.5	2.5	2.5	7.8	26.9	14.7	4.6	12.4	23.3	11.1
性別	男性	210	6.2	13.3	3.3	3.8	6.7	28.1	12.9	2.9	11.4	25.2	9.0
	女性	396	6.1	12.1	2.0	1.8	8.3	26.3	15.7	5.6	12.9	22.2	12.1
年齢別	65歳未満	14	14.3	14.3	21.4	21.4	14.3	28.6	28.6	14.3	7.1	21.4	7.1
	65-69歳	19	0.0	0.0	0.0	5.3	26.3	26.3	10.5	5.3	15.8	26.3	10.5
	70-74歳	44	2.3	20.5	2.3	2.3	6.8	18.2	11.4	0.0	20.5	25.0	6.8
	75-79歳	62	8.1	12.9	1.6	0.0	8.1	27.4	11.3	0.0	9.7	30.6	11.3
	80-84歳	114	6.1	15.8	1.8	4.4	8.8	25.4	14.9	4.4	14.9	18.4	9.6
	85-89歳	137	8.8	16.8	2.2	1.5	8.8	24.1	13.9	5.8	10.2	20.4	9.5
	90歳以上	161	4.3	6.8	1.9	0.0	4.3	29.8	14.3	5.0	12.4	25.5	13.7
要介護度別	要介護1	225	9.8	15.6	3.1	1.3	8.0	32.4	16.9	5.3	7.1	19.1	8.4
	要介護2	165	2.4	9.1	3.0	1.8	7.9	29.7	17.0	3.0	14.5	26.1	9.7
	要介護3	96	4.2	6.3	3.1	4.2	8.3	25.0	15.6	4.2	15.6	27.1	14.6
	要介護4	40	2.5	7.5	0.0	5.0	12.5	22.5	12.5	2.5	20.0	27.5	12.5
	要介護5	36	2.8	2.8	0.0	2.8	2.8	11.1	0.0	8.3	25.0	27.8	22.2
圏域別	富坂地区	196	5.6	15.3	1.5	3.1	5.6	24.5	13.8	5.1	10.7	26.5	9.7
	大塚地区	126	4.0	10.3	3.2	3.2	11.9	26.2	13.5	5.6	14.3	21.4	12.7
	本富士地区	122	6.6	11.5	0.8	0.0	8.2	27.9	12.3	4.9	13.1	22.1	14.8
	駒込地区	162	8.0	11.7	4.3	3.1	6.8	29.6	18.5	3.1	12.3	21.6	8.6
記入者別	あて名のご本人	187	8.6	21.9	5.3	2.7	12.8	20.9	13.4	4.8	10.2	20.3	7.5
	配偶者（夫、妻）	123	4.9	13.0	0.8	2.4	7.3	27.6	13.8	4.1	12.2	22.8	13.0
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	241	5.8	3.7	1.7	2.5	5.0	33.2	17.8	5.8	14.5	22.4	12.9
	兄弟姉妹	14	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3
	孫	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	19	0.0	10.5	0.0	0.0	5.3	31.6	0.0	0.0	5.3	47.4	5.3
家族構成別	一人暮らし	137	8.0	13.1	4.4	1.5	8.0	19.7	8.8	2.2	13.1	23.4	14.6
	夫婦のみ	140	2.9	15.0	3.6	2.9	8.6	22.1	15.7	5.0	15.0	22.1	12.1
	子どもと二世帯同居	218	6.4	13.8	0.9	1.8	7.3	33.9	17.4	5.5	9.6	23.4	8.7
	親と二世帯同居	20	5.0	10.0	0.0	5.0	5.0	45.0	35.0	10.0	0.0	20.0	10.0
	三世帯以上同居	55	12.7	3.6	1.8	1.8	3.6	29.1	14.5	7.3	12.7	21.8	9.1
	その他	26	0.0	3.8	3.8	3.8	11.5	19.2	7.7	0.0	23.1	42.3	7.7
サービス利用状況別	利用している	475	5.5	10.1	2.9	2.9	6.9	27.6	14.7	4.0	13.5	24.0	11.2
	利用していない	106	9.4	20.8	0.9	0.9	8.5	25.5	15.1	3.8	10.4	21.7	9.4

問 26 健康の維持増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、今後取り組んでみたいこと

今後取り組んでみたい割合は 71.9%で、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が 47.5%と最も高く、次いで「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」が 41.0%、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が 37.6%となっています。

図 5.69 健康の維持増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、今後取り組んでみたいこと（いくつでも可）



※ 「取り組んでみたい」=100%－「特に取り組みたいことはない」－「無回答」

性別では、男女ともに「栄養バランスに気をつけて食事をする」が最も高く、次いで男性は「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が、女性は「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」が高くなっています。

年齢別にみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が高いほかに、84歳未満では「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が、80歳以上では「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」も40%以上と高い割合になっています。

圏域別にみると、「家族、友人、知人と交流する」は、大塚地区と本富士地区で約32%と、富坂地区と駒込地区で26～27%前後であるのに比べ、高くなっています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居において、「家族、友人、知人と交流する」の割合が39.4%と他の家族構成と比べて高くなっています。

図 5.70 健康の維持増進及び病気の予防や要介護状態の改善のため、今後取り組んでみたいこと（いくつでも可）/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

単位：%

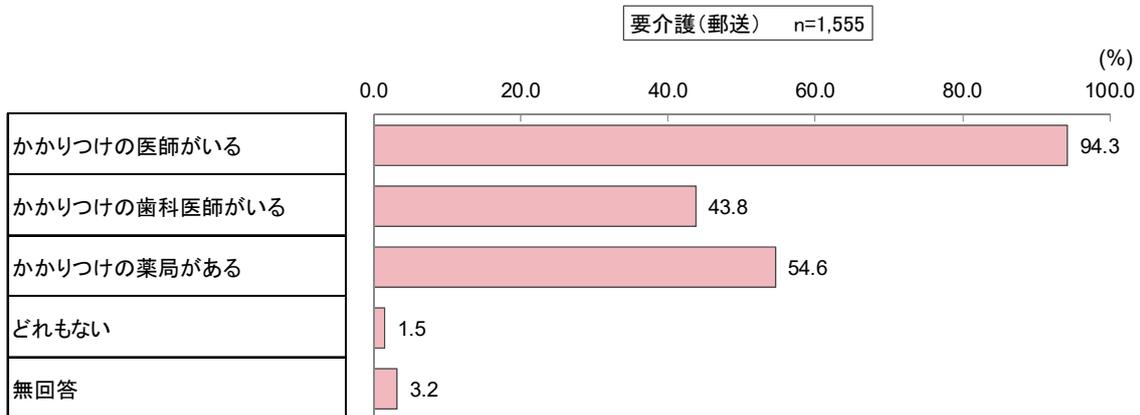
項目		回答者数（人）	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	区が実施する介護予防の教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動（町会・自治会・高齢者クラブ等）をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事をする	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		1,555	37.6	47.5	41.0	4.5	4.8	4.2	1.5	28.9	24.0	5.9	15.8	12.3
性別	男性	540	39.1	44.6	36.7	3.9	3.9	4.4	1.5	23.3	20.2	8.1	17.8	15.6
	女性	1,015	36.8	49.0	43.3	4.8	5.2	4.1	1.6	31.9	26.0	4.7	14.8	10.5
年齢別	65歳未満	55	49.1	61.8	49.1	5.5	5.5	3.6	5.5	32.7	32.7	27.3	7.3	5.5
	65-69歳	53	43.4	39.6	32.1	7.5	7.5	7.5	5.7	35.8	39.6	11.3	15.1	7.5
	70-74歳	117	52.1	55.6	38.5	3.4	3.4	2.6	0.9	22.2	27.4	8.5	11.1	10.3
	75-79歳	163	41.1	44.2	39.3	4.9	5.5	5.5	3.1	31.3	20.2	3.1	15.3	15.3
	80-84歳	305	40.3	49.5	43.3	3.9	6.9	4.3	1.0	27.9	23.6	5.9	15.1	12.8
	85-89歳	357	35.0	47.6	42.0	6.7	5.3	5.3	0.8	30.8	23.5	3.6	14.6	12.3
	90歳以上	369	31.2	45.5	42.0	2.2	2.2	3.5	0.8	28.2	22.8	3.8	18.7	10.8
要介護度別	要介護1	593	41.0	50.6	40.0	6.2	5.6	4.6	1.2	33.1	27.2	6.9	14.7	8.3
	要介護2	454	40.5	47.6	43.0	3.5	4.0	4.0	1.5	26.0	25.6	5.1	16.7	13.0
	要介護3	253	26.9	45.1	41.1	3.2	3.6	2.8	1.2	29.6	20.6	4.3	17.0	16.6
	要介護4	94	33.0	42.6	35.1	1.1	3.2	5.3	2.1	16.0	8.5	5.3	20.2	19.1
	要介護5	74	24.3	37.8	37.8	0.0	0.0	0.0	1.4	20.3	16.2	4.1	16.2	21.6
圏域別	富坂地区	480	35.0	44.6	39.4	3.8	3.3	3.8	1.3	26.0	20.4	5.0	17.9	13.1
	大塚地区	307	41.4	48.2	40.7	5.5	5.2	3.3	2.3	32.2	24.8	6.2	14.3	11.4
	本富士地区	342	37.7	48.5	41.2	4.4	5.6	5.3	1.5	32.2	25.4	5.0	16.4	12.3
	駒込地区	426	37.8	49.3	42.7	4.7	5.4	4.7	1.4	27.2	26.3	7.5	14.1	12.0
記入者別	あて名のご本人	567	47.6	56.8	48.3	6.5	6.9	6.0	2.1	36.5	32.5	7.2	8.5	8.3
	配偶者（夫、妻）	299	38.8	45.5	40.1	4.0	4.0	4.7	1.7	26.1	18.4	6.7	16.7	15.7
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	28.5	39.7	35.2	3.1	3.2	2.2	1.1	24.8	19.0	4.3	20.8	14.4
	兄弟姉妹	25	24.0	32.0	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0	16.0	8.0	28.0	12.0
	孫	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
	その他	31	22.6	48.4	35.5	0.0	3.2	3.2	0.0	12.9	9.7	0.0	25.8	12.9
家族構成別	一人暮らし	368	37.5	52.2	44.8	5.2	6.5	4.6	2.2	29.3	25.0	7.3	15.5	9.0
	夫婦のみ	392	41.1	50.0	39.5	4.6	5.1	3.3	1.5	27.6	20.9	5.6	13.5	13.8
	子どもと二世帯同居	522	36.8	46.2	42.1	4.4	3.3	4.4	1.5	29.1	24.1	5.0	15.9	13.0
	親と二世帯同居	33	36.4	36.4	27.3	9.1	6.1	3.0	0.0	39.4	12.1	15.2	24.2	12.1
	三世帯以上同居	156	33.3	38.5	35.9	3.8	6.4	5.1	0.6	28.2	26.9	5.8	19.2	15.4
	その他	60	40.0	48.3	38.3	1.7	1.7	5.0	1.7	30.0	30.0	1.7	15.0	8.3

## 7 医療について

### 問 27 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医等の有無は、「かかりつけの医師がいる」は 94.3%、「かかりつけの歯科医師がいる」は 43.8%、「かかりつけの薬局がある」は 54.6%となっています。

図 5.71 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（いくつでも可）



（注）かかりつけ医・歯科医・薬局…普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。

性別では、男性は「かかりつけの歯科医師がいる」が 45.4%、「かかりつけ薬局がある」が 58.7%と、女性より高くなっています。

年齢別にみると、「かかりつけの医師がいる」はいずれの年代でも 95%前後となっています。「かかりつけの歯科医師がいる」は、80～84 歳で 50.5%と最も高く、以降は年齢が上がるにつれて減少しています。65 歳未満は「かかりつけの薬局がある」が 47.3%と、65 歳以上では 5 割を超えているのに比べ、若干低くなっています。

要介護度別にみると、「かかりつけの医師がいる」は要介護 1 で 96.3%と、他の要介護度と比べやや高くなっています。

圏域別にみると、特に目立った違いはみられません。

家族構成別にみると、夫婦のみ世帯は一人暮らしに比べ、「かかりつけの医師がいる」（94.1%）、「かかりつけの歯科医師がいる」（48.2%）、「かかりつけの薬局がある」（59.7%）とも高くなっています。

図 5.72 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

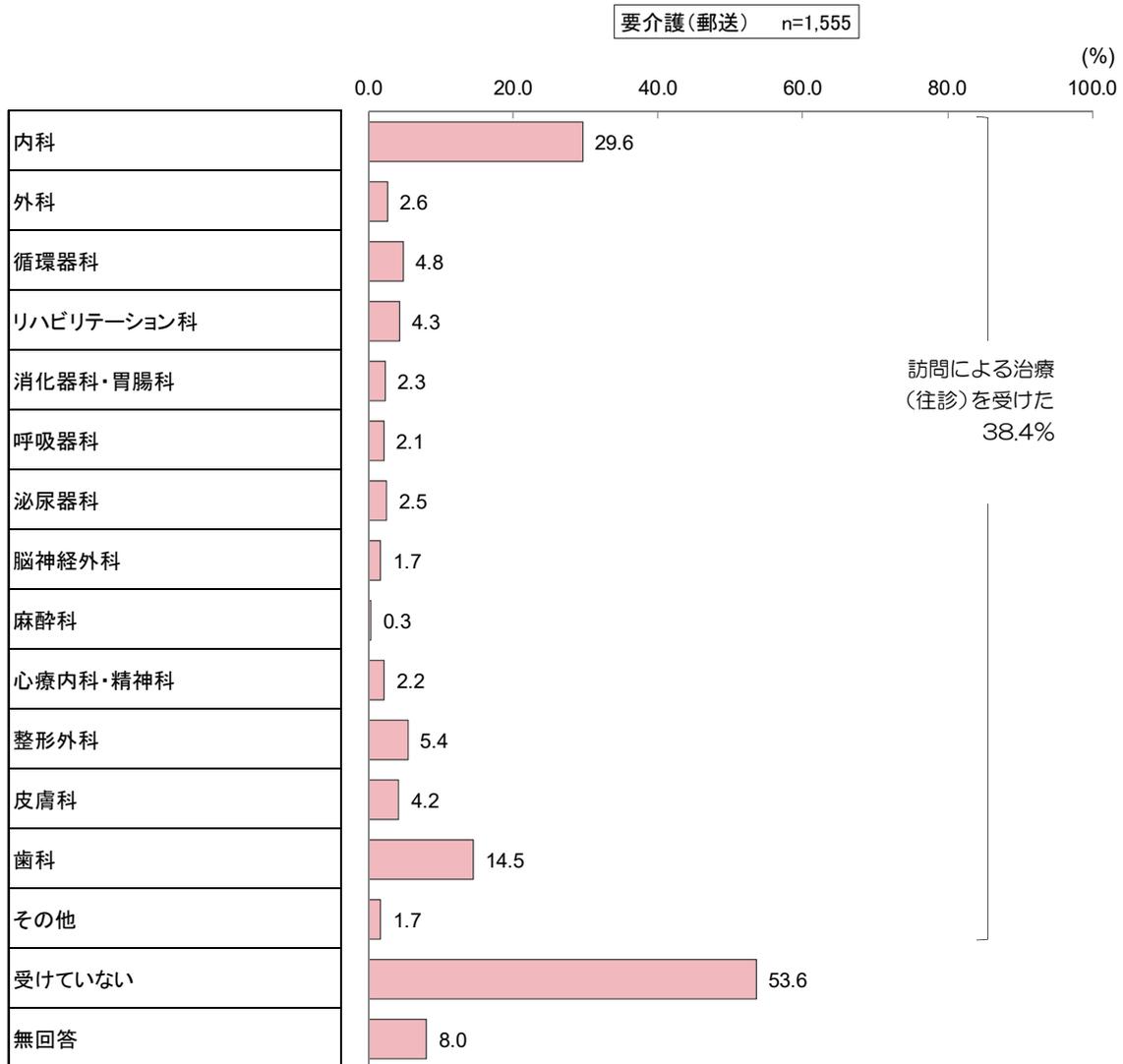
単位：%

項目		回答者数（人）	かかりつけの医師がいる	かかりつけの歯科医師がいる	かかりつけの薬局がある	どれもない	無回答
全体		1,555	94.3	43.8	54.6	1.5	3.2
性別	男性	540	93.3	45.4	58.7	1.3	4.1
	女性	1,015	94.9	43.0	52.4	1.6	2.7
年齢別	65歳未満	55	94.5	34.5	47.3	3.6	1.8
	65-69歳	53	94.3	47.2	56.6	1.9	0.0
	70-74歳	117	94.9	48.7	52.1	1.7	2.6
	75-79歳	163	94.5	47.2	57.7	0.0	3.7
	80-84歳	305	94.4	50.5	58.4	1.0	3.6
	85-89歳	357	96.1	45.7	57.7	0.6	2.8
	90歳以上	369	94.0	38.8	53.1	2.2	2.7
要介護度別	要介護1	593	96.3	45.5	54.3	1.2	1.5
	要介護2	454	93.4	45.8	59.3	0.9	4.0
	要介護3	253	94.9	36.4	51.4	1.2	3.2
	要介護4	94	90.4	46.8	56.4	5.3	4.3
	要介護5	74	89.2	43.2	48.6	4.1	6.8
圏域別	富坂地区	480	95.0	41.9	54.2	1.7	2.5
	大塚地区	307	94.1	45.3	50.8	2.0	2.3
	本富士地区	342	94.4	45.6	55.6	1.2	2.9
	駒込地区	426	93.7	43.4	57.0	1.2	4.7
記入者別	あて名のご本人	567	94.0	49.6	58.9	0.5	3.9
	配偶者（夫、妻）	299	96.0	52.2	64.9	1.7	2.0
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	94.8	35.2	45.8	2.0	2.7
	兄弟姉妹	25	92.0	44.0	56.0	4.0	4.0
	孫	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	31	90.3	25.8	54.8	3.2	3.2
家族構成別	一人暮らし	368	93.5	43.5	54.6	1.9	3.3
	夫婦のみ	392	94.1	48.2	59.7	1.5	3.3
	子どもと二世帯同居	522	94.3	41.0	52.7	1.3	3.4
	親と二世帯同居	33	97.0	36.4	45.5	3.0	0.0
	三世帯以上同居	156	97.4	48.7	55.1	0.0	1.9
	その他	60	93.3	36.7	46.7	3.3	1.7

問 28 病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等で受けた訪問治療（往診）科目  
（過去1年間）

過去1年間に往診を受けた割合は38.4%で、科目は「内科」が29.6%と最も高く、次いで「歯科」が14.5%、「整形外科」が5.4%となっています。

図 5.73 病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等で受けた訪問治療（往診）科目（過去1年間）  
（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 眼科（8件）、脳神経内科（3件）、耳鼻科（2件）  
 ※ 「訪問による治療（往診）を受けた」=100%−「受けていない」−「無回答」

訪問治療（往診）の状況を性別では、特に目立った違いはみられません。  
 年齢別にみると、65～69歳で「内科」の割合が15.1%と他の年齢と比べて低くなっています。要介護度別では、「内科」は介護度が上がるにつれて増加しており、要介護5では45.9%となっています。

図 5.74 病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等で受けた訪問治療（往診）科目（過去1年間）（いくつでも可）/性別/年齢別/要介護度別

単位：%

項目		回答者数（人）	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科
全体		1,555	29.6	2.6	4.8	4.3	2.3	2.1	2.5	1.7
性別	男性	540	28.3	2.6	5.2	5.4	2.4	3.1	5.0	2.0
	女性	1,015	30.2	2.6	4.6	3.7	2.3	1.6	1.2	1.6
年齢別	65歳未満	55	32.7	0.0	3.6	7.3	1.8	0.0	0.0	1.8
	65-69歳	53	15.1	1.9	7.5	7.5	1.9	1.9	1.9	1.9
	70-74歳	117	22.2	0.9	1.7	2.6	3.4	1.7	0.0	2.6
	75-79歳	163	22.7	3.7	4.9	5.5	2.5	3.1	1.8	1.8
	80-84歳	305	28.9	3.6	3.9	5.2	2.0	2.6	2.6	1.6
	85-89歳	357	29.7	2.2	5.6	2.5	2.0	0.8	3.1	2.8
	90歳以上	369	36.0	2.4	5.4	4.6	2.2	2.7	3.8	0.8
要介護度別	要介護1	593	21.9	2.0	3.9	3.5	2.7	1.3	2.4	1.3
	要介護2	454	31.3	2.9	6.2	5.5	2.2	2.4	3.1	2.0
	要介護3	253	35.6	3.6	4.7	4.0	2.0	2.8	1.2	1.6
	要介護4	94	44.7	1.1	2.1	3.2	1.1	1.1	4.3	0.0
	要介護5	74	45.9	5.4	10.8	8.1	2.7	6.8	5.4	4.1

項目		回答者数（人）	麻酔科	心療内科・精神科	整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		1,555	0.3	2.2	5.4	4.2	14.5	1.7	53.6	8.0
性別	男性	540	0.4	1.9	3.7	3.9	14.3	1.1	52.0	10.2
	女性	1,015	0.3	2.4	6.3	4.3	14.7	2.0	54.5	6.8
年齢別	65歳未満	55	0.0	0.0	3.6	0.0	14.5	5.5	58.2	1.8
	65-69歳	53	0.0	7.5	3.8	1.9	17.0	1.9	56.6	1.9
	70-74歳	117	0.0	1.7	1.7	5.1	10.3	0.9	64.1	6.8
	75-79歳	163	0.6	4.3	3.7	4.9	14.1	0.6	57.1	8.6
	80-84歳	305	0.3	2.0	6.2	3.3	15.1	0.3	52.5	12.1
	85-89歳	357	0.6	1.7	5.3	3.1	12.9	1.1	56.3	6.7
	90歳以上	369	0.3	0.8	6.0	6.0	16.8	3.0	46.9	7.3
要介護度別	要介護1	593	0.2	2.9	4.7	3.9	11.6	0.8	63.7	6.7
	要介護2	454	0.2	2.4	6.4	4.6	13.4	2.2	50.9	7.5
	要介護3	253	0.4	1.6	5.1	4.3	16.2	2.8	47.4	8.7
	要介護4	94	0.0	1.1	6.4	4.3	22.3	3.2	39.4	5.3
	要介護5	74	1.4	1.4	5.4	5.4	33.8	0.0	29.7	13.5

圏域別にみると、4 地区とも「内科」が最も高く、中でも本富士地区（30.7%）と駒込地区（31.7%）は3割を超えています。  
 家族構成別では、親と二世帯同居において「内科」（39.4%）、「消化器科・胃腸科」（9.1%）、「呼吸器科」（9.1%）の割合が他の家族構成と比べて高くなっています。

図 5.75 病気やけが等で医師や歯科医師に自宅等で受けた訪問治療（往診）科目（過去1年間）（いくつでも可）/圏域別/記入者別/家族構成別

単位：%

項目		回答者数 (人)	内科	外科	循環器科	リハビリテーション科	消化器科・胃腸科	呼吸器科	泌尿器科	脳神経外科
全体		1,555	29.6	2.6	4.8	4.3	2.3	2.1	2.5	1.7
圏域別	富坂地区	480	29.0	2.5	4.6	5.2	2.9	1.9	1.5	1.3
	大塚地区	307	26.4	2.3	3.6	3.3	1.3	2.6	2.9	2.9
	本富士地区	342	30.7	2.0	4.7	3.8	2.0	2.6	2.0	1.5
	駒込地区	426	31.7	3.3	6.1	4.5	2.6	1.6	3.8	1.6
記入者別	あて名のご本人	567	24.7	2.6	4.6	5.1	2.6	2.6	2.5	2.3
	配偶者（夫、妻）	299	26.4	1.0	4.0	4.3	2.3	2.3	2.7	2.0
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	34.6	2.7	5.4	3.6	2.0	1.4	2.0	1.1
	兄弟姉妹	25	44.0	8.0	8.0	8.0	4.0	4.0	8.0	0.0
	孫	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	31	45.2	12.9	6.5	9.7	0.0	0.0	6.5	3.2
家族構成別	一人暮らし	368	32.9	2.4	6.3	3.5	1.9	1.4	2.7	1.6
	夫婦のみ	392	27.0	2.6	4.1	4.1	3.1	2.0	2.3	3.1
	子どもと二世帯同居	522	28.7	1.9	4.2	4.6	1.7	2.3	2.1	1.3
	親と二世帯同居	33	39.4	3.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
	三世帯以上同居	156	26.3	3.2	3.8	5.1	1.9	1.3	3.2	0.6
	その他	60	36.7	6.7	5.0	6.7	1.7	1.7	3.3	1.7

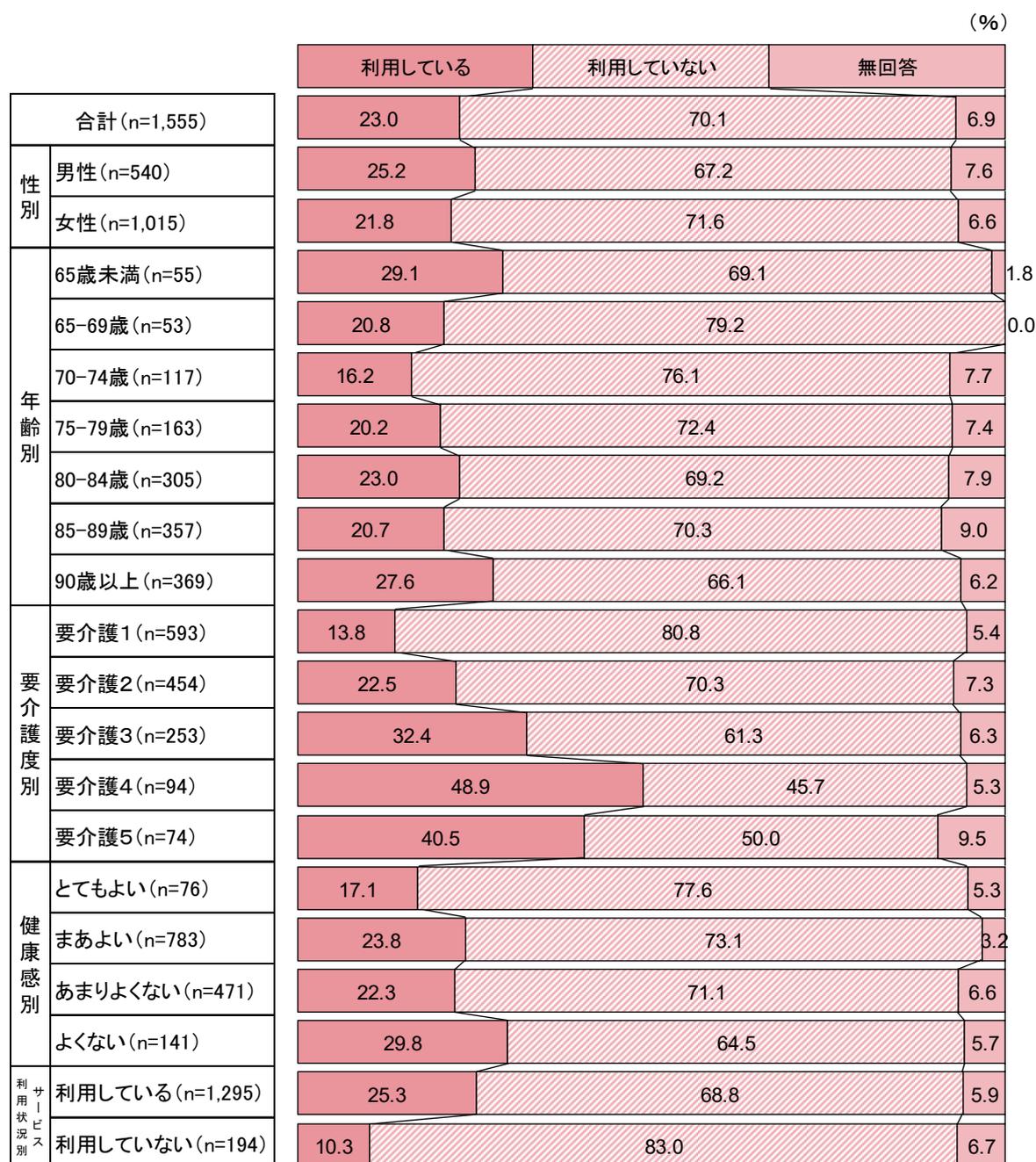
項目		回答者数 (人)	麻酔科	心療内科・精神科	整形外科	皮膚科	歯科	その他	受けていない	無回答
全体		1,555	0.3	2.2	5.4	4.2	14.5	1.7	53.6	8.0
圏域別	富坂地区	480	0.4	1.5	5.6	4.4	15.4	2.1	54.8	6.0
	大塚地区	307	0.7	2.6	3.9	5.5	15.3	0.7	59.6	5.9
	本富士地区	342	0.0	2.0	5.8	2.6	12.9	2.6	50.9	10.2
	駒込地区	426	0.2	2.8	5.9	4.2	14.3	1.2	50.2	9.9
記入者別	あて名のご本人	567	0.5	1.6	6.3	3.9	12.3	1.2	56.1	10.4
	配偶者（夫、妻）	299	0.3	3.3	2.7	3.0	13.7	0.3	54.5	9.4
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	0.2	1.6	4.7	4.8	16.0	3.1	52.8	4.7
	兄弟姉妹	25	0.0	12.0	12.0	8.0	28.0	0.0	44.0	4.0
	孫	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	その他	31	0.0	3.2	9.7	3.2	22.6	3.2	25.8	9.7
家族構成別	一人暮らし	368	0.0	1.9	7.3	3.5	17.1	1.6	50.8	6.5
	夫婦のみ	392	0.5	3.6	4.3	4.1	12.5	0.3	51.8	12.0
	子どもと二世帯同居	522	0.6	1.0	4.4	4.2	15.3	2.7	54.8	7.1
	親と二世帯同居	33	0.0	0.0	9.1	6.1	15.2	9.1	54.5	3.0
	三世帯以上同居	156	0.0	1.9	1.3	4.5	9.6	1.3	62.8	6.4
	その他	60	0.0	5.0	13.3	5.0	16.7	0.0	51.7	5.0

問 29 訪問診療の利用の有無

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

訪問診療の利用状況は「利用している」が23.0%となっています。  
 性別では、男性の利用率が25.2%と、女性よりやや高めとなっています。  
 年齢別にみると、65歳未満が29.1%と最も高くなっています。  
 要介護度別にみると、利用率は要介護1から4へと介護度が上がるにつれて高まり、要介護4では48.9%となっています。  
 介護サービス利用状況別にみると、サービス利用者は25.3%と、未利用者と比べて15ポイント高くなっています。

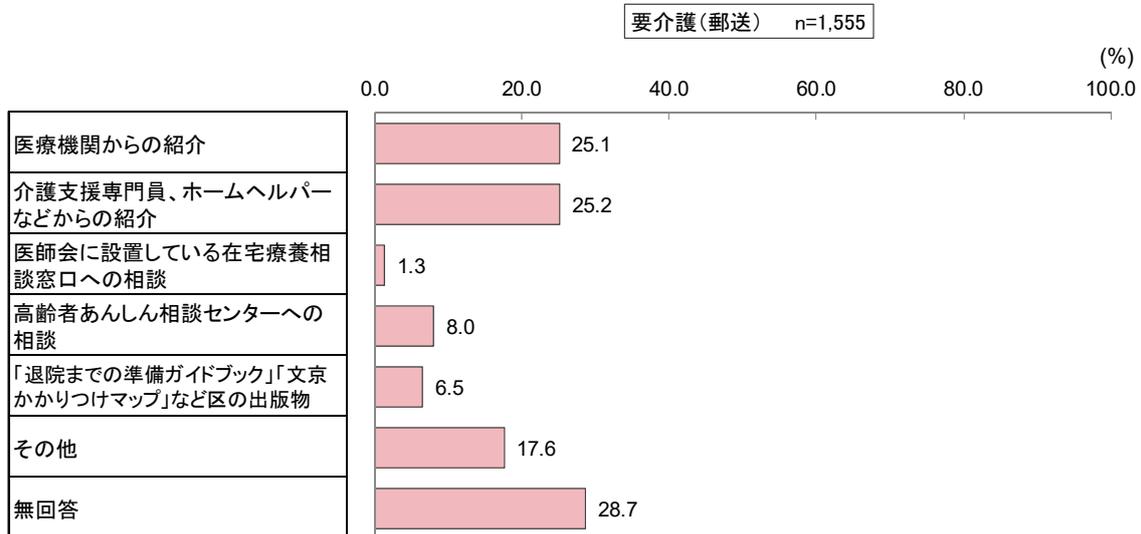
図 5.76 訪問診療の利用の有無/性別/年齢別/要介護度別/健康感別/サービス利用状況別



## 問 30 在宅医療認知の経緯

在宅医療を知ったのは「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」が25.2%、「医療機関からの紹介」が25.1%となっています。

図 5.77 在宅医療認知の経緯（いくつでも可）



在宅医療を知った経緯を性別では、男性は「医療機関からの紹介」（28.9%）が最も高く、女性と比べて6ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、65～84歳は「医療機関からの紹介」が、65歳未満と85歳以上では「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」が最も高くなっています。

要介護度別にみると、「医療機関からの紹介」は要介護1～4にかけて、「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」は要介護1～5に上がるにつれて割合が増加しています。

圏域別にみると、大塚地区は「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」より「医療機関からの紹介」、本富士地区は「医療機関からの紹介」より「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」の方が5ポイントほど高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦のみや子どもと二世帯同居、その他の世帯では「医療機関からの紹介」が、一人暮らし、親と二世帯同居、三世帯以上同居では「介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介」が最も高くなっています。

図 5.78 在宅医療認知の経緯（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/記入者別/家族構成別

単位：%

項目		回答者数（人）	医療機関からの紹介	介護支援専門員、ホームヘルパーなどからの紹介	医師会に設置している在宅療養相談窓口への相談	高齢者あんしん相談センターへの相談	「退院までの準備ガイドブック」「文京かかりつけマップ」など区の出版物	その他	無回答
全体		1,555	25.1	25.2	1.3	8.0	6.5	17.6	28.7
性別	男性	540	28.9	25.0	2.2	8.3	6.9	15.0	28.7
	女性	1,015	23.1	25.3	0.8	7.9	6.3	18.9	28.7
年齢別	65歳未満	55	30.9	32.7	3.6	3.6	5.5	23.6	14.5
	65-69歳	53	35.8	22.6	3.8	0.0	5.7	22.6	17.0
	70-74歳	117	26.5	20.5	0.0	9.4	3.4	15.4	33.3
	75-79歳	163	27.6	24.5	2.5	8.0	8.6	14.7	30.1
	80-84歳	305	25.6	24.6	1.3	8.2	7.2	18.0	30.8
	85-89歳	357	19.9	23.0	1.4	9.5	5.9	16.8	32.2
	90歳以上	369	25.5	27.6	0.5	8.9	6.5	15.7	27.1
要介護度別	要介護1	593	22.1	21.1	0.7	7.6	7.1	20.9	32.2
	要介護2	454	25.6	25.1	2.2	8.1	6.4	17.2	28.6
	要介護3	253	28.1	28.1	1.6	6.7	5.9	15.0	25.3
	要介護4	94	33.0	33.0	0.0	9.6	5.3	16.0	16.0
	要介護5	74	32.4	41.9	1.4	13.5	4.1	10.8	12.2
圏域別	富坂地区	480	27.3	26.7	1.9	5.2	6.5	18.8	27.3
	大塚地区	307	27.4	20.8	1.0	12.7	8.8	17.9	25.1
	本富士地区	342	20.8	25.7	0.6	6.4	5.8	15.5	34.8
	駒込地区	426	24.4	26.3	1.4	9.2	5.4	17.6	27.9
記入者別	あて名のご本人	567	23.5	22.9	1.2	5.8	7.4	17.3	33.2
	配偶者（夫、妻）	299	29.4	24.1	2.7	11.4	7.0	13.4	28.1
	子ども（息子・娘、息子・娘の配偶者）	557	24.8	27.5	0.2	8.1	5.9	21.2	23.7
	兄弟姉妹	25	28.0	40.0	4.0	20.0	0.0	4.0	28.0
	孫	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	その他	31	29.0	38.7	3.2	12.9	6.5	9.7	19.4
家族構成別	一人暮らし	368	23.6	29.9	0.8	5.4	5.7	15.2	29.9
	夫婦のみ	392	28.3	21.9	1.0	8.7	7.9	13.5	31.1
	子どもと二世帯同居	522	23.8	22.8	1.3	9.2	6.7	20.9	28.2
	親と二世帯同居	33	30.3	33.3	6.1	9.1	0.0	18.2	15.2
	三世帯以上同居	156	22.4	28.8	1.3	8.3	7.7	21.8	25.6
	その他	60	31.7	21.7	1.7	6.7	3.3	16.7	28.3

## 8 介護者について

### 問 31 家族や親族から介護を受けているか

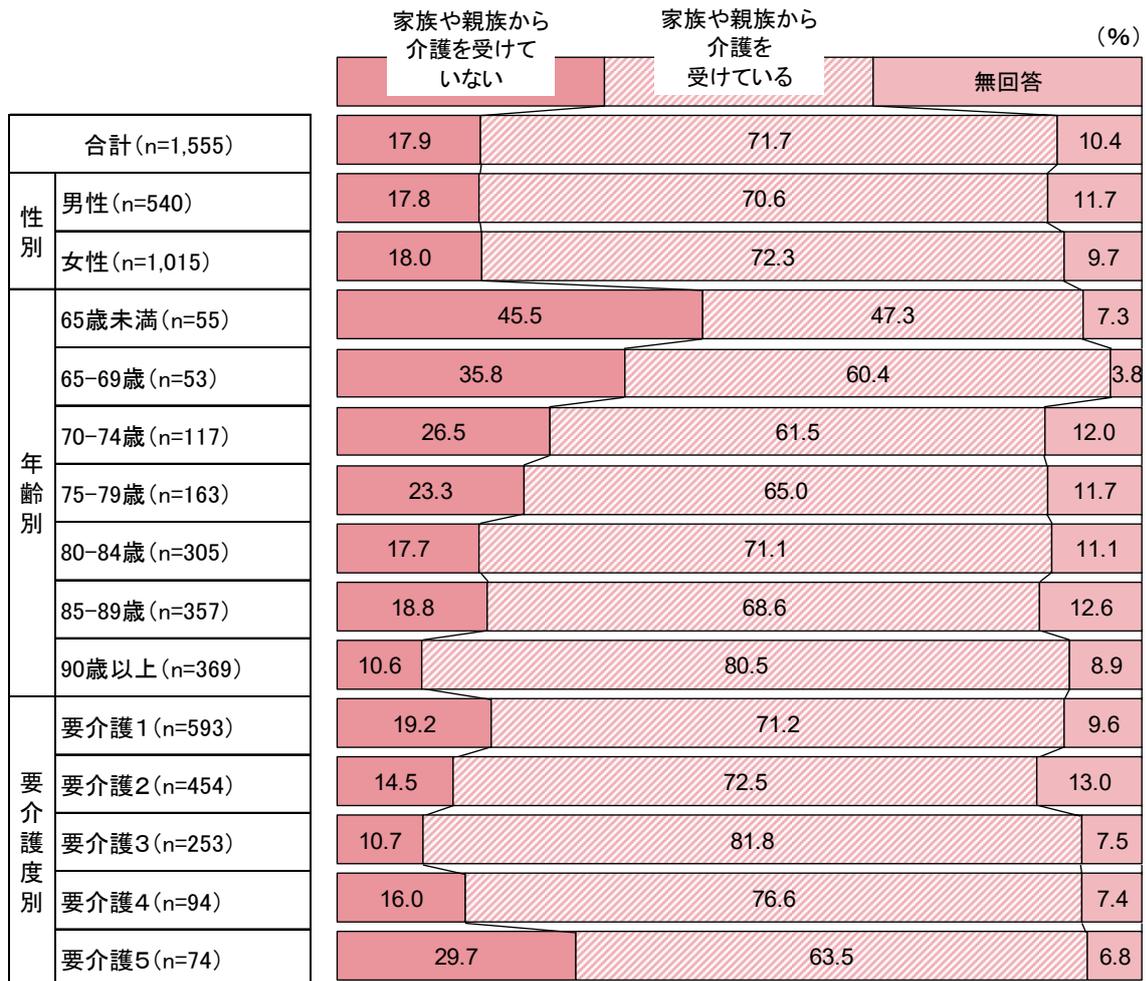
「家族や親族から介護を受けている」割合は71.7%となっています。

性別では、特に目立った違いはみられません。

年齢別では、年齢が上がるにつれて「家族や親族から介護を受けている」割合が増加する傾向にあります。

要介護度別では、要介護1～3に上がるにつれて「家族や親族からの介護を受けている」割合が増加し、要介護3で81.8%と最も高く、以降は減少する傾向となっています。

図 5.79 家族や親族から介護を受けているか/性別/年齢別/要介護度別



問 32 【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の属性

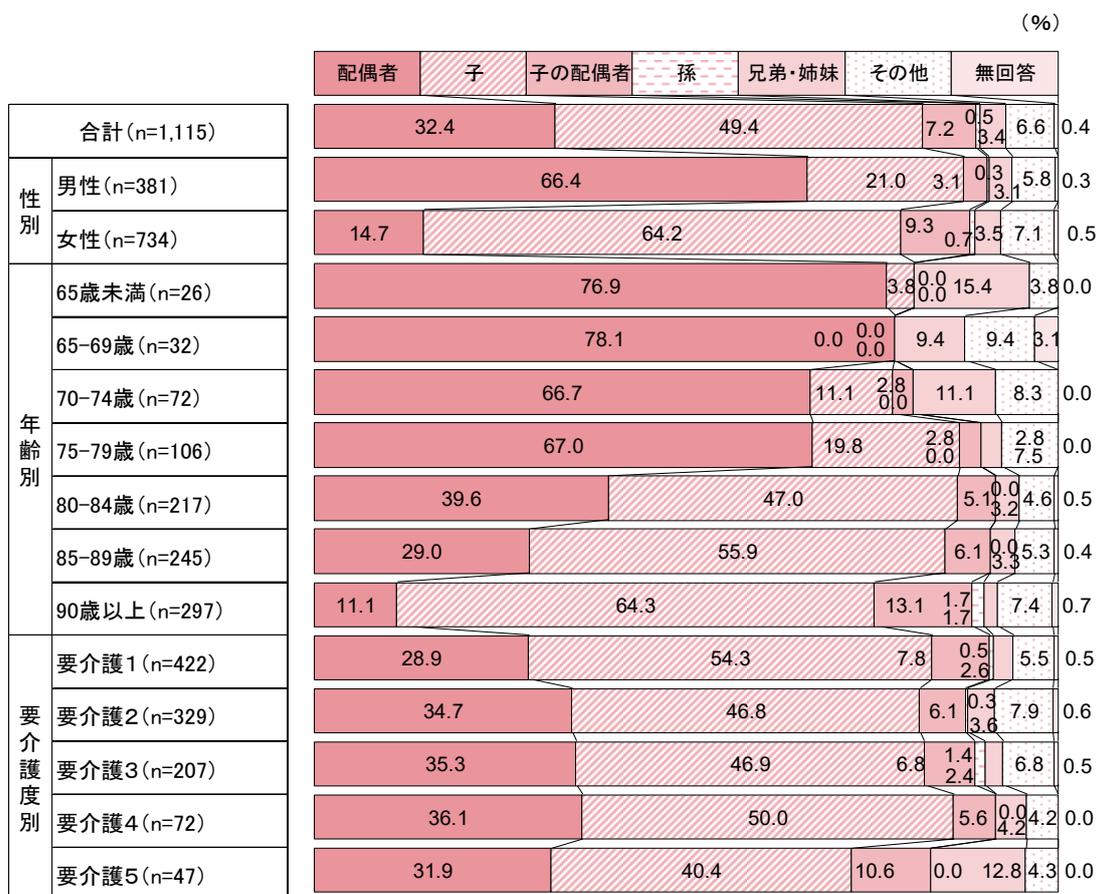
主介護者は「子」が49.4%と最も高く、次いで「配偶者」が32.4%、「子の配偶者」が7.2%となっています。

本人の性別では、男性の場合は「配偶者」（66.4%）が、本人が女性の場合は「子」（64.2%）が最も高くなっています。

本人の年齢別にみると、75歳以上において、年齢が上がるほど「配偶者」の割合が減少し、「子」の割合が増加しています。

要介護度別にみると、要介護5では「子」「配偶者」に次いで、「兄弟・姉妹」が12.8%と他の要介護度と比べて高くなっています。

図 5.80 主介護者の属性/性別/年齢別/要介護度別



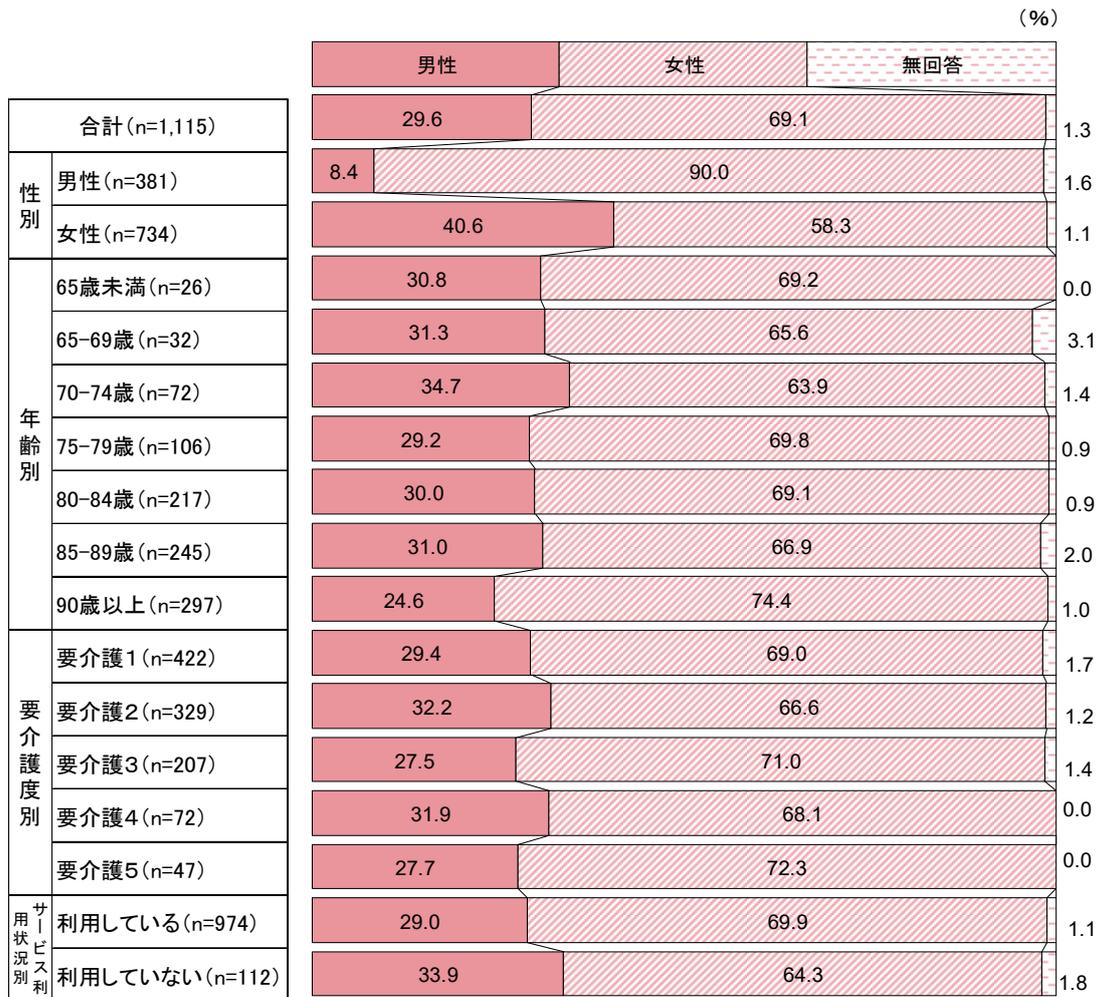
※ その他【抜粋】 甥、姪、ヘルパー

問 33 【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の性別

主介護者の性別は、「男性」が 29.6%、「女性」が 69.1%と女性の割合が高くなっています。

本人の性別では、男性の場合は主介護者が「女性」の割合が 90.0%と大半を占めています。本人が女性の場合は主介護者が「男性」の割合が 40.6%、「女性」は 58.3%となっています。年齢別や要介護度別にみると、特に目立った違いはみられません。

図 5.81 主介護者の性別/性別/年齢別/要介護度別/サービス利用状況別



問 34 【家族や親族から介護を受けている方】主介護者の年齢

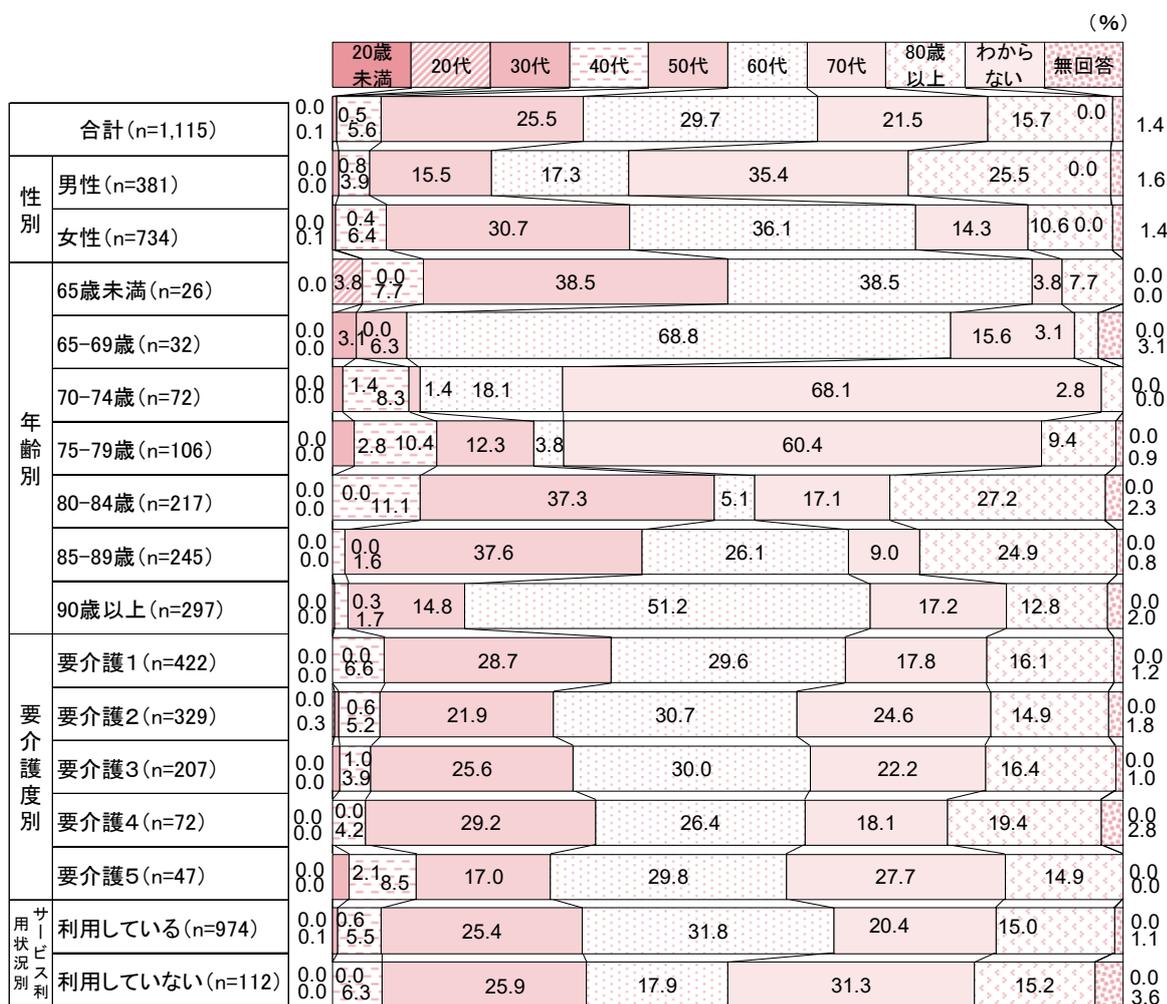
主介護者の年齢は、「60代」が29.7%と最も高く、次いで「50代」が25.5%、「70代」が21.5%となっており、70歳以上が37.2%となっています。

本人の性別では、男性の場合は主介護者が「70歳以上」の割合は60.9%、女性の場合は24.9%と35ポイント以上の差となっています。

本人の年齢別にみると、主介護者が「70歳以上」の割合は、本人が70～79歳の場合で約7割と高くなり、以降は減少しています。

要介護度別にみると、要介護5で主介護者が「70歳以上」の割合が42.6%と他の要介護度と比べてやや高くなっています。

図 5.82 主介護者の年齢/性別/年齢別/要介護度別/サービス利用状況別



問 35 【家族や親族から介護を受けている方】主介護者から受ける介護の頻度

主介護者からの介護の頻度は、「ほぼ毎日」が77.1%、「週に3～4日」が6.6%、「週に1～2日」が8.5%、「週に1日未満」が5.2%となっています。

本人の性別では、男性は女性と比べて「ほぼ毎日」の割合が83.7%と女性と比べて10ポイントほど高くなっています。

本人の年齢別にみると、「ほぼ毎日」の割合は75～79歳で85.8%と最も高くなっています。要介護度別にみると、「ほぼ毎日」の割合は要介護1から3になるにつれて増加し、要介護3では85.5%となっています。家族構成別にみると、一人暮らしでは「ほぼ毎日」は38.4%となっています。

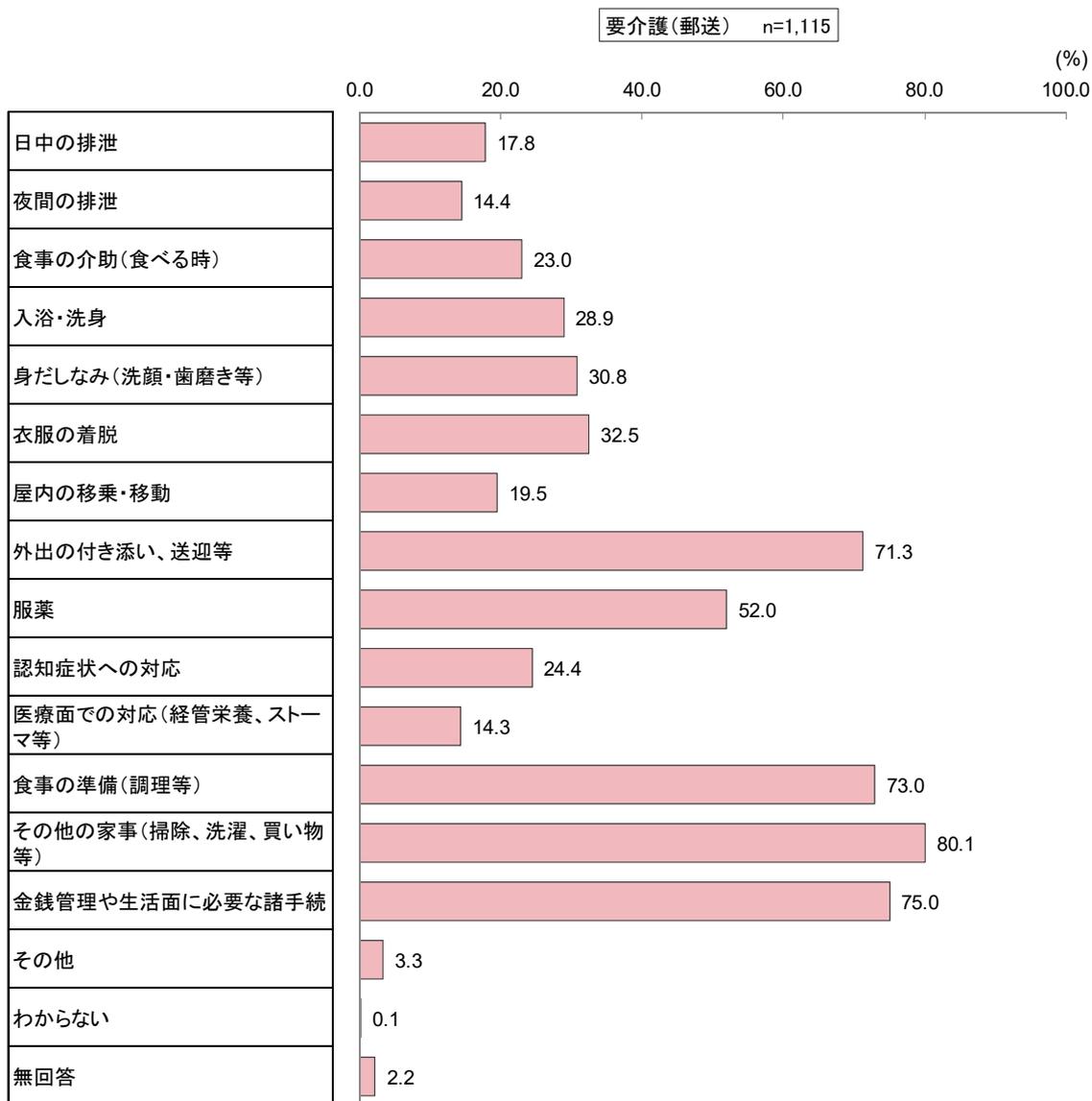
図 5.83 主介護者から受ける介護の頻度/性別/年齢別/要介護度別/圏域別/家族構成別 (%)

		週に1日未満	週に1～2日	週に3～4日	ほぼ毎日	無回答
合計 (n=1,115)		5.2	8.5	6.6	77.1	2.5
性別	男性 (n=381)	2.4	3.9	7.1	83.7	2.9
	女性 (n=734)	6.7	10.9	6.4	73.7	2.3
年齢別	65歳未満 (n=26)	3.8	3.8	11.5	80.8	0.0
	65-69歳 (n=32)	6.3	6.3	6.3	75.0	6.3
	70-74歳 (n=72)	4.2	8.3	4.2	81.9	1.4
	75-79歳 (n=106)	4.7	2.8	3.8	85.8	2.8
	80-84歳 (n=217)	6.0	8.3	4.6	77.9	3.2
	85-89歳 (n=245)	7.3	10.6	7.3	72.7	2.0
	90歳以上 (n=297)	4.7	9.4	7.7	75.4	2.7
要介護度別	要介護1 (n=422)	7.3	10.7	7.8	71.1	3.1
	要介護2 (n=329)	4.6	8.2	6.4	78.4	2.4
	要介護3 (n=207)	2.4	5.8	4.8	85.5	1.4
	要介護4 (n=72)	6.9	9.7	1.4	80.6	1.4
	要介護5 (n=47)	0.0	4.3	8.5	83.0	4.3
圏域別	富坂地区 (n=354)	5.6	7.9	5.1	79.4	2.0
	大塚地区 (n=228)	3.1	7.0	9.6	77.6	2.6
	本富士地区 (n=250)	4.8	9.6	8.0	76.4	1.2
	駒込地区 (n=283)	6.7	9.5	4.9	74.6	4.2
家族構成別	一人暮らし (n=185)	17.3	27.6	15.7	38.4	1.1
	夫婦のみ (n=285)	2.8	3.5	7.0	82.8	3.9
	子どもと二世帯同居 (n=432)	2.8	5.3	2.8	87.7	1.4
	親と二世帯同居 (n=29)	0.0	3.4	6.9	86.2	3.4
	三世帯以上同居 (n=131)	2.3	4.6	4.6	84.7	3.8
	その他 (n=41)	7.3	4.9	7.3	78.0	2.4

問 36 【家族や親族から介護を受けている方】主介護者が行っている介護等

主介護者が行っている介護等は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.1%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続」が75.0%、「食事の準備（調理等）」が73.0%、「外出の付き添い、送迎等」が71.3%となっています。

図 5.84 主介護者が行っている介護等（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 見守り（2件）、ごみ捨て、話し相手（2件）、郵便物のチェック

主介護者が行っている介護等を本人の性別にみると、本人が男性の場合は女性の場合と比べて「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「衣服の着脱」が15ポイント以上高くなっています。

本人の年齢別にみると、本人が65歳未満では「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、65～69歳では「食事の準備（調理等）」、70歳以上は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高くなっています（80～84歳は「金銭管理や生活面に必要な諸手続」も同率）。

要介護度別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」は介護度が上がるにつれて割合が高くなっています。「入浴・洗身」、「服薬」は要介護2～3で割合が高くなっています。

図 5.85 主介護者が行っている介護等（いくつでも可）/性別/年齢別/要介護度別

単位：%

項目		回答者数(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗移動	外出の付き添い送迎等	服薬
全体		1,115	17.8	14.4	23.0	28.9	30.8	32.5	19.5	71.3	52.0
性別	男性	381	22.6	20.2	25.2	32.8	41.2	44.4	21.0	56.2	71.9
	女性	734	15.4	11.4	21.8	26.8	25.3	26.3	18.7	49.9	71.0
年齢別	65歳未満	26	30.8	26.9	34.6	50.0	50.0	46.2	23.1	50.0	61.5
	65-69歳	32	15.6	15.6	15.6	25.0	21.9	40.6	15.6	43.8	71.9
	70-74歳	72	22.2	18.1	27.8	47.2	40.3	47.2	18.1	50.0	77.8
	75-79歳	106	24.5	19.8	23.6	33.0	31.1	32.1	21.7	50.9	68.9
	80-84歳	217	12.9	14.3	18.9	26.7	32.3	31.8	19.4	55.3	69.1
	85-89歳	245	17.6	13.9	20.8	24.9	26.1	29.4	15.5	52.7	71.0
	90歳以上	297	17.8	12.1	23.9	26.6	28.6	29.3	21.2	50.5	70.7
要介護度別	要介護1	422	4.3	3.8	10.4	19.9	17.8	16.8	8.8	46.9	68.0
	要介護2	329	14.6	11.9	20.7	36.8	31.0	37.1	18.5	51.4	77.8
	要介護3	207	33.8	25.6	37.2	36.7	48.3	48.8	28.0	59.9	78.3
	要介護4	72	48.6	36.1	40.3	27.8	44.4	50.0	41.7	62.5	55.6
	要介護5	47	55.3	51.1	70.2	21.3	57.4	57.4	53.2	63.8	51.1

項目		回答者数(人)	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続	その他	わからない	無回答
全体		1,115	24.4	14.3	73.0	80.1	75.0	3.3	0.1	2.2
性別	男性	381	20.5	19.7	76.6	77.4	72.2	2.6	0.0	2.1
	女性	734	26.4	11.6	71.1	81.5	76.4	3.7	0.1	2.3
年齢別	65歳未満	26	3.8	15.4	76.9	76.9	65.4	7.7	0.0	0.0
	65-69歳	32	6.3	9.4	75.0	71.9	59.4	9.4	0.0	0.0
	70-74歳	72	18.1	8.3	73.6	79.2	61.1	1.4	0.0	1.4
	75-79歳	106	21.7	14.2	78.3	81.1	77.4	0.9	0.0	1.9
	80-84歳	217	24.9	17.1	70.0	77.9	77.9	6.0	0.0	3.2
	85-89歳	245	33.1	15.9	70.2	78.8	74.7	2.9	0.0	2.9
	90歳以上	297	20.9	12.5	72.4	80.5	75.8	2.7	0.3	2.4
要介護度別	要介護1	422	25.4	13.7	71.8	79.1	76.1	4.0	0.0	2.8
	要介護2	329	21.3	13.7	72.0	80.9	72.9	2.4	0.0	1.8
	要介護3	207	27.1	13.0	79.7	82.6	79.7	3.4	0.0	1.4
	要介護4	72	26.4	13.9	69.4	76.4	76.4	2.8	1.4	2.8
	要介護5	47	25.5	25.5	74.5	80.9	76.6	2.1	0.0	4.3

主介護者が行っている介護等を主介護者の属性別（本人からみた続柄）にみると、「配偶者/男性」、「子/男性」、「子/女性」、「子の配偶者/女性」、「それ以外/女性」は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高く、「配偶者/女性」は「食事の準備（調理等）」が最も高くなっています。「配偶者/女性」は、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（78.7%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続」（73.5%）が高くなっています。

介護者の年齢別にみると、60代は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（81.0%）とともに「金銭管理や生活面に必要な諸手続」（81.6%）が高くなっています。

図 5.86 主介護者が行っている介護等（いくつでも可）/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目	回答者数（人）	日中の排泄	夜間の排泄	（食事の介助） （食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	移動 屋内の移乗・	外出の付き添い、送迎等	服薬	
全体	1,115	17.8	14.4	23.0	28.9	30.8	32.5	19.5	71.3	52.0	
介護者の属性別	配偶者/男性	110	14.5	14.5	20.9	24.5	22.7	25.5	12.7	61.8	44.5
	配偶者/女性	249	26.9	22.9	28.9	38.2	46.2	50.6	22.1	71.1	63.1
	子/男性	173	11.6	8.1	24.9	15.6	15.6	21.4	18.5	61.3	43.4
	子/女性	373	15.8	12.9	19.3	31.9	30.8	30.6	20.9	78.6	55.2
	子の配偶者/男性	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0
	子の配偶者/女性	78	20.5	11.5	23.1	19.2	30.8	25.6	15.4	79.5	55.1
	それ以外/男性	44	9.1	6.8	15.9	34.1	18.2	20.5	15.9	70.5	31.8
	それ以外/女性	69	21.7	17.4	24.6	27.5	36.2	29.0	23.2	66.7	46.4
介護者の年齢別	20～40代	69	8.7	7.2	18.8	29.0	20.3	15.9	15.9	72.5	40.6
	50代	284	12.3	10.9	16.9	26.1	22.9	22.9	16.2	71.1	50.0
	60代	331	16.9	12.4	23.9	26.9	30.5	33.5	23.9	75.2	54.7
	70代	240	25.8	19.6	28.8	40.4	40.8	45.0	19.6	72.5	53.8
	80歳以上	175	21.7	19.4	25.7	21.7	35.4	35.4	18.9	63.4	54.9

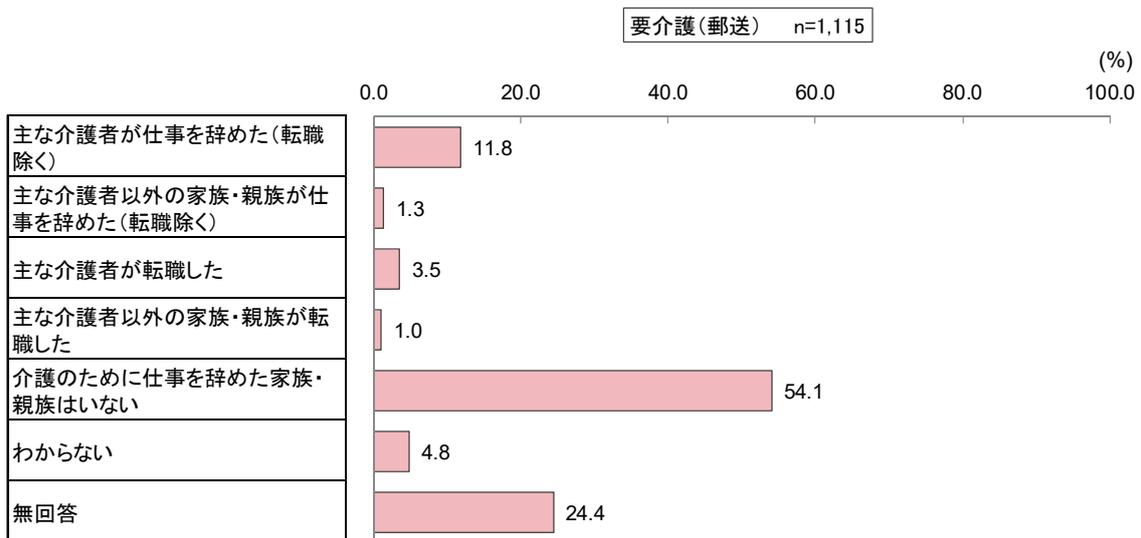
項目	回答者数（人）	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	（食事の準備） （調理等）	（掃除、洗濯、買い物等） その他の家事	諸手続 活面に必要な	金銭管理や生活面に必要な	その他	わからない	無回答
全体	1,115	24.4	14.3	73.0	80.1	75.0	3.3	0.1	2.2	
介護者の属性別	配偶者/男性	110	26.4	7.3	65.5	73.6	64.5	2.7	0.0	4.5
	配偶者/女性	249	20.9	19.7	79.1	78.7	73.5	3.6	0.0	2.4
	子/男性	173	19.7	9.8	63.6	79.8	77.5	1.7	0.6	2.3
	子/女性	373	31.9	13.7	78.0	85.0	83.6	2.7	0.0	1.1
	子の配偶者/男性	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	子の配偶者/女性	78	24.4	15.4	74.4	84.6	71.8	7.7	0.0	1.3
	それ以外/男性	44	15.9	15.9	54.5	65.9	59.1	2.3	0.0	0.0
	それ以外/女性	69	14.5	18.8	76.8	82.6	66.7	5.8	0.0	4.3
介護者の年齢別	20～40代	69	23.2	15.9	69.6	73.9	71.0	10.1	0.0	2.9
	50代	284	27.1	15.5	70.1	82.7	75.7	3.2	0.0	1.8
	60代	331	25.1	13.0	76.4	81.0	81.6	3.3	0.3	1.2
	70代	240	20.8	12.5	77.9	83.3	72.9	1.7	0.0	2.5
	80歳以上	175	25.7	16.6	69.1	74.9	70.3	2.9	0.0	3.4

※ 「介護者の属性別」は、「問 32 介護者の続柄」と「問 33 介護者の性別」の回答を組み合わせたものです。  
 ※ 「介護者の年齢別」は、「問 34 介護者の年齢」の回答です。

問 37 【家族や親族から介護を受けている方】家族や親族の中で介護のために過去に離職・転職した人の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が54.1%であるものの、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は11.8%、「主な介護者が転職した」は3.5%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.3%となっています。

図 5.87 家族や親族の中で介護のために過去に離職・転職した人の有無（いくつでも可）



家族や親族の中の介護のために離職・転職した人の有無を本人の性別でみると、本人が男性の場合、女性の場合とも、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が1割程度となっています。

本人の年齢別にみると、65～69歳で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が21.9%と高くなっています。

要介護度別にみると、要介護度が高くなるにつれて「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合が増加する傾向がみられ、要介護5で21.3%となっています。

図 5.88 家族や親族の中で介護のために過去に離職・転職した人の有無（いくつでも可）  
/性別/年齢別/要介護度別

単位：%

項目		回答者数(人)	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		1,115	11.8	1.3	3.5	1.0	54.1	4.8	24.4
性別	男性	381	10.5	1.0	2.4	0.8	47.5	5.0	33.9
	女性	734	12.5	1.5	4.1	1.1	57.5	4.6	19.5
年齢別	65歳未満	26	7.7	0.0	0.0	0.0	69.2	7.7	15.4
	65-69歳	32	21.9	3.1	3.1	0.0	50.0	6.3	18.8
	70-74歳	72	6.9	1.4	4.2	1.4	50.0	4.2	31.9
	75-79歳	106	10.4	1.9	3.8	1.9	55.7	3.8	22.6
	80-84歳	217	12.0	1.8	4.1	0.9	45.2	6.5	31.3
	85-89歳	245	10.6	0.0	3.7	1.2	55.5	3.7	25.7
	90歳以上	297	10.8	2.0	3.4	1.0	56.2	5.1	22.9
要介護度別	要介護1	422	9.2	0.9	3.1	1.2	56.4	5.2	24.4
	要介護2	329	10.3	1.8	3.3	0.3	54.4	6.1	24.3
	要介護3	207	16.9	1.4	5.3	0.5	48.8	2.9	25.6
	要介護4	72	16.7	2.8	2.8	4.2	55.6	4.2	16.7
	要介護5	47	21.3	0.0	4.3	2.1	55.3	0.0	19.1

家族や親族の中で介護のために離職・転職した人の有無を主介護者の属性別にみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が1割を上回るのは、「子/男性」（16.2%）、「子/女性」（13.9%）、「子の配偶者/女性」（10.3%）、「それ以外/女性」（11.6%）となっています。

主介護者の年齢別にみると、50代、60代で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は15%程度と、これら以外の年代より高くなっています。また、「主な介護者が転職した」は50代で7.7%と高くなっています。

図 5.89 家族や親族の中で介護のために過去に離職・転職した人の有無（いくつでも可）/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体		1,115	11.8	1.3	3.5	1.0	54.1	4.8	24.4	
介護者の属性別	配偶者/男性	110	7.3	2.7	1.8	2.7	51.8	4.5	30.0	
	配偶者/女性	249	9.2	1.2	1.2	0.4	44.6	5.2	39.0	
	子/男性	173	16.2	0.6	5.2	0.6	54.3	4.6	18.5	
	子/女性	373	13.9	1.1	5.4	1.3	60.1	4.3	15.5	
	子の配偶者/男性	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	子の配偶者/女性	78	10.3	3.8	2.6	1.3	60.3	3.8	19.2	
	それ以外/男性	44	9.1	0.0	2.3	0.0	54.5	9.1	25.0	
	それ以外/女性	69	11.6	0.0	1.4	0.0	56.5	4.3	26.1	
介護者の年齢別	20～40代	69	10.1	2.9	4.3	1.4	62.3	4.3	15.9	
	50代	284	14.8	0.0	7.7	1.4	57.0	5.6	14.4	
	60代	331	15.4	1.5	3.6	0.6	55.9	5.1	19.0	
	70代	240	10.0	2.1	0.8	0.8	53.8	3.8	29.2	
	80歳以上	175	4.0	1.7	0.0	1.1	44.0	4.6	45.1	

問 38 【家族や親族から介護を受けている方】

主介護者は本人以外に他の人の介護や子育て等をしているか

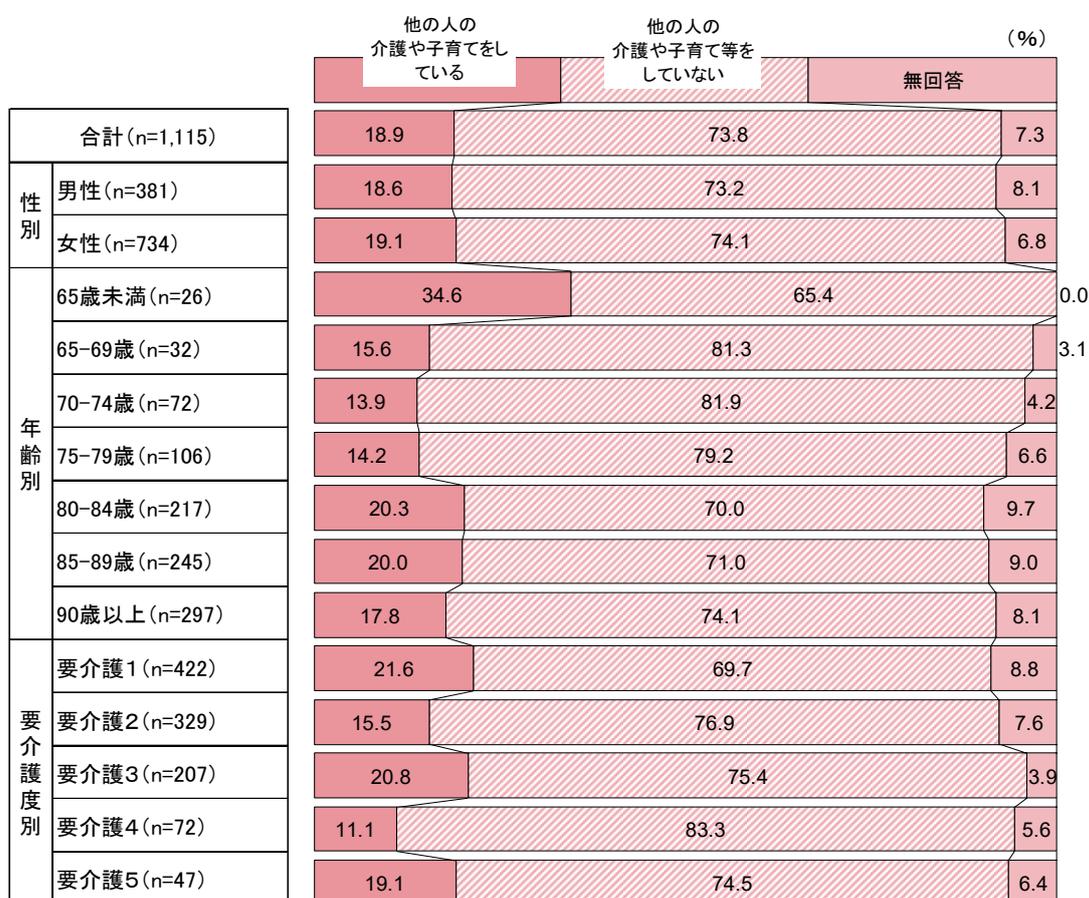
主介護者が調査対象者高齢者本人以外に、「他の人の介護や子育てをしている」は 18.9% となっています。

本人の性別では、特に目立った違いはみられません。

本人の年齢別にみると、65 歳未満の場合で「他の人の介護や子育てをしている」が 34.6% と高くなっています。

要介護度別にみると、「他の人の介護や子育てをしている」はそれぞれ 1~2 割前後となっています。

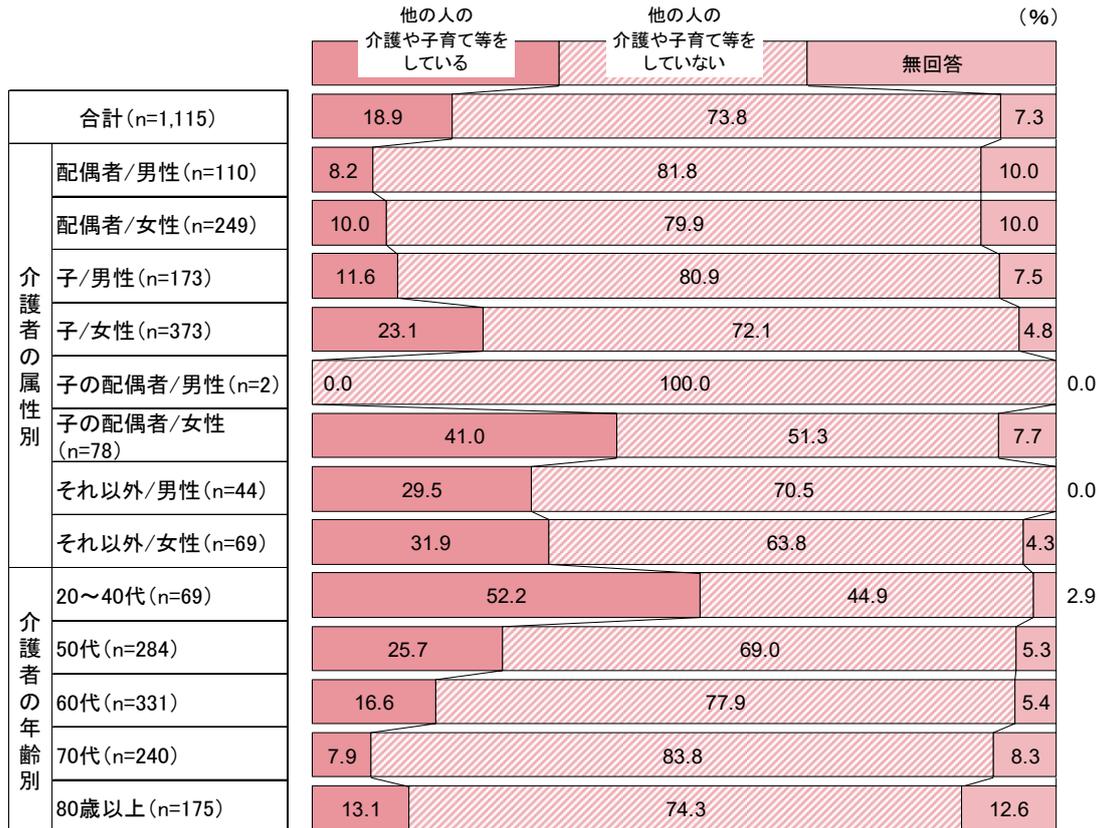
図 5.90 主介護者が行っている本人以外の他の人の介護や子育て等 /性別/年齢別/要介護度別



調査対象者本人以外に主介護者が他の人の介護や育児等を行っているかどうかを、主介護者の属性別にみると、「他の人の介護や子育てをしている」が2割を上回るのは、「子/女性」(23.1%)、「子の配偶者/女性」(41.0%)、「それ以外/男性」(29.5%)、「それ以外/女性」(31.9%)となっています。

主介護者の年齢別にみると、20~40代は「他の人の介護や子育てをしている」が過半数の52.2%となっています。

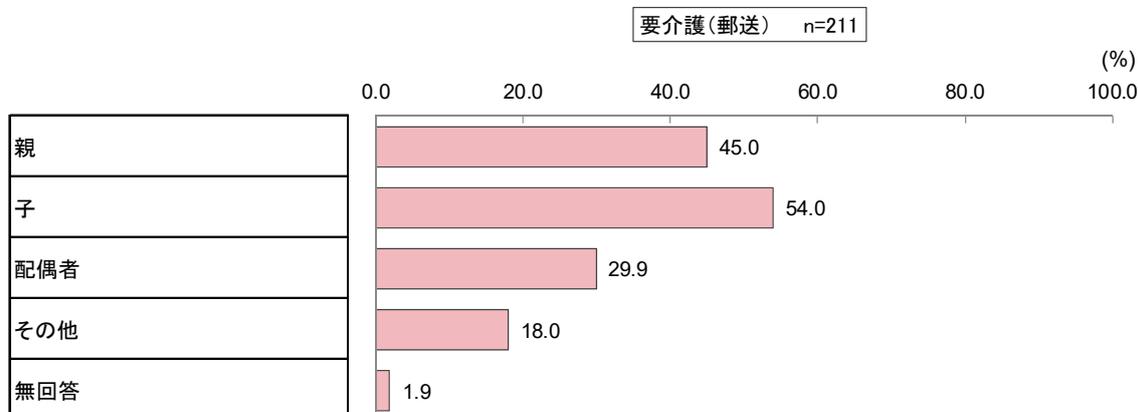
図 5.91 主介護者が行っている本人以外の他の人の介護や子育て等 / 介護者の属性別/介護者の年齢別



問 39 【他の人の介護や子育て等をしている方】  
介護される人及び子ども等全員とその人数

主介護者が調査対象者本人以外に行っている介護や子育ての対象は、「子」が54.0%と最も高く、次いで「親」が45.0%、「配偶者」が29.9%となっています。

図 5.92 介護される人及び子ども等全員とその人数（いくつでも可）



現在介護している調査対象者本人以外に行っている介護や子育ての対象について、主介護者の属性別では、「配偶者/男性」、「配偶者/女性」とも「配偶者」がそれぞれ77.8%、56.0%と高くなっています。主介護者が「子/男性」、「子/女性」の場合は、自身の「子」がそれぞれ65.0%、58.1%と高くなっています。また、「子の配偶者/女性」は「親」が68.8%と最も高く、次いで「子」が50.0%となっています。

主介護者の年齢別にみると、20～40代は「子」が、50代、60代では「親」が、70代以上では「配偶者」が最も高くなっています。

図 5.93 介護される人及び子ども等全員とその人数（いくつでも可）  
/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	親	子	配偶者	その他	無回答
全体		211	45.0	54.0	29.9	18.0	1.9
介護者の属性別	配偶者/男性	9	11.1	66.7	77.8	0.0	0.0
	配偶者/女性	25	24.0	44.0	56.0	28.0	0.0
	子/男性	20	40.0	65.0	25.0	15.0	5.0
	子/女性	86	52.3	58.1	19.8	14.0	1.2
	子の配偶者/男性	0	—	—	—	—	—
	子の配偶者/女性	32	68.8	50.0	12.5	12.5	3.1
	それ以外/男性	13	23.1	23.1	38.5	30.8	7.7
	それ以外/女性	22	36.4	54.5	40.9	36.4	0.0
介護者の年齢別	20～40代	36	30.6	88.9	13.9	16.7	2.8
	50代	73	60.3	53.4	23.3	11.0	4.1
	60代	55	56.4	40.0	20.0	21.8	0.0
	70代	19	26.3	31.6	57.9	42.1	0.0
	80歳以上	23	8.7	47.8	69.6	17.4	0.0

今介護している人以外の対象として「親」をあげた人で、具体的な人数の回答のあった93人の平均人数は1.4人となっています。「子」の場合は平均1.7人、「その他」も平均人数1.7人となっています。

図 5.94 介護される人及び子ども等全員とその人数（平均人数）

項目	回答者数(人)	平均人数
親	93	1.4
子	112	1.7
その他	35	1.7

※ その他【抜粋】孫（17件）、祖母（2件）、妹（3件）など

今介護している人以外の対象として、「親」、「配偶者」、「子」、「その他」をあげた人について、介護や子育てをしている人数の合計をみると、「1人」が38.4%と最も高く、次いで「2人」が29.4%となっています。全体の平均人数は2.1人となっています。

図 5.95 介護される人及び子ども等全員とその人数

単位：%

項目	回答者数(人)	人数別割合								平均人数
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	無回答	
介護される人及び子ども等の人数	211	38.4	29.4	16.1	9.5	1.9	1.4	0.9	2.4	2.1

問 40 主介護者の就労状況

主介護者の就労状況は、「働いていない」が49.4%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が22.5%、「パートタイムで働いている」が19.4%となっています。

要介護度別にみると、要介護1から要介護4は「働いていない」が5割前後ですが、要介護5では「働いていない」が59.6%と高くなっています。要介護5では「フルタイムで働いている」が要介護4以下と比べ低く、8.5%となっています。

家族構成別にみると、夫婦のみ世帯では「働いていない」が69.5%となっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス利用者、サービス未利用者とも「フルタイムで働いている」は2割強ですが、サービス利用者は「パートタイムで働いている」が20.6%と、サービス未利用者より高くなっています。また、サービス利用者は「働いていない」が48.9%ですが、サービス未利用者では53.6%と5ポイントほど高くなっています。

図 5.96 主介護者の就労状況/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

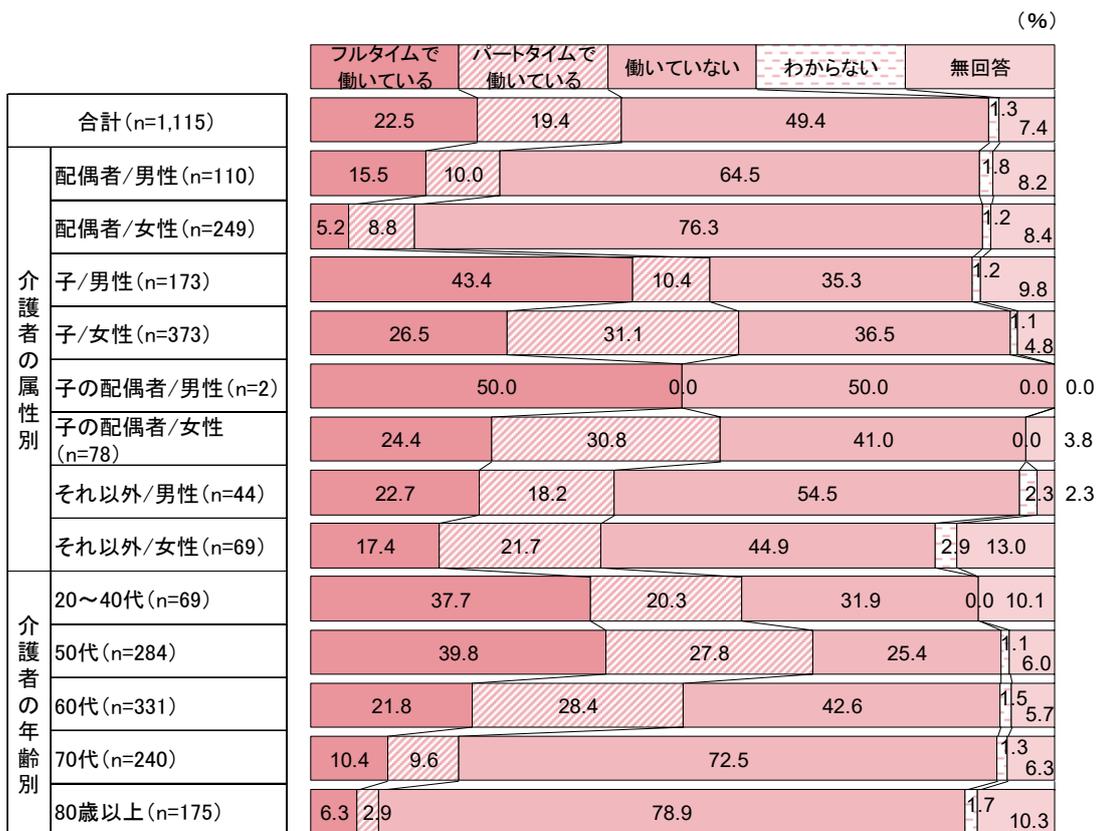
		(%)				
		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	わからない	無回答
合計(n=1,115)		22.5	19.4	49.4	1.3	7.4
要介護度別	要介護1(n=422)	23.2	23.0	46.0	1.7	6.2
	要介護2(n=329)	22.2	17.3	51.4	1.2	7.9
	要介護3(n=207)	21.7	17.4	50.7	1.0	9.2
	要介護4(n=72)	26.4	15.3	51.4	0.0	6.9
	要介護5(n=47)	8.5	21.3	59.6	0.0	10.6
家族構成別	一人暮らし(n=185)	34.1	26.5	30.3	1.6	7.6
	夫婦のみ(n=285)	10.5	9.8	69.5	1.1	9.1
	子どもと二世帯同居(n=432)	25.5	21.3	45.4	1.2	6.7
	親と二世帯同居(n=29)	13.8	20.7	55.2	3.4	6.9
	三世帯以上同居(n=131)	25.2	26.7	42.7	0.0	5.3
	その他(n=41)	17.1	9.8	56.1	4.9	12.2
サービス利用状況別	利用している(n=974)	22.4	20.6	48.9	1.3	6.8
	利用していない(n=112)	22.3	13.4	53.6	0.0	10.7

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択するよう調査票上で説明しています。

主介護者の就労状況をその属性別にみると、「配偶者/男性」は「フルタイムで働いている」が15.5%となっていますが、「配偶者/女性」は「フルタイムで働いている」は5.2%と低く、「働いていない」が76.3%と高くなっています。「子/男性」は「フルタイムで働いている」が43.4%、「子/女性」は「フルタイムで働いている」が26.5%にとどまりますが、「パートタイムで働いている」がそれを上回る31.1%となっています。

主介護者の年齢別にみると、20～40代は「フルタイムで働いている」が37.7%、「パートタイムで働いている」が20.3%となっています。50代はそれより高く、「フルタイムで働いている」が39.8%、「パートタイムで働いている」が27.8%となっています。働いている人の割合は60代以上で低くなる傾向ですが、80歳以上でも「フルタイムで働いている」が6.3%、「パートタイムで働いている」が2.9%となっています。

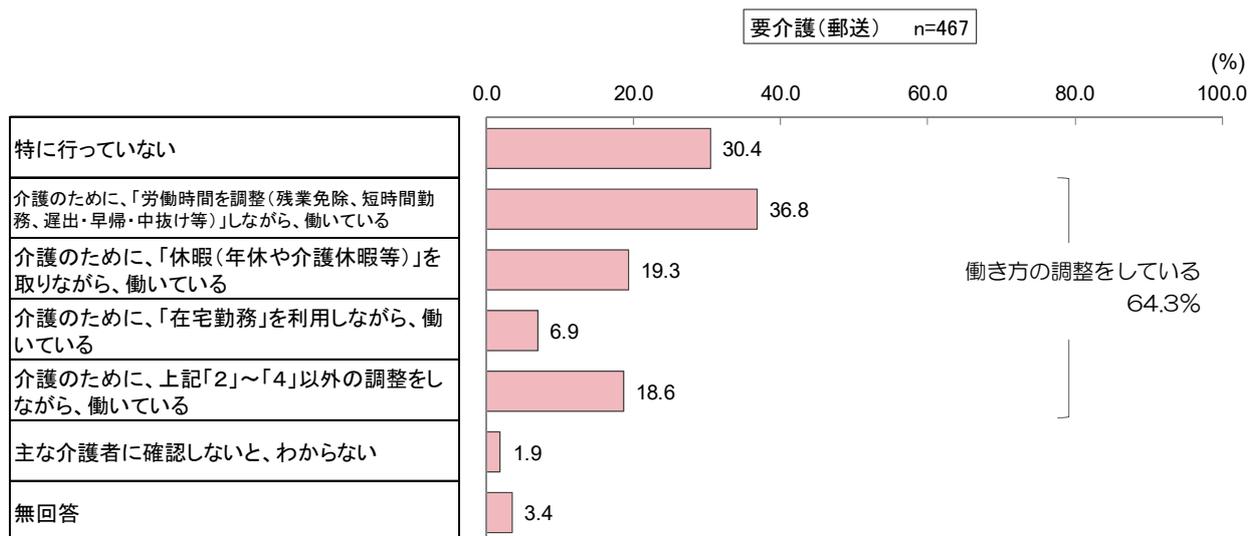
図 5.97 主介護者の就労状況/介護者の属性別/介護者の年齢別



問 41 【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】  
働き方の調整等をしているか

主介護者が介護のために働き方の調整をしている割合は64.3%で、『介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が36.8%と最も高く、次いで『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が19.3%となっています。

図 5.98 働き方の調整等をしているか（いくつでも可）



※ 「働き方についての調整をしているか」＝100%－「特に行っていない」－「主な介護者に確認しないと、わからない」－「無回答」

主介護者の働き方の調整状況を要介護度別にみると、要介護1から要介護5とも『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が最も高く、要介護2以上では『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』も2割以上となっています。

家族構成別にみると、一人暮らしでは「特に行っていない」が45.5%と高くなっています。夫婦のみ世帯、子どもと二世帯同居では『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が4割強、『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が2割強となっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス未利用者よりサービス利用者で、『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』、『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が5ポイント以上高くなっています。

図 5.99 働き方の調整等をしているか（いくつでも可）  
/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

単位：%

項目	回答者数(人)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記「1」～「4」以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	467	30.4	36.8	19.3	6.9	18.6	1.9	3.4	
要介護度別	要介護1	195	35.9	36.4	12.8	3.6	15.9	3.1	3.1
	要介護2	130	30.0	36.2	21.5	9.2	16.2	2.3	5.4
	要介護3	81	22.2	35.8	28.4	9.9	29.6	0.0	0.0
	要介護4	30	23.3	40.0	23.3	6.7	16.7	0.0	6.7
	要介護5	14	21.4	50.0	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0
家族構成別	一人暮らし	112	45.5	25.0	13.4	3.6	18.8	1.8	2.7
	夫婦のみ	58	20.7	41.4	22.4	12.1	15.5	1.7	8.6
	子どもと二世帯同居	202	23.3	44.1	22.8	5.9	19.3	2.5	2.5
	親と二世帯同居	10	30.0	40.0	10.0	10.0	30.0	0.0	10.0
	三世帯以上同居	68	30.9	33.8	17.6	10.3	19.1	0.0	2.9
	その他	11	45.5	27.3	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0
サービス利用別	利用している	419	30.5	37.9	20.0	6.7	18.9	2.1	2.6
	利用していない	40	27.5	32.5	12.5	10.0	17.5	0.0	5.0

主介護者の働き方の調整状況をその属性別にみると、「配偶者/男性」は「特に行っていない」が28.6%ですが、「配偶者/女性」は「特に行っていない」は20.0%と低く、『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が40.0%、『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が20.0%となっています。「子/男性」の場合は、「配偶者/男性」より「特に行っていない」は高く、45.2%となっています。「子/女性」の場合は「配偶者/女性」と傾向が似ており、「特に行っていない」は22.8%、『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が43.7%、『介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている』が23.7%となっています。「子の配偶者/女性」では、「特に行っていない」は39.5%と、「配偶者/女性」、「子/女性」と比べ高くなっています。

主介護者の年齢別にみると、20～40代は「特に行っていない」が32.5%と高くなっていますが、50代以上は『介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている』が各年代とも最も高くなっています。

図 5.100 働き方の調整等をしているか。（いくつでも可）/介護者の属性別/介護者の年齢別

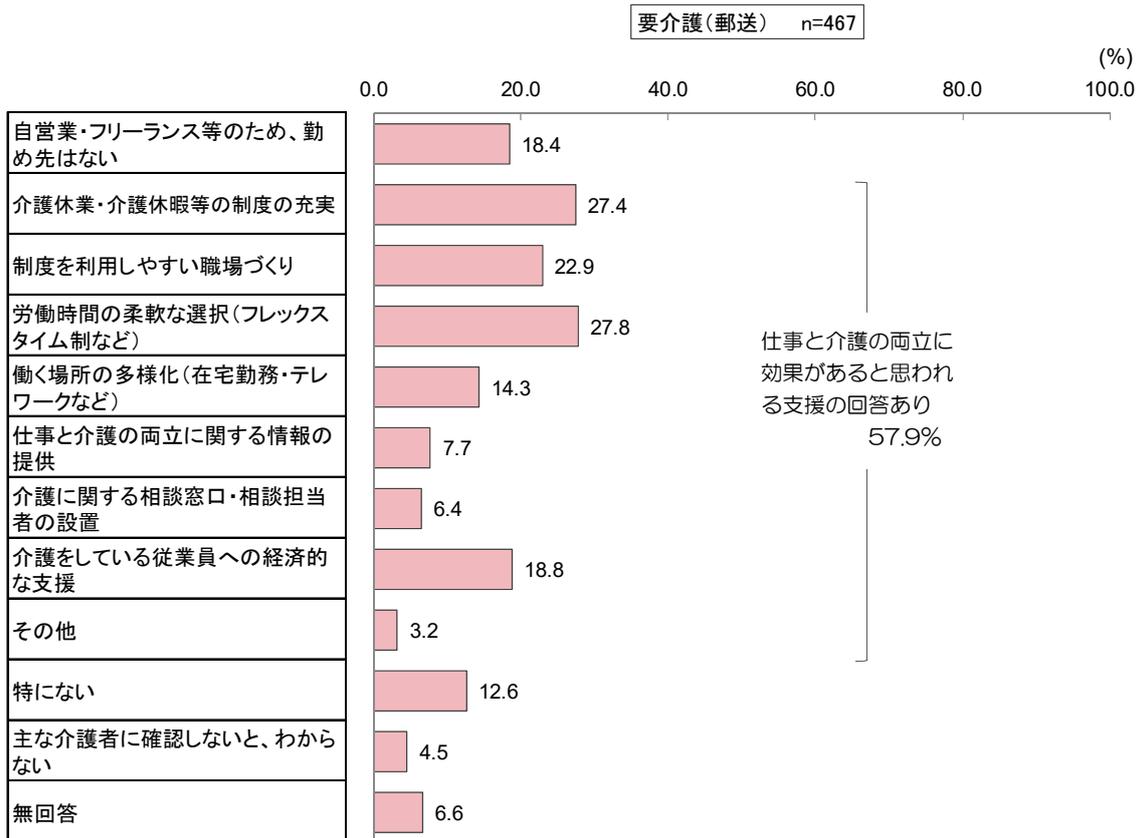
単位：%

項目	回答者数（人）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記「2」「3」「4」以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	467	30.4	36.8	19.3	6.9	18.6	1.9	3.4	
介護者の属性別	配偶者/男性	28	28.6	42.9	10.7	10.7	17.9	0.0	7.1
	配偶者/女性	35	20.0	40.0	20.0	11.4	11.4	5.7	11.4
	子/男性	93	45.2	25.8	15.1	10.8	16.1	2.2	2.2
	子/女性	215	22.8	43.7	23.7	5.1	20.9	1.9	1.4
	子の配偶者/男性	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子の配偶者/女性	43	39.5	23.3	11.6	9.3	18.6	0.0	7.0
	それ以外/男性	18	44.4	27.8	27.8	0.0	11.1	0.0	0.0
	それ以外/女性	27	37.0	33.3	11.1	0.0	25.9	0.0	3.7
介護者の年齢別	20～40代	40	32.5	30.0	15.0	15.0	12.5	0.0	5.0
	50代	192	31.3	38.0	22.9	6.3	18.8	2.6	2.6
	60代	166	30.7	37.3	19.9	5.4	19.9	0.6	1.8
	70代	48	25.0	39.6	10.4	8.3	18.8	2.1	8.3
	80歳以上	16	25.0	31.3	6.3	6.3	18.8	12.5	6.3

問 42 【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】  
仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援

勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があるかたずねたところ、具体的な支援を回答した介護者の割合は57.9%で、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.8%と最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が27.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.9%となっています。

図 5.101 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援（3つまで可）



※ 「仕事と介護の両立に効果があると思われる支援の回答あり」=100%－「自営業・フリーランスのため、勤め先はない」－「特にない」－「主な介護者に確認しないと、わからない」－「無回答」

あると効果的と主介護者が考える勤務先からの支援を要介護度別にみると、要介護1、要介護2は「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」がそれぞれ27.2%、30.0%と最も高く、要介護3では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.9%と最も高くなっています。

家族構成別にみると、一人暮らしでは「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.4%と最も高く、夫婦のみ、子どもと二世帯同居では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く、3割以上となっています。

図 5.102 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援（3つまで可）  
/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

単位：%

項目	回答者数(人)	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないとわからない	無回答	
全体	467	18.4	27.4	22.9	27.8	14.3	7.7	6.4	18.8	3.2	12.6	4.5	6.6	
要介護度別	要介護1	195	10.8	26.2	24.1	27.2	14.4	8.2	6.7	22.1	3.6	13.8	4.6	9.7
	要介護2	130	25.4	27.7	19.2	30.0	12.3	5.4	5.4	16.2	1.5	11.5	6.9	3.8
	要介護3	81	21.0	30.9	24.7	24.7	16.0	7.4	6.2	16.0	7.4	11.1	1.2	6.2
	要介護4	30	30.0	16.7	23.3	26.7	16.7	10.0	10.0	16.7	0.0	10.0	0.0	6.7
	要介護5	14	14.3	28.6	14.3	42.9	14.3	7.1	7.1	21.4	0.0	21.4	7.1	0.0
家族構成別	一人暮らし	112	16.1	17.9	16.1	21.4	10.7	9.8	9.8	17.0	3.6	14.3	3.6	9.8
	夫婦のみ	58	24.1	31.0	13.8	24.1	15.5	6.9	6.9	12.1	8.6	10.3	5.2	0.0
	子どもと二世帯同居	202	15.8	35.6	31.2	34.2	15.3	5.9	5.4	24.8	2.5	10.4	4.5	5.4
	親と二世帯同居	10	30.0	30.0	40.0	40.0	30.0	20.0	20.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	三世帯以上同居	68	23.5	17.6	19.1	26.5	17.6	8.8	2.9	10.3	1.5	14.7	2.9	8.8
	その他	11	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	36.4	9.1	18.2
サービス利用別	利用している	419	17.4	28.9	24.3	28.9	14.6	7.9	5.7	18.9	3.6	11.9	4.8	6.7
	利用していない	40	27.5	15.0	12.5	20.0	15.0	7.5	10.0	20.0	0.0	20.0	2.5	2.5

あると効果的と主介護者が考える支援をその属性別にみると、「配偶者/男性」は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（35.7%）が最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（21.4%）となっています。「配偶者/女性」は「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が34.3%と、「配偶者/男性」に比べ13ポイントほど高くなっています。「子/男性」、「子/女性」は、「介護をしている従業員への経済的な支援」が「配偶者/男性」、「配偶者/女性」より高く2割を上回っています。

主介護者の年齢別にみると、20～40代は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」（ともに25.0%）が、50代は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（31.8%）が、60代は「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（33.1%）が最も高くなっています。

図 5.103 仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援（3つまで可）  
/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目	回答者数（人）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	467	18.4	27.4	22.9	27.8	14.3	7.7	6.4	18.8	3.2	12.6	4.5	6.6	
介護者の属性別	配偶者/男性	28	21.4	35.7	17.9	21.4	17.9	10.7	10.7	7.1	7.1	25.0	0.0	0.0
	配偶者/女性	35	28.6	22.9	17.1	34.3	14.3	5.7	5.7	11.4	2.9	8.6	5.7	8.6
	子/男性	93	29.0	23.7	24.7	22.6	9.7	6.5	9.7	22.6	1.1	12.9	3.2	3.2
	子/女性	215	11.6	32.6	26.0	31.2	17.2	9.3	5.1	23.3	2.3	11.2	5.1	6.5
	子の配偶者/男性	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子の配偶者/女性	43	14.0	18.6	18.6	32.6	11.6	7.0	11.6	9.3	9.3	7.0	4.7	7.0
	それ以外/男性	18	27.8	22.2	11.1	27.8	11.1	11.1	0.0	16.7	0.0	11.1	5.6	16.7
	それ以外/女性	27	22.2	14.8	18.5	7.4	7.4	0.0	0.0	14.8	3.7	29.6	3.7	14.8
介護者の年齢別	20～40代	40	22.5	25.0	25.0	17.5	15.0	12.5	5.0	22.5	2.5	10.0	10.0	7.5
	50代	192	15.1	31.8	24.5	29.7	16.1	9.9	8.3	24.0	2.6	8.3	4.2	4.7
	60代	166	16.9	27.1	25.9	33.1	12.7	4.2	4.2	15.1	3.6	16.9	3.6	7.2
	70代	48	27.1	16.7	12.5	16.7	12.5	10.4	8.3	12.5	4.2	18.8	4.2	6.3
	80歳以上	16	37.5	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8

問 43 【「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方】  
 今後も働きながら介護を続けられるか

フルタイムで働いている人、パートタイムで働いている人の就労継続可否意識は、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が12.4%、「わからない」が11.6%となっています。

要介護度別にみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせると、要介護1は17.4%、要介護2は19.2%と2割弱ですが、要介護3は28.4%、要介護4は26.7%、要介護5は28.6%と高くなっています。

家族構成別にみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた割合には、「その他」を除き大きな違いはありません。また、一人暮らしでは「問題なく、続けていける」が21.4%と他の家族構成に比べ高くなっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス利用者より未利用者で、「続けていくのはやや難しい」（17.5%）、「続けていくのは、かなり難しい」（12.5%）と高くなっています。

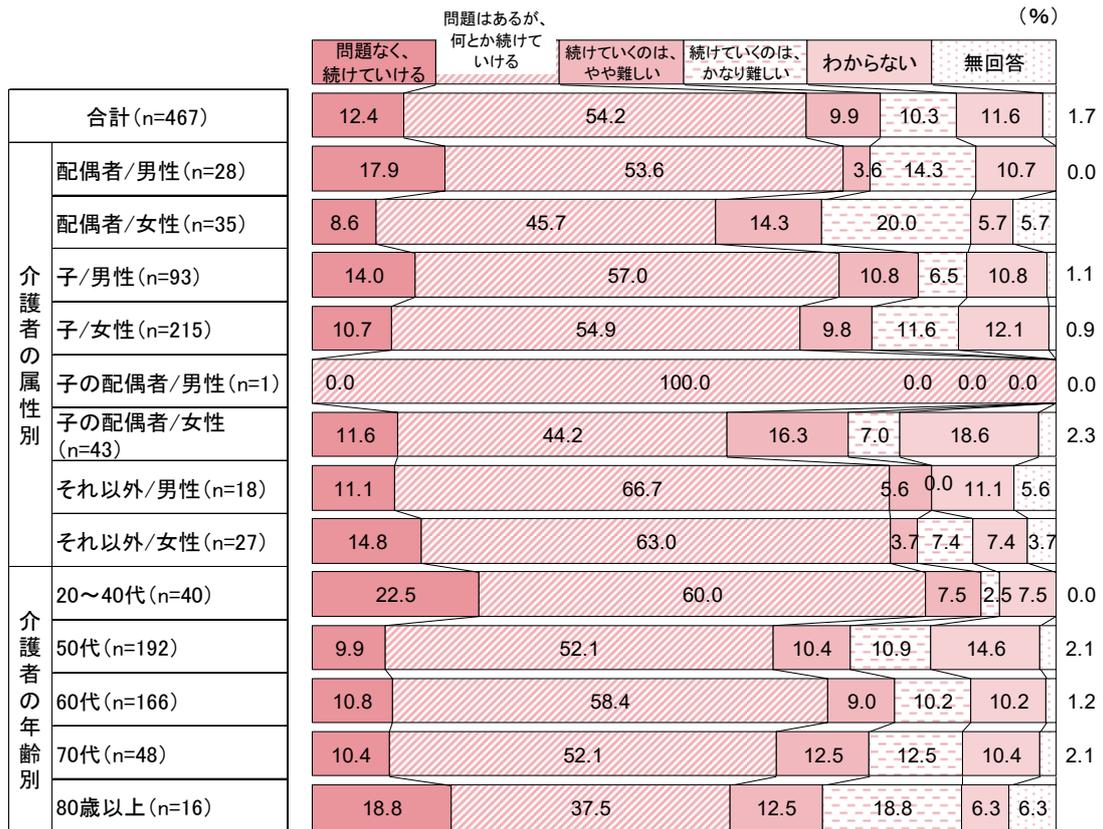
図 5.104 今後も働きながら介護を続けられるか/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

		（％）						
		問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	わからない	無回答	
合計 (n=467)		12.4	54.2	9.9	10.3	11.6	1.7	
要 介 護 度 別	要介護1 (n=195)	14.4	51.3	9.2	8.2	15.4	1.5	
	要介護2 (n=130)	10.0	60.0	6.9	12.3	9.2	1.5	
	要介護3 (n=81)	11.1	48.1	14.8	13.6	9.9	2.5	
	要介護4 (n=30)	10.0	56.7	10.0	16.7	6.7	0.0	
	要介護5 (n=14)	21.4	42.9	28.6	0.0	7.1	0.0	
家 族 構 成 別	一人暮らし (n=112)	21.4	45.5	8.9	8.9	12.5	2.7	
	夫婦のみ (n=58)	10.3	56.9	5.2	12.1	12.1	3.4	
	子どもと二世帯同居 (n=202)	8.4	57.4	11.4	10.4	11.9	0.5	
	親と二世帯同居 (n=10)	0.0	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	
	三世帯以上同居 (n=68)	13.2	55.9	8.8	10.3	10.3	1.5	
その他 (n=11)	0.0	36.4	18.2	18.2	18.2	9.1		
サ ー ビ ス 利 用 状 況 別	利用している (n=419)	12.4	54.4	9.3	10.3	11.9	1.7	
	利用していない (n=40)	10.0	52.5	17.5	12.5	7.5	0.0	

介護者の就労継続の可否意識をその属性別みると、男性に比べ女性で就労継続が難しいと考える人の割合が高くなっており、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせると、「配偶者/女性」は34.3%、「子/女性」は21.4%、「子の配偶者/女性」は23.3%となっています。

主介護者の年齢別にみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせると、20～40代は10.0%ですが、50代以上では高くなり、50代は21.3%、60代は19.2%、70代は25.0%、80歳以上は31.3%となっています。

図 5.105 今後も働きながら介護を続けられるか/介護者の属性別/介護者の年齢別



問 44 【「働いていない」と回答した方】ふだんの外出状況

主介護者で現在働いていない人に外出頻度をたずねたところ、外出する人の割合は68.5%で、「ほとんど毎日外出する」が25.2%と最も高く、次いで「週に3～4日は外出する」が23.0%、「人付き合いがあり、ときどき外出する」が20.3%となっています。その反面、「人付き合いも無く、ほとんど外出しない」が12.0%となっています。

要介護度別にみると、要介護度1から要介護3では外出する人の割合はおおむね同じですが、要介護度1から要介護度3にかけて「週に3日～4日は外出する」が減り「人付き合いがあり、ときどき外出する」が増えています。また、いずれの要介護度においても、「人付き合いも無く、ほとんど外出しない」が約1割となっています。

家族構成別にみると、外出する人の割合は、一人暮らしや夫婦のみより子どもと二世世代同居で低く、63.8%となっています。

介護サービスの利用状況別にみると、特に大きな差はみられません。

図 5.106 ふだんの外出状況/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

(%)

		ほとんど毎日 外出する	週に3～4日は 外出する	人付き合いがあり、 ときどき外出する	人付き合いも無く、 ほとんど外出しない	無回答
合計 (n=551)		25.2	23.0	20.3	12.0	19.4
要 介 護 度 別	要介護1 (n=194)	24.7	28.4	17.0	10.3	19.6
	要介護2 (n=169)	24.9	23.1	22.5	12.4	17.2
	要介護3 (n=105)	26.7	18.1	25.7	12.4	17.1
	要介護4 (n=37)	24.3	16.2	16.2	13.5	29.7
	要介護5 (n=28)	28.6	28.6	14.3	10.7	17.9
家 族 構 成 別	一人暮らし (n=56)	41.1	26.8	16.1	0.0	16.1
	夫婦のみ (n=198)	21.7	23.2	22.7	12.6	19.7
	子どもと二世世代同居 (n=196)	23.5	20.9	19.4	16.3	19.9
	親と二世世代同居 (n=16)	18.8	31.3	18.8	12.5	18.8
	三世代以上同居 (n=56)	25.0	23.2	26.8	8.9	16.1
	その他 (n=23)	30.4	26.1	8.7	4.3	30.4
サ ー ビ ス 利 用 状 況 別	利用している (n=476)	25.2	23.1	20.4	11.6	19.7
	利用していない (n=60)	26.7	20.0	21.7	13.3	18.3

主介護者で現在働いていない人のふだんの外出状況をその属性別にみると、外出する人の割合は、「配偶者/男性」は73.2%と、「配偶者/女性」（64.2%）より高くなっています。「子/男性」の場合は59.1%と、「子/女性」（72.8%）より低くなっています。「子の配偶者/女性」は「ほとんど毎日外出する」、「週に3～4日は外出する」は他の属性の人と同様の割合ですが、「人付き合いがあり、ときどき外出する」が37.5%と高くなっています。

主介護者の年齢別にみると、外出する人の割合は各年代とも65%～70%程度で、顕著な違いはみられません。ただし、「ほとんど毎日外出する」は20～40代で36.4%ですが、50代以上は各年代とも20%台にとどまっています。

図 5.107 ふだんの外出状況/介護者の属性別/介護者の年齢別

(%)

		ほとんど毎日 外出する	週に3～4日は 外出する	人付き合いがあり、 ときどき外出する	人付き合いも無く、 ほとんど外出しない	無回答
合計 (n=551)		25.2	23.0	20.3	12.0	19.4
介護者の 属性別	配偶者/男性 (n=71)	22.5	31.0	19.7	12.7	14.1
	配偶者/女性 (n=190)	22.1	21.6	20.5	13.7	22.1
	子/男性 (n=61)	23.0	23.0	13.1	13.1	27.9
	子/女性 (n=136)	30.9	20.6	21.3	8.8	18.4
	子の配偶者/男性 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	子の配偶者/女性 (n=32)	21.9	25.0	37.5	6.3	9.4
	それ以外/男性 (n=24)	33.3	16.7	20.8	12.5	16.7
	それ以外/女性 (n=31)	29.0	25.8	16.1	9.7	19.4
	それ以外/その他 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護者の 年齢別	20～40代 (n=22)	36.4	13.6	18.2	22.7	9.1
	50代 (n=72)	22.2	19.4	30.6	11.1	16.7
	60代 (n=141)	27.7	21.3	18.4	7.1	25.5
	70代 (n=174)	24.1	24.1	22.4	11.5	17.8
	80代 (n=138)	24.6	26.8	14.5	15.2	18.8
	80歳以上 (n=138)	24.6	26.8	14.5	15.2	18.8

問 45 【働いておらず、ふだんから外出すると回答した方】

人付き合いもなく、ほとんど外出しない状態になった経験の有無（6か月以上）

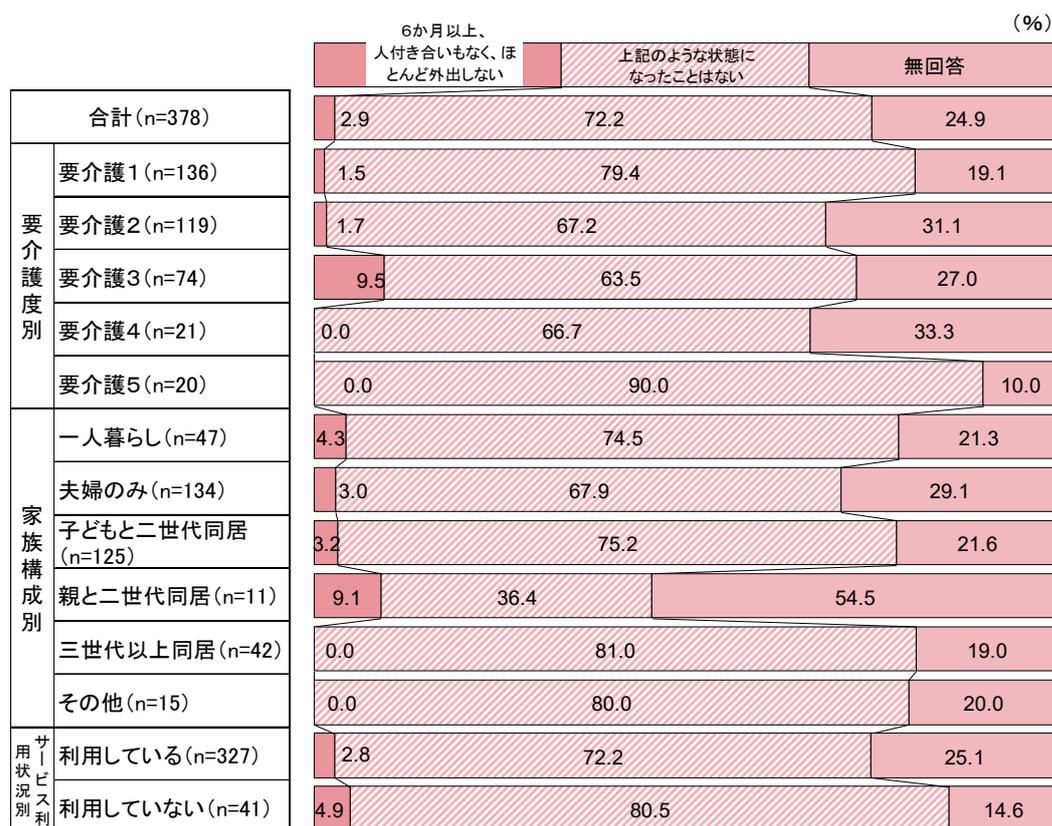
前問で「ほとんど毎日外出する」「週に3～4日は外出する」「人付き合いがあり、ときどき外出する」のいずれかに回答した主介護者に、今までに6か月以上、人付き合いや外出がなかった経験の有無をたずねたところ、「上記のような状態になったことはない」が72.2%を占めるものの、「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人は2.9%となっています。

要介護度別にみると、要介護3で「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人は9.5%と高くなっています。

家族構成別にみると、親と二世帯同居で「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人は9.1%となっています。

介護サービス利用状況別にみると、サービス未利用者で「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人は4.9%となっています。

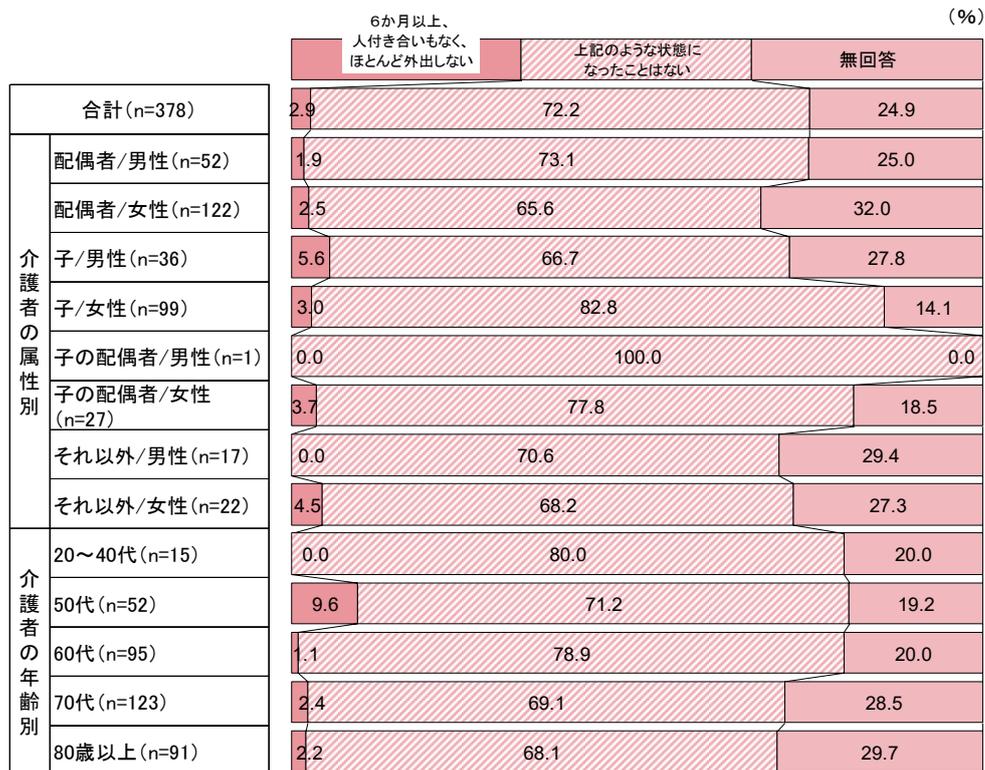
図 5.108 人付き合いもなく、ほとんど外出しない状態になった経験の有無  
/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別



外出する機会はある主介護者の、6か月以上にわたる人付き合いが希薄な時期があった経験の有無をその属性別にみると、「配偶者/男性」は「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人が1.9%、「配偶者/女性」は2.5%となっています。また、「子/男性」では5.6%、「子/女性」では3.0%、「子の配偶者/女性」では3.7%となっています。

主介護者の年齢別にみると、50代で「6か月以上、人付き合いもなく、ほとんど外出しない」ことがあった人が9.6%と、他の年代に比べ高くなっています。

図 5.109 人付き合いもなく、ほとんど外出しない状態になった経験の有無 / 介護者の属性別/介護者の年齢別



問 46 【人付き合いもなく、ほとんど外出しないと回答した方】

人付き合いがなく、ほとんど外出しない状態になったきっかけやそうした状態から脱するうえで役立ったこと

自由記述で回答を得たところ、「そうした状態になったきっかけ」や「脱するうえで役立ったこと」として、次のような意見がありました。

<6か月以上、人付き合いもなくほとんど外出しない状態になったきっかけ>

- ・入院中だったから。
- ・腰痛のため、通院以外の外出はしなかった。
- ・認知症ではないのですが、心臓、腎臓などの疾患が急変したらと思うとなかなか外には出かけることができない。また、長時間外出すると次の日には必ず寝込んでしまう。

<脱するうえで役立ったこと>

- ・これではいけない、という気づき。
- ・主治医が介護うつであることを気づいてくれて、心療内科を紹介してくれた。
- ・おかしくなりそうだったので友人と食事に行くようにした。
- ・やる事はすべてやった後、約半年後に結論的な答えが出て解決した。

問 47 【人付き合いもなく、ほとんど外出しないと回答】

家族以外の人と会話をしたか（最近6ヶ月間）

問 44 で「人付き合いも無く、ほとんど外出しない」または、問 45 で「上記のような状態になったことはない」と答えた人に、最近 6 か月間での家族以外の人との会話状況についてたずねました。「よく会話した」が 34.5%、「ときどき会話した」が 42.5%となっている一方、「ほとんど会話しなかった」が 6.8%、少数ですが「まったく会話しなかった」（0.6%）という人もいます。

要介護度別にみると、要介護度の軽重にかかわらず「ほとんど会話しなかった」または「まったく会話しなかった」という回答はあり、要介護 1 でも「ほとんど会話しなかった」が 4.7%、「まったく会話しなかった」が 0.8%となっています。

家族構成別にみると、夫婦のみでは「ほとんど会話しなかった」が 3.4%、子どもと二世帯同居では「ほとんど会話しなかった」がやや高く 11.1%、「まったく会話しなかった」が 1.6%となっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス利用者は「ほとんど会話しなかった」が 7.2%、「まったく会話しなかった」が 0.3%、サービス未利用者では「ほとんど会話しなかった」が 4.9%、「まったく会話しなかった」が 2.4%となっています。

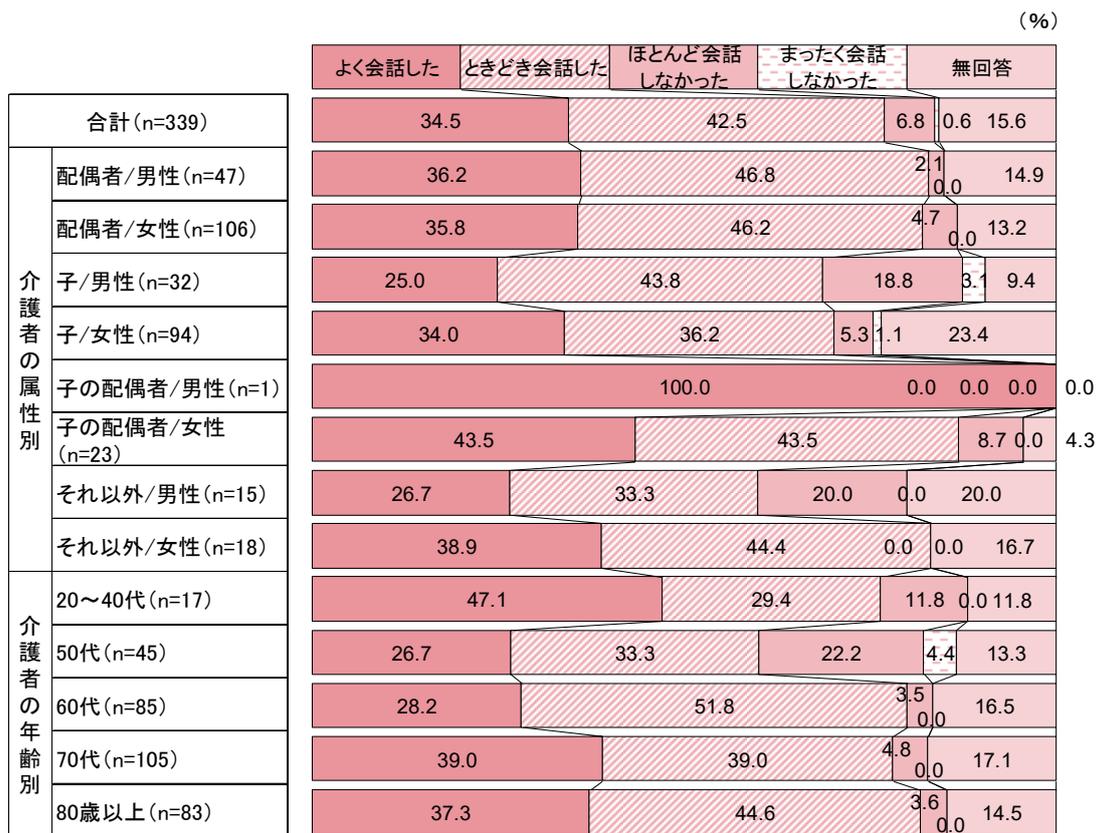
図 5.110 家族以外の人と会話をしたか/要介護度別/家族構成別/サービス利用状況別

		(%)				
		よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	無回答
合計 (n=339)		34.5	42.5	6.8	0.6	15.6
要介護度別	要介護1 (n=128)	35.9	45.3	4.7	0.8	13.3
	要介護2 (n=101)	35.6	41.6	6.9	0.0	15.8
	要介護3 (n=60)	38.3	36.7	8.3	1.7	15.0
	要介護4 (n=19)	31.6	52.6	5.3	0.0	10.5
	要介護5 (n=21)	23.8	38.1	14.3	0.0	23.8
家族構成別	一人暮らし (n=35)	45.7	25.7	0.0	0.0	28.6
	夫婦のみ (n=116)	39.7	43.1	3.4	0.0	13.8
	子どもと二世帯同居 (n=126)	31.0	42.9	11.1	1.6	13.5
	親と二世帯同居 (n=6)	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7
	三世帯以上同居 (n=39)	28.2	43.6	7.7	0.0	20.5
	その他 (n=13)	23.1	61.5	7.7	0.0	7.7
サービス利用状況別	利用している (n=291)	35.7	41.6	7.2	0.3	15.1
	利用していない (n=41)	29.3	46.3	4.9	2.4	17.1

最近6か月間での家族以外の人との会話状況を介護者の属性別にみると、「配偶者/男性」は「ほとんど会話しなかった」が2.1%、「配偶者/女性」は「ほとんど会話しなかった」が男性より若干高い4.7%となっています。また、「子/男性」は「ほとんど会話しなかった」が18.8%とやや高く、「まったく会話しなかった」も3.1%となっています。また、「子/女性」は「ほとんど会話しなかった」が5.3%、「まったく会話しなかった」が1.1%、「子の配偶者/女性」は「ほとんど会話しなかった」が8.7%となっています。

主介護者の年齢別にみると、他の年代に比べ50代は「ほとんど会話しなかった」が22.2%、「まったく会話しなかった」が4.4%と高くなっています。

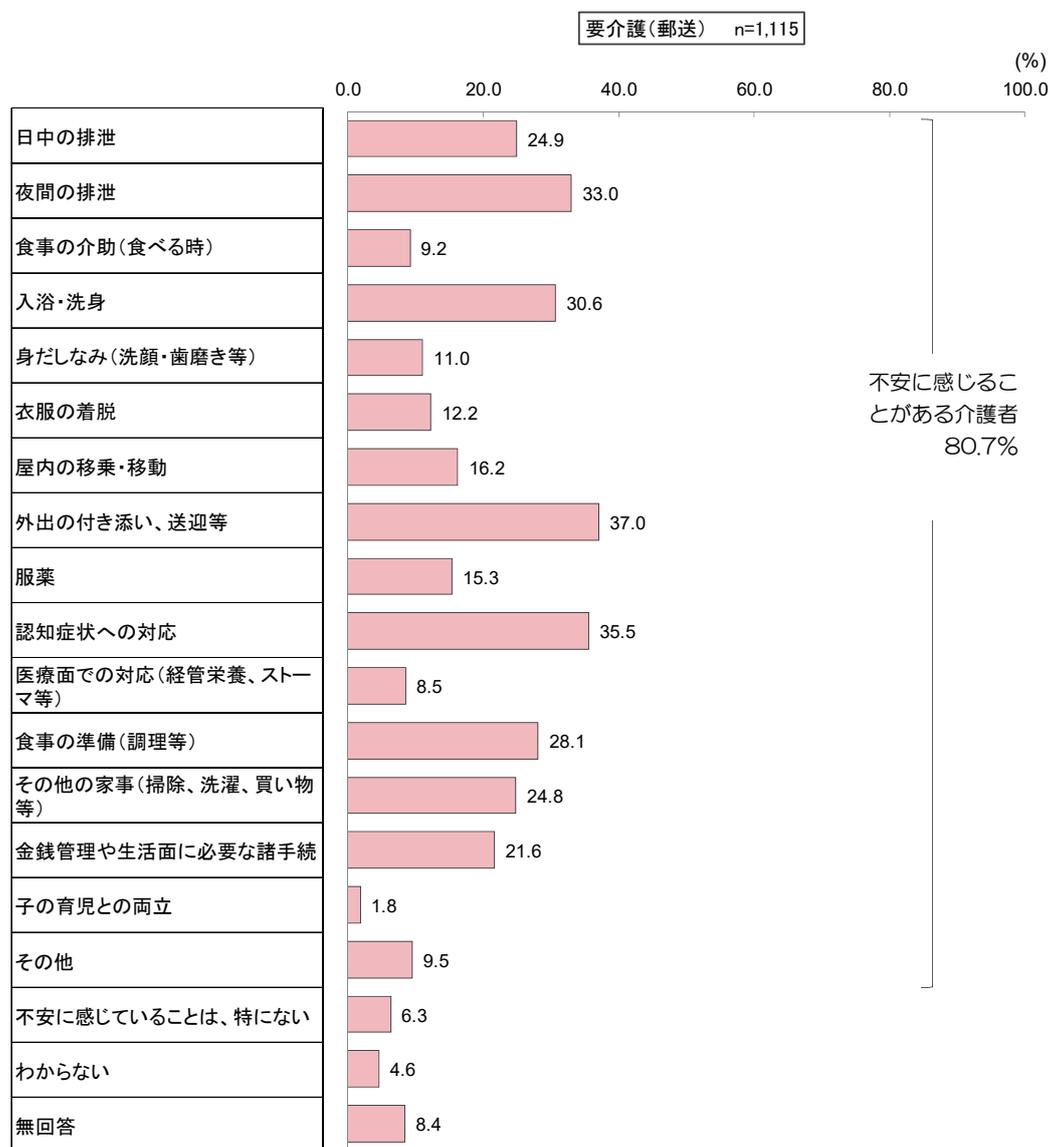
図 5.111 家族以外の人と会話をしたか/介護者の属性別/介護者の年齢別



問 48 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安を感じる介護等

介護等に何らかの不安を持っている主介護者の割合は80.7%で、「外出の付き添い、送迎等」が37.0%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が35.5%、「夜間の排泄」が33.0%となっています。

図 5.112 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安を感じる介護等（3つまで可）



※ 「不安に感じることがある介護者」=100%－「不安に感じていることは、特にない」－「わからない」－「無回答」

主介護者が不安に感じる介護等を要介護度別にみると、要介護1は「認知症状への対応」が、要介護2は「外出の付き添い、送迎等」が、要介護3～5は「夜間の排泄」が最も高くなっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス利用者、サービス未利用者とも「外出の付き添い、送迎等」が最も高くなっています。「夜間の排泄」はサービス未利用者で22.3%ですが、サービス利用者では34.7%と高く、「日中の排泄」もサービス利用者で26.3%と高くなっています。

図 5.113 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安に感じる介護等（3つまで可）  
/要介護度別/サービス利用状況別

項目		回答者数(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	迎等 外出の付き添い、送	服薬	認知症状への対応
全体		1,115	24.9	33.0	9.2	30.6	11.0	12.2	16.2	37.0	15.3	35.5
要介護度別	要介護1	422	18.5	25.6	7.1	28.7	10.0	7.3	12.3	38.2	17.8	40.0
	要介護2	329	21.9	32.8	9.7	30.7	13.1	16.7	16.4	43.5	13.1	33.7
	要介護3	207	40.1	45.9	10.1	36.7	14.5	18.8	21.3	30.9	16.9	37.7
	要介護4	72	31.9	44.4	9.7	29.2	2.8	4.2	20.8	22.2	9.7	22.2
	要介護5	47	36.2	40.4	17.0	19.1	6.4	17.0	23.4	23.4	8.5	21.3
サービス利用別	利用している	974	26.3	34.7	10.1	30.8	11.0	12.9	17.2	36.9	14.7	35.5
	利用していない	112	17.0	22.3	3.6	30.4	11.6	5.4	9.8	36.6	20.5	35.7

項目		回答者数(人)	栄養、ストーマ等	医療面での対応(経管)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、)	金銭管理や生活面に必要な諸手続	子の育児との両立	その他	不安に感じていることは、特にな	わからない	無回答
全体		1,115	8.5	28.1	24.8	21.6	1.8	9.5	6.3	4.6	8.4		
要介護度別	要介護1	422	7.8	29.6	25.6	25.4	2.6	7.8	6.4	6.2	8.8		
	要介護2	329	7.9	28.0	25.2	19.5	0.3	8.2	7.0	3.6	7.0		
	要介護3	207	9.2	28.5	25.6	20.3	3.9	14.0	4.8	2.9	7.2		
	要介護4	72	11.1	18.1	19.4	12.5	0.0	12.5	4.2	5.6	11.1		
	要介護5	47	14.9	25.5	21.3	19.1	0.0	14.9	8.5	6.4	8.5		
サービス利用別	利用している	974	8.4	27.1	24.6	21.1	1.7	9.9	6.0	4.6	7.6		
	利用していない	112	9.8	34.8	21.4	22.3	2.7	8.0	7.1	5.4	11.6		

主介護者が不安に感じる介護等をその属性別にみると、「配偶者/男性」では「食事の準備（調理等）」、「配偶者/女性」では「外出時の付き添い、送迎等」が最も高く、「子/男性」、「子の配偶者/女性」では「夜間の排泄」が最も高くなっています。「配偶者/男性」と「配偶者/女性」を比べると、「食事の準備（調理等）」や「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」は「配偶者/男性」で高くなっています。また、「子/女性」、「子の配偶者/女性」では、「子の育児との両立」がそれぞれ2.7%、6.4%となっています。

図 5.114 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安に感じる介護等（3つまで可）/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	顔・歯磨き等	身だしなみ（洗）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等	外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応
全体		1,115	24.9	33.0	9.2	30.6	11.0	12.2	16.2	37.0	15.3	35.5		
介護者の属性別	配偶者/男性	110	19.1	22.7	5.5	25.5	12.7	15.5	6.4	40.9	23.6	34.5		
	配偶者/女性	249	22.1	28.9	9.6	31.3	12.9	18.1	18.9	47.0	17.7	30.5		
	子/男性	173	28.3	37.6	13.3	29.5	9.8	13.3	18.5	26.6	11.0	30.6		
	子/女性	373	27.1	37.3	8.3	32.7	11.3	7.5	19.6	36.2	14.7	44.2		
	子の配偶者/男性	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		
	子の配偶者/女性	78	37.2	43.6	9.0	30.8	10.3	10.3	7.7	32.1	12.8	39.7		
	それ以外/男性	44	20.5	15.9	15.9	36.4	9.1	9.1	6.8	34.1	9.1	22.7		
	それ以外/女性	69	14.5	29.0	4.3	26.1	7.2	8.7	15.9	37.7	13.0	24.6		

項目		回答者数（人）	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続	子の育児との両立	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない	無回答
全体		1,115	8.5	28.1	24.8	21.6	1.8	9.5	6.3	4.6	8.4	
介護者の属性別	配偶者/男性	110	10.9	46.4	38.2	27.3	0.9	5.5	8.2	7.3	6.4	
	配偶者/女性	249	7.2	26.9	23.3	25.3	0.8	7.6	5.6	4.8	11.2	
	子/男性	173	5.8	25.4	26.6	21.4	0.6	6.4	6.4	6.9	8.1	
	子/女性	373	8.0	27.6	23.1	21.2	2.7	13.7	4.8	2.4	6.2	
	子の配偶者/男性	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	子の配偶者/女性	78	12.8	20.5	15.4	10.3	6.4	12.8	7.7	2.6	7.7	
	それ以外/男性	44	13.6	31.8	34.1	22.7	0.0	0.0	11.4	6.8	9.1	
	それ以外/女性	69	8.7	20.3	20.3	15.9	1.4	8.7	8.7	7.2	14.5	

主介護者の就労継続の可否意識別にみると、やや難しいと考えている介護者で「夜間の排泄」が最も高くなっていますが、それ以外の介護者では「認知症状への対応」が高くなっています。一方、就労を問題なく続けていけると考える介護者は、「不安に感じていることは、特にない」が27.6%と高くなっています。

図 5.115 現在の生活を継続するにあたり、主介護者が不安に感じる介護等（3つまで可）/介護者の就労継続の可否意識別

単位：%

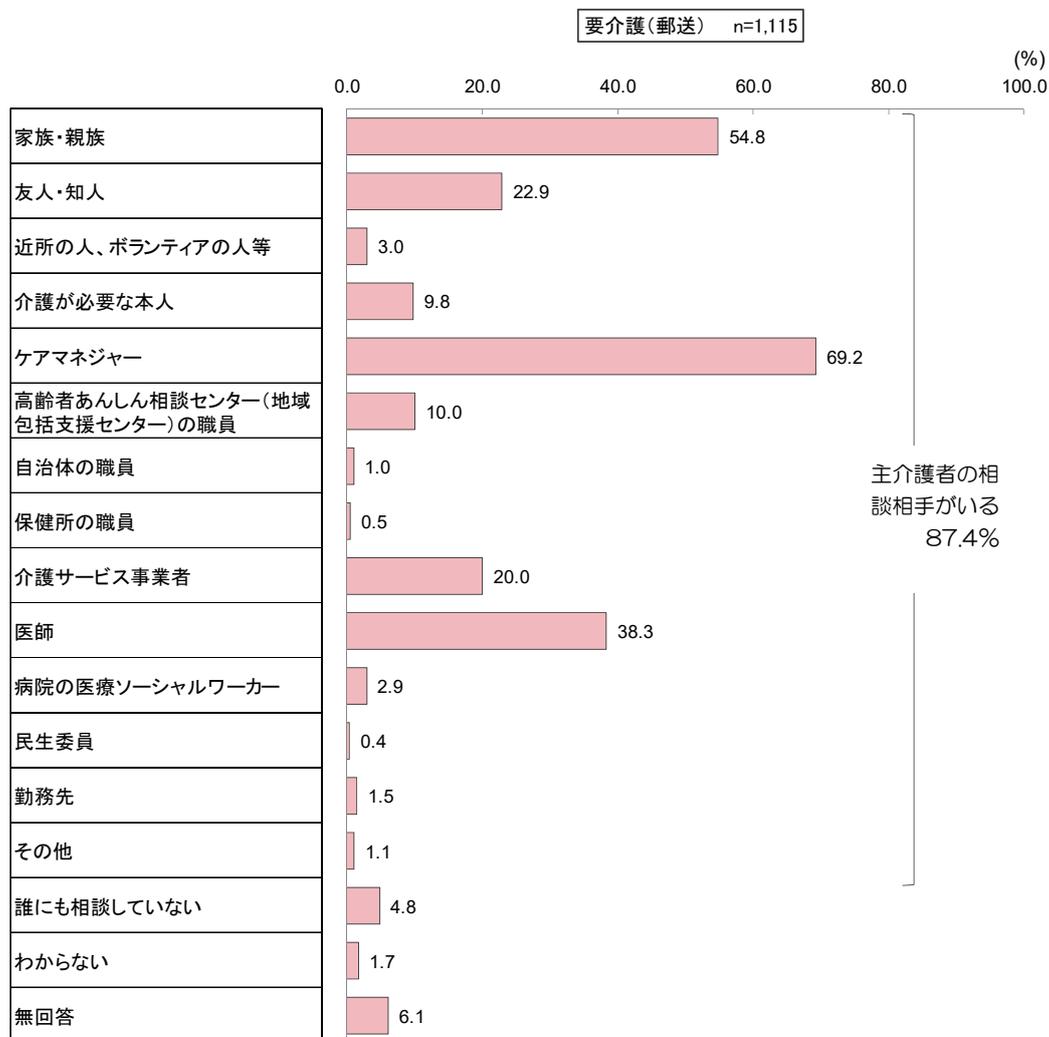
項目		回答者数(人)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体		467	28.5	35.8	10.7	33.4	11.8	12.0	19.5	35.5	14.8	40.3
介護者の就労継続の可否意識別	問題なく続けていける	58	12.1	24.1	8.6	29.3	10.3	1.7	10.3	29.3	13.8	29.3
	問題はあるが、何とか続けていける	253	31.6	38.3	11.1	36.4	12.6	13.4	23.3	36.8	15.0	39.1
	やや難しい	46	41.3	47.8	8.7	34.8	15.2	19.6	21.7	41.3	21.7	43.5
	かなり難しい	48	31.3	35.4	16.7	25.0	12.5	14.6	18.8	39.6	18.8	64.6
	わからない	54	22.2	31.5	7.4	31.5	7.4	7.4	13.0	25.9	7.4	37.0

項目		回答者数(人)	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続	子の育児との両立	その他	不安に感じていることは、特にない	わからない	無回答
全体		467	7.5	30.2	26.6	22.3	2.6	9.0	6.4	3.6	5.6
介護者の就労継続の可否意識別	問題なく続けていける	58	6.9	25.9	12.1	15.5	0.0	3.4	27.6	0.0	10.3
	問題はあるが、何とか続けていける	253	5.5	32.0	28.9	20.9	2.4	6.7	4.0	3.2	4.0
	やや難しい	46	10.9	45.7	41.3	28.3	6.5	15.2	0.0	4.3	2.2
	かなり難しい	48	8.3	25.0	25.0	31.3	2.1	20.8	0.0	0.0	6.3
	わからない	54	14.8	16.7	16.7	22.2	3.7	11.1	5.6	13.0	7.4

問 49 主介護者の相談相手・相談機関

主介護者の介護について、相談相手・相談機関がある割合は87.4%で、「ケアマネジャー」が69.2%と最も高く、次いで「家族・親族」が54.8%、「医師」が38.3%となっています。なお、「誰にも相談していない」は4.8%です。

図 5.116 主介護者の相談相手・相談機関（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 訪問看護師

※ 「主介護者の相談相手がいる」=100%－「誰にも相談していない」－「わからない」－「無回答」

主介護者の相談相手・相談機関を要介護度別にみると、いずれも「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「家族・親族」となっています。要介護1-3は「医師」が30%台ですが、要介護4では40.3%、要介護5では42.6%と高くなっています。また、要介護1~2は「高齢者あんしんセンターの職員」がほぼ1割となっています。

介護サービスの利用状況別にみると、サービス利用者は「ケアマネジャー」が74.3%、サービス未利用者は「家族・親族」が64.3%と最も高くなっています。

図 5.117 主な介護者の相談相手・相談機関（いくつでも可）/要介護度別/サービス利用状況別

単位：%

項目		回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	高齢者あんしん相談センターの職員	自治体の職員	保健所の職員	介護サービス事業者
全体		1,115	54.8	22.9	3.0	9.8	69.2	10.0	1.0	0.5	20.0
要介護度別	要介護1	422	55.5	24.2	2.4	10.7	65.2	10.9	0.2	0.7	17.3
	要介護2	329	54.4	24.0	2.4	8.8	71.1	10.0	0.3	0.3	17.9
	要介護3	207	55.1	22.2	4.3	8.7	76.8	8.2	2.4	0.5	24.2
	要介護4	72	59.7	18.1	5.6	8.3	70.8	8.3	1.4	0.0	23.6
	要介護5	47	48.9	23.4	4.3	10.6	76.6	8.5	4.3	0.0	34.0
サービス利用別	利用している	974	54.1	23.2	3.0	9.7	74.3	9.0	1.0	0.5	21.7
	利用していない	112	64.3	22.3	4.5	9.8	31.3	18.8	0.9	0.9	7.1

項目		回答者数(人)	医師	病院の医療ソーシャルワーカー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	わからない	無回答
全体		1,115	38.3	2.9	0.4	1.5	1.1	4.8	1.7	6.1
要介護度別	要介護1	422	37.7	1.7	0.5	1.4	0.5	5.0	1.9	6.6
	要介護2	329	38.6	3.0	0.3	1.2	1.2	4.9	1.5	4.9
	要介護3	207	37.7	2.4	0.5	2.4	1.9	4.3	1.9	4.3
	要介護4	72	40.3	2.8	0.0	2.8	1.4	6.9	1.4	9.7
	要介護5	47	42.6	12.8	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	4.3
サービス利用別	利用している	974	37.8	2.8	0.4	1.4	1.2	4.2	1.7	5.5
	利用していない	112	40.2	4.5	0.0	2.7	0.0	10.7	1.8	8.0

主介護者の相談相手・相談機関をその属性別にみると、いずれも「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「家族・親族」となっています（「子の配偶者/男性」は「家族・親族」、「友人・知人」、「近所の人、ボランティアの人等」、「介護サービス事業者」、「医師」が同率）。また、「配偶者/男性」、「配偶者/女性」は「医師」がそれぞれ 40.9%、45.4%となっています。

主介護者の年齢別にみると、各年代とも「ケアマネジャー」が最も高くなっています。

図 5.118 主な介護者の相談相手・相談機関（いくつでも可）/介護者の属性別/介護者の年齢別

単位：%

項目		回答者数（人）	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	高齢者あしん相談センターの職員	自治体の職員	保健所の職員	介護サービス事業者
全体		1,115	54.8	22.9	3.0	9.8	69.2	10.0	1.0	0.5	20.0
介護者の属性別	配偶者/男性	110	47.3	10.0	3.6	15.5	59.1	10.0	4.5	0.0	21.8
	配偶者/女性	249	55.0	25.3	2.8	11.2	68.7	10.4	0.4	0.8	19.7
	子/男性	173	39.3	12.1	1.2	11.0	66.5	11.0	0.6	1.2	25.4
	子/女性	373	62.2	30.6	4.0	8.6	74.3	10.2	0.8	0.5	19.0
	子の配偶者/男性	2	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	子の配偶者/女性	78	62.8	26.9	2.6	5.1	78.2	10.3	0.0	0.0	19.2
	それ以外/男性	44	56.8	11.4	0.0	13.6	59.1	15.9	0.0	0.0	13.6
	それ以外/女性	69	50.7	21.7	2.9	4.3	62.3	4.3	1.4	0.0	14.5
介護者の年齢別	20～40代	69	56.5	18.8	2.9	10.1	59.4	8.7	1.4	1.4	20.3
	50代	284	57.4	29.6	4.6	9.9	68.7	9.2	0.4	0.7	19.7
	60代	331	54.4	22.1	1.5	6.9	74.6	9.1	0.9	0.3	20.8
	70代	240	49.6	24.2	2.9	10.0	68.8	12.5	0.8	0.8	19.6
	80歳以上	175	57.1	14.9	3.4	14.9	64.0	11.4	2.3	0.0	20.6

項目		回答者数（人）	医師	病院の医療ソーシャルワーカー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	わからない	無回答
全体		1,115	38.3	2.9	0.4	1.5	1.1	4.8	1.7	6.1
介護者の属性別	配偶者/男性	110	40.9	3.6	0.0	0.0	0.0	9.1	0.9	6.4
	配偶者/女性	249	45.4	3.2	0.4	0.4	0.4	4.4	2.0	7.2
	子/男性	173	34.7	2.3	1.2	1.7	2.3	5.2	1.7	5.8
	子/女性	373	34.9	2.9	0.0	3.5	1.6	3.5	1.1	4.8
	子の配偶者/男性	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子の配偶者/女性	78	37.2	0.0	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	6.4
	それ以外/男性	44	40.9	6.8	0.0	0.0	0.0	11.4	6.8	4.5
	それ以外/女性	69	34.8	2.9	1.4	0.0	1.4	5.8	2.9	10.1
介護者の年齢別	20～40代	69	29.0	4.3	0.0	4.3	1.4	7.2	1.4	5.8
	50代	284	34.2	1.8	1.1	1.8	0.7	4.2	2.1	5.6
	60代	331	38.7	4.2	0.3	2.7	1.8	4.8	1.2	4.2
	70代	240	40.8	3.3	0.0	0.0	0.4	4.6	2.1	7.5
	80歳以上	175	45.1	1.1	0.6	0.0	1.1	5.7	1.7	8.0

主介護者の相談相手・相談機関を介護者の就労状況別にみると、いずれも「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「家族・親族」となっています。また、働いていない人は「医師」が41.9%と、働いている人に比べ高く、「友人・知人」は21.4%と、働いている人に比べ低くなっています。

図 5.119 主な介護者の相談相手・相談機関（いくつでも可）  
/介護者の就労状況別

単位：%

項目		回答者数(人)	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人等	介護が必要な本人	ケアマネジャー	高齢者あんしん相談センターの職員	自治体の職員	保健所の職員	介護サービス事業者
全体		1,115	54.8	22.9	3.0	9.8	69.2	10.0	1.0	0.5	20.0
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	251	57.8	24.3	2.8	13.5	64.5	9.6	1.2	1.2	23.5
	パートタイムで働いている	216	59.3	31.5	4.6	7.9	74.5	10.2	0.5	1.4	18.5
	働いていない	551	55.0	21.4	2.5	9.6	72.8	10.3	1.3	0.0	20.1
	わからない	14	28.6	7.1	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0	0.0	21.4

項目		回答者数(人)	医師	カー 病 院 の 医 療 ソ ー シ ャ ル ワ ー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	わからない	無回答
全体		1,115	38.3	2.9	0.4	1.5	1.1	4.8	1.7	6.1
介護者の就労状況別	フルタイムで働いている	251	35.9	4.4	0.8	4.4	1.2	4.4	1.6	3.2
	パートタイムで働いている	216	38.0	2.8	0.0	2.8	0.5	4.6	2.3	2.8
	働いていない	551	41.9	2.5	0.4	0.0	1.5	5.4	1.5	4.5
	わからない	14	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4